久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
Ｌ－０１	表紙　図面リスト	Ｓ－０１	梁伏図（１）	特－０１	電気設備　特記仕様書（１）	Ｅ－４８	コンセント設備　１階平面図（改修前）	特－０１	機械設備　特記仕様書（１）
特－０１	特記仕様書（１）	Ｓ－０２	梁伏図（２）	特－０２	電気設備　特記仕様書（２）	Ｅ－４９	コンセント設備　２階平面図（改修前）	特－０２	機械設備　特記仕様書（２）
特－０２	特記仕様書（２）	Ｓ－０３	軸組図（１）	Ｅ－０１	構内配電線路　配置図・立面図（改修後）	Ｅ－５０	コンセント設備　３階平面図（改修前）	特－０３	機械設備　特記仕様書（３）
特－０３	特記仕様書（３）	Ｓ－０４	軸組図（２）	Ｅ－０２	防火区画貫通処理　平面図・参考図	Ｅ－５１	コンセント設備　Ｒ階平面図（改修前）	Ｍ－０１	機械設備　配置図・立面図
特－０４	特記仕様書（４）	Ｓ－０５	軸組図（３）	Ｅ－０３	受変電設備　専攻科棟　単線結線図（改修後）	Ｅ－５２	電話・情報・拡声設備　１階平面図（改修前）	Ｍ－０２	防火区画平面図（改修後）
附－０１	工事区分表	Ｓ－０６	部材リスト	Ｅ－０４	盤リスト（ＬＭＴ－１）	Ｅ－５３	電話・情報・拡声・映像設備　２階平面図（改修前）	Ｍ－０３	防火区画貫通処理施工要領図（参考図）
Ａ－０１	案内図・配置図	Ｓ－０７	増設壁詳細図（１）（１階２通り）	Ｅ－０５	盤リスト（ＬＭ－１－１）	Ｅ－５４	電話・情報・拡声・テレビ共同受信設備　３階平面図（改修前）	Ｍ－０４	空調設備　機器表・凡例（改修後）
Ａ－０２	仕上表（１）	Ｓ－０８	増設壁詳細図（２）（１階１通り）	Ｅ－０６	盤リスト（Ｌ－化学準備室）	Ｅ－５５	テレビ共同受信設備　Ｒ階平面図（改修前）	Ｍ－０５	空調設備　系統図（改修後）
Ａ－０３	仕上表（２）	Ｓ－０９	増設壁詳細図（３）（１階104通り）	Ｅ－０７	盤リスト（既設Ｐ－２）	Ｅ－５６	自動火災報知設備　１階平面図（改修前）	Ｍ－０６	空調設備　１階平面図（改修後）
Ａ－０４	改修前後　１階平面図	Ｓ－１０	袖壁詳細図（１）（２階106通り）	Ｅ－０８	盤リスト（ＬＭＴ－２）	Ｅ－５７	自動火災報知設備　２階平面図（改修前）	Ｍ－０７	空調設備　２階平面図（改修後）
Ａ－０５	改修前後　２階平面図	Ｓ－１１	袖壁詳細図（２）（３階104通り）	Ｅ－０９	盤リスト（ＬＭ－２－１）	Ｅ－５８	自動火災報知設備　３階平面図（改修前）	Ｍ－０８	空調設備　３階平面図（改修後）
Ａ－０６	改修前後　３階平面図	Ｓ－１２	既設耐力壁垂れ壁補強要領図	Ｅ－１０	盤リスト（ＬＭＴ－３）	Ｅ－５９	自動火災報知設備　Ｒ階平面図（改修前）	Ｍ－０９	空調設備　Ｒ階平面図（改修後）
Ａ－０７	改修前後　Ｒ階平面図			Ｅ－１１	幹線・動力設備　系統図（改修後）			Ｍ－１０	空調設備　１階平面詳細図（改修後）
Ａ－０８	改修前後　立面図（１）			Ｅ－１２	幹線・動力設備　１階平面図（改修後）			Ｍ－１１	換気設備　機器表（改修後）
Ａ－０９	改修前後　立面図（２）			Ｅ－１３	幹線・動力設備　２階平面図（改修後）			Ｍ－１２	換気設備　２４時間換気計算表・凡例（改修後）
Ａ－１０	改修前後　立面図（３）			Ｅ－１４	幹線・動力設備　３階平面図（改修後）			Ｍ－１３	換気設備　系統図（改修後）
Ａ－１１	改修前後　断面図（１）			Ｅ－１５	幹線・動力設備　Ｒ階平面図（改修後）			Ｍ－１４	換気設備　１階平面図（改修後）
Ａ－１２	改修前後　断面図（２）			Ｅ－１６	幹線・動力設備　専攻科棟　１階平面図（改修後）			Ｍ－１５	換気設備　２階平面図（改修後）
Ａ－１３	改修前　矩計図			Ｅ－１７	照明器具・照明制御機器参考姿図			Ｍ－１６	換気設備　３階平面図（改修後）
Ａ－１４	改修後　矩計図			Ｅ－１８	電灯設備　１階平面図（改修後）			Ｍ－１７	換気設備　Ｒ階平面図（改修後）
Ａ－１５	改修後　１階平面詳細図（１）			Ｅ－１９	電灯設備　２階平面図（改修後）			Ｍ－１８	換気設備　１階平面詳細図（改修後）
Ａ－１６	改修後　１階平面詳細図（２）			Ｅ－２０	電灯設備　３階平面図（改修後）			Ｍ－１９	自動制御設備　PHモニタリング機器表･系統図･１階平面図(改修後)
Ａ－１７	改修後　２階平面詳細図（１）			Ｅ－２１	電灯設備　Ｒ階平面図（改修後）			Ｍ－２０	自動制御設備　２階平面図（改修後）
Ａ－１８	改修後　２階平面詳細図（２）			Ｅ－２２	コンセント設備　１階平面図（改修後）			Ｍ－２１	衛生設備　器具表・桝リスト・凡例（改修後）
Ａ－１９	改修後　３階平面詳細図（１）			Ｅ－２３	コンセント設備　２階平面図（改修後）			Ｍ－２２	衛生設備　系統図（改修後）
Ａ－２０	改修後　３階平面詳細図（２）			Ｅ－２４	コンセント設備　３階平面図（改修後）			Ｍ－２３	衛生設備　１階平面図（改修後）
Ａ－２１	改修前後　１階便所詳細図			Ｅ－２５	電話・情報設備　系統図（改修後）			Ｍ－２４	衛生設備　２階平面図（改修後）
Ａ－２２	改修前後　２階便所詳細図			Ｅ－２６	拡声・呼出設備　系統図・機器参考姿図（改修後）			Ｍ－２５	衛生設備　３・Ｒ階平面図（改修後）
Ａ－２３	改修前後　３階便所詳細図			Ｅ－２７	電話・情報・拡声・呼出設備　１階平面図（改修後）			Ｍ－２６	衛生設備　１階平面詳細図（１）（改修後）
Ａ－２４	改修後　階段詳細図（１）			Ｅ－２８	電話・情報・映像・拡声・呼出設備　２階平面図（改修後）			Ｍ－２７	衛生設備　１階平面詳細図（２）（改修後）
Ａ－２５	改修後　階段詳細図（２）			Ｅ－２９	電話・情報・映像・拡声設備　３階平面図（改修後）			Ｍ－２８	衛生設備　２階平面詳細図（１）（改修後）
Ａ－２６	改修後　１階展開図			Ｅ－３０	自動火災報知設備　凡例　注記　系統図（改修後）			Ｍ－２９	衛生設備　２階平面詳細図（２）・３階平面詳細図（改修後）
Ａ－２７	改修後　２階展開図			Ｅ－３１	誘導標識・火災報知設備　１階平面図（改修後）			Ｍ－３０	衛生設備　便所平面詳細図（改修後）
Ａ－２８	改修後　３階展開図			Ｅ－３２	誘導標識・火災報知設備　２階平面図（改修後）			Ｍ－３１	消火設備　機器表・凡例・系統図（改修後）
Ａ－２９	改修後　廊下展開図			Ｅ－３３	誘導標識・火災報知設備　３階平面図（改修後）			Ｍ－３２	消火設備　１階平面図（改修後）
Ａ－３０	改修前後　１階天井伏図			Ｅ－３４	火災報知設備　Ｒ階平面図（改修後）			Ｍ－３３	消火設備　２階平面図（改修後）
Ａ－３１	改修前後　２階天井伏図			Ｅ－３５	電話・拡声・火災報知設備　一般共通棟・管理棟　１階平面図（改修後）			Ｍ－３４	消火設備　３階平面図（改修後）
Ａ－３２	改修前後　３階天井伏図			Ｅ－３６	電話・拡声設備　一般共通棟・管理棟　２階平面図（改修後）			Ｍ－３５	空調設備　機器表・凡例（改修前）
Ａ－３３	壁仕様図			Ｅ－３７	構内配電線路　配置図（改修前）			Ｍ－３６	空調設備　１・２階平面図（改修前）
Ａ－３４	改修前　建具表（１）			Ｅ－３８	受変電設備　専攻科棟　単線結線図（改修前）			Ｍ－３７	空調設備　３・Ｒ階平面図（改修前）
Ａ－３５	改修前　建具表（２）			Ｅ－３９	幹線・動力設備　１階平面図（改修前）			Ｍ－３８	空調設備（ベースボード蒸気配管）　１・２階平面図（改修前）
Ａ－３６	改修後　建具表（１）			Ｅ－４０	幹線・動力設備　２階平面図（改修前）			Ｍ－３９	換気設備　機器表・凡例（改修前）
Ａ－３７	改修後　建具表（２）			Ｅ－４１	幹線・動力設備　３階平面図（改修前）			Ｍ－４０	換気設備　１・２階平面図（改修前）
Ａ－３８	改修後　建具表（３）			Ｅ－４２	幹線・動力設備　Ｒ階平面図（改修前）			Ｍ－４１	換気設備　３・Ｒ階平面図（改修前）
Ａ－３９	改修後　建具表（４）			Ｅ－４３	幹線・動力設備　専攻科棟　１階平面図（改修前）			Ｍ－４２	自動制御設備　ＰＨモニタリング機器表・１階平面図（改修前）
Ａ－４０	部分詳細図（１）			Ｅ－４４	電灯設備　１階平面図（改修前）			Ｍ－４３	衛生設備　機器表・器具表・桝リスト（改修前）
Ａ－４１	部分詳細図（２）			Ｅ－４５	電灯設備　２階平面図（改修前）			Ｍ－４４	衛生設備　１・２階平面図（改修前）
Ａ－４２	部分詳細図（３）			Ｅ－４６	電灯設備　３階平面図（改修前）			Ｍ－４５	衛生設備　３・Ｒ階平面図（改修前）
Ａ－４３	部分詳細図（４）			Ｅ－４７	電灯設備　Ｒ階平面図（改修前）				
Ａ－４４	部分詳細図（５）								

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計　福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	表紙・図面リスト	―	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						Ｌ－０１

建築改修工事特記仕様書

工　事　概　要

工事名称	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事
工事場所	福岡県久留米市小森町一丁目1番1号　(久留米工業高等専門学校構内)
完成期限	令和2年　3月　30日　(月曜日)　ただし、内部については3/10(火)までに完成すること。

工事の種類
規模等

棟名称	文科・理科棟			
工種	模様替			
構造・階数	RC・R3			
建築面積	523.39　m2			
延べ面積	1,599.03　m2			
改修延べ面積	(1,555.98)　m2			
延べ面積計				1,599.03　m2
改修延べ面積計				(1,555.98)　m2
模様替内容	外壁改修	塗装改修		
	建具改修			
	防水改修			
	内装改修			

(　　)の数値は、当該既設建物の面積とする。

工作物等　　構内舗装　　改修一式

一般特記事項

総　　則

1. この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書9枚、図面157枚、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)、公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)、文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)、文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)、工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。

2. 特記仕様書の適用方法
(1)═══で抹消した章及び項目の当該特記事項はすべて適用しない。
(2)・印で始まる事項及び表中の・印の事項は、○印の付した事項のみ適用する。
(3)表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。
(4)特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
(5)左欄の( )、(( ))、< >、<< >>、[ ]内の数値は、下記の各該当番号を示す。
各該当(項目)番号を示す。
( )　:　公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)
(( ))　:　文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)
< >　:　公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)
<< >>　:　文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)

建築基準法に基づき定められた区分等

建築基準法に基づき定められた区分等
風速　　V0 = 34 m/s
地表面粗度区分　　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ
積雪区分　　建告示第1455号　　別表 (三十八)

1章　一般共通事項

〈1.3.3〉 電気保安技術者

この工事現場に下記のいずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
1　第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	⊙
2　1級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
3　高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	⊙
4　旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	⊙
5　公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	⊙
6　第1種電気工事士の資格を有する者	⊙
7　2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
8　第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者	⊙
9　短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	⊙

〈1.3.4〉 工事用電力設備の保安責任者

この工事現場には、下記の資格を有する工事用電力設備の保安責任者を選任する。
⊙本校、電気主任技術者及び監督職員と協議すること。

〈1.3.5〉 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による。
⊙施工時間の指定　休日及び夜間
⊙工事における騒音及び振動が発生が考えられる工程は、監督職員と協議の上施工すること。
⊙改修部分以外については利用中のため、学生・教職員等への安全等に配慮すること。

〈1.3.7〉 施工中の安全確保

六価クロム溶出試験の種類
・配合設計の段階で実施する環境庁告示46号溶出試験
・施工後に実施する環境庁告示46号溶出試験
・施工後に実施するタンクリーチング試験

〈1.3.8〉 発生材の処理等

引渡しを要するもの
1)品名(　　)　2)引渡し先(久留米工業高等専門学校)　3)集積場所(構内発生材置場)

特別管理産業廃棄物
1)品名(ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル巾木、石綿セメント板、(石綿ケイ酸カルシウム板、ロックウール吸音板[アスベスト含有]))
2)受入場所　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)

現場において再利用を図るもの
1)品名(　床材)　2)使用箇所(　　室)

再生資源化を図るもの
1)品名　　2)受入場所
(コンクリートガラ)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(アスファルトガラ)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(木類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(発生土)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。
4)日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督職員に提出する。
5)工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。

関係法令に従い適切に処理するもの
1)品名　　2)受入場所
(ボード類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(陶器類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(ガラス類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(残土)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。
4)日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督職員に提出する。
5)工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。

〈1.3.11〉 施工中の環境保全等

低騒音型 低振動型 建設機械の使用

本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関わる規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号　最終改正　平成13年4月9日　国土交通省告示第487号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
ただしこれにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。
低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

排出ガス対策型 建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。
排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

種　類	備　考
バックホウ	ディーゼルエンジン(エンジン出力8kW以上、560kW以下)を搭載したものに限る。
ホイールローダ	
ブルドーザ	
発動電動機(可搬式、溶接兼用機を含む)	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上、260kW以下)を搭載したものに限る。
空気圧縮機(可搬式)	
油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの)	
ローラ類(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)	
ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)	

ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両

①　受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両(以下「本工事関係車両」という)が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。
②　受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
③　受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。
④　受注者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
⑤　受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。

〈1.4.2〉 材料の品質等

再利用を図るものは、次による。

〈1.4.4〉 材料の検査等

材料名	備　考

〈1.6.2〉 技能士

適用工事種別	技能検定の職種
仮設工事	⊙　とび
鉄筋工事	⊙　鉄筋施工
コンクリート工事	・　左官　・　型枠施工　・　コンクリート圧送施工
鉄骨工事	・　とび　・　鉄工
ブロック・ALCパネル工事	・　ブロック建築　・　ALCパネル施工
PCカーテンウォール工事	・　カーテンウォール施工
防水工事	⊙　防水施工
石工事	・　石材施工
タイル工事	・　タイル張り
木工事	・　建築大工
屋根、とい工事	・　建築板金　・　スレート施工
金属工事	⊙　内装仕上げ施工(鋼製下地)
左官工事	⊙　左　官
建具工事	⊙　サッシ施工　⊙　ガラス施工
塗装工事	⊙　塗　装
内装工事	⊙　内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)　・　表装
植栽工事	・　造　園

〈1.6.4〉 一工程の施工の確認及び報告

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工程については、施工の確認及び報告を監督職ものとする。

施工の確認及び報告を行う工程	備　考
撤去工事	既設仕上げ材、下地材撤去が完了した段階
軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地工事	下地が完了した段階
仕上げ塗材下地工事	下地調整が完了した段階
外壁改修の施工	事前調査(マーキング含む)が完了した段階 外壁補修が完了した段階
外壁仕上げの施工	外部足場を取り外す前の段階

〈1.6.5〉 施工の検査等

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。
⊙揮発性有機化合物等の室内濃度の測定
⊙躯体コンクリートの試験採取及び各種試験時

〈1.6.7〉 施工の立会い等

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。
・
・

〈1.6.9〉 化学物質の濃度測定

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の揮発性有機化合物の室内濃度の測定
工事の施工完了後、引き渡しをするまでの間に、下表の測定室等の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、指針値以下であることを確認し、報告する。

測定室等

棟名称	階	室名	採取本数
文科・理科棟	1階	一般化学実験室	1検体
	2階	一般物理実験室	1検体
	3階	多目的学習室	1検体
	外部		1検体

※上記の室について、それぞれ1検体につき2回採取を行い測定する。

測定物質、測定方法

種類	指針値	測定方法
ホルムアルデヒド	100μg/m3 (0.08ppm)以下	⊙ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法で採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。 ・その他(　　)
トルエン	260μg/m3 (0.07ppm)以下	⊙次のうちのいずれかの測定方法とする。 固相吸着-溶媒抽出法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
キシレン	870μg/m3 (0.05ppm)以下	固相吸着-加熱脱着法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
エチルベンゼン	380μg/m3 (0.88ppm)以下	容器採取法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
スチレン	220μg/m3 (0.05ppm)以下	・その他(　　)
	μg/m3 (　ppm)以下	

※両単位の換算は、25℃の場合による。

試料採取方法
試料採取は室内及び外気の各1箇所を2回づつとし、対象室内を30分換気後に対象室内を5時間以上密閉し、その後概ね30分間採取の濃度(μg/m3)で表す。採取の時刻は揮発性有機化合物濃度の日変動で最大となることが予想される午後2時～3時頃に設定するのが望ましい。
室外についても室内と同様の条件で平行して採取する。試料採取は室の中央付近の少なくとも壁から1m以上離した高さ1.2～1.5mの位置を試料採取位置として設定する。外気の試料採取は外壁及び空調吸排気口から2～5m離した、室内の測定高さと同等の高さの所を試料採取位置として設定する。

測定結果が上回った場合の措置
測定結果が指針値を上回った場合は、監督職員と協議する。

上に示すほか、次の化学物質について濃度測定を行う。

〈1.7.2〉 技術検査

本工事期間中に中間技術検査を、1回行う。
検査時期は、監督職員と協議するものとする。

〈1.8.2〉 完成図

完成図の種類及び記入内容は次による。

種類	記入内容
完成図	発注図面に決定・変更内容を朱書記入・訂正したもの及びCADデータ。 CADデータのメディア(提出媒体)については、監督職員との協議による。
施工図	監督職員の指示による。

完成図の様式等は次による。
作成方法　　監督職員の指示による。
原図サイズ　　A3判　(二つ折り製本)
提出部数　　2部

工事写真帳は(⊙　紙媒体　⊙　電子媒体)で　2　部提出する。

完成写真はキャビネ版とし黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。
なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。

本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。

貸与する設計図のCADデータ著作者名:　久留米工業高等専門学校
株式会社　綜企画設計　　ファイル形式:　JWW

貸与条件:貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成の為以外に使用しないこと。

提出方法:

〈1.8.3〉 保全に関する資料

保全に関する資料　　提出部数　　2 部

工事区分

工事区分は、(図面番号　附-01)工事区分表　による。

2章　仮設工事

(2.2.2) ベンチマーク

基準位置　　ＦＬ合わせとする
基準地盤高さ　　―

(2.2.4)〈2.2.1〉 足場その他

足場を設ける場合は、手すり据置き方式又は手すり先行専用足場方式とする。また、併せて、足場の外側及び内側（躯体側）の両方に手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置することとし、幅木はメッシュシート、防音シート及び防網等の有無に関わらず設置すること。

〈2.3.1〉 既存部分の養生

既存部分(機器を含む)等の養生方法:監督職員の指示による。

〈2.3.2〉 仮設間仕切り

―

3章　防水改修工事

〈3.1.4〉 改修工法の種類及び工程

防水改修工法の種類　　屋上：S1-M2、塔屋屋上：S-M2、バラペット・庇：X-2　　工法
シーリング改修工法の種類　　シーリング再充填　　工法

〈3.2.5〉 ルーフドレン回りの処理

改修ドレン　⊙設ける　・設けない

〈3.2.6〉 既存下地の補修及び処理

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　　・行う　⊙行わない

〈3.3.3〉 種別及び工程

アスファルト防水層の種別

種別	施工箇所
⊙　D－1	屋上設備基礎

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	特記仕様書（１）	―

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号
特－０１

〈3.4.3〉
種別及び工程

改質アスファルトシート防水層の種別

種　別	施工箇所

〈3.5.3〉
種別及び工程

合成高分子系ルーフィングシート防水層の種別

種　別	仕上塗料	施工箇所
・　SⅠ－M1		
・　SⅠ－M2		
・　SⅠ－F2		
⊙　S－M2		塔屋 屋上平場
⊙　S－F2		塔屋 屋上立上り

〈3.6.3〉
種別及び工程

塗膜防水の防水層の種別

種　別	施工箇所
⊙　X-2	パラペット、ハト小屋、設備基礎、~~庇~~

脱気装置

種　別	材　質	設置数量
⊙平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ⊙ステンレス ・鋳鉄 ・	1　個/　m2
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	個/　m2

〈3.8.2〉
材　料

といの材種
・配管用鋼管　⊙硬質塩化ビニル管　・ステンレス管　t=0.6　・

ルーフドレン

種　別	防水下地，寸法等
・陸屋根用(・縦型　・横型)	鉛製　φ100
・バルコニー用	
⊙バルコニー中継用	鋳鉄製　φ100

耐酸被覆鋼板，ガルバリウム鋼板の製造所 ＿＿＿＿＿＿

鋼管製といの防露
施工箇所 ＿＿＿＿＿＿

4章　外壁改修工事

〈4.2.2〉
工法別使用材料

ひび割れ部充てん材

種　別	種　類	寸　法	施工箇所
・シーリング材			
⊙可とう性エポキシ樹脂	Uカットシール材充填工法	10x10	

可とう性エポキシ樹脂の製造所，製品名　(株)コニシ　E600
(株)アサヒボンドエ業　EL55
セメダイン(株)　EP90　同等品以上

欠損部充てん材

種　別	製造所，製品名	施工箇所
・エポキシ樹脂モルタル		
⊙ポリマーセメントモルタル		

注入併用工法の注入材料

種　別	製造所，製品名	施工箇所
⊙エポキシ樹脂	(株)コニシ　E203,209 (株)アサヒボンドエ業　576 アイカ工業(株)　JB-63　同等品以上	
・ポリマーセメントスラリ		

タイルの形状，寸法，きじの質及び工法等

施工箇所	形状	きじ			うわぐすり		役物		色		工法	製造所
	寸法(mm)	磁器	せっ器	陶器	施釉	無釉	あり	なし	標準	特注	工法名	製品名

※施工箇所の下線は、耐凍害性があるものを示す。
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

塗膜はく離材　製造所，製品名 ＿＿＿＿＿＿

薄付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	備　考
・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材Ｓｉ ⊙外装薄塗材Ｅ ・可とう形外装薄塗材Ｅ ・防水形外装薄塗材Ｅ ・外装薄塗材Ｓ	⊙砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	⊙吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	

厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	備　考
・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ	・平たん状 ・凹凸状 ・吹放し ・凸部処理 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	

複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	耐候性	上塗りの種類		
				樹　脂	外　観	触　媒
・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ⊙複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材ＲＳ	・ゆず肌状 ⊙凹凸模様 ・凸部処理	⊙吹付け ・ﾛｰﾗｰ塗り	・耐候形1種 ⊙耐候形2種	⊙ｱｸﾘﾙ系 ・ｼﾘｶ ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 ・ふっ素系	⊙つやあり ・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ	・溶剤系 ・弱溶剤系 ⊙水系

可とう形改修用仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	備　考
・可とう形改修用塗材Ｅ ・可とう形改修用塗材ＲＥ ・可とう形改修用塗材ＣＥ	・ゆず肌状 ・平たん状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	

〈4.3.4〉
樹脂注入工法

ひび割れ部の注入状況の検査方法
・コア抜取り(抜取り個数 ＿＿＿個　コア抜取り部補修方法 ＿＿＿＿＿＿)

〈4.4.4〉
浮き部改修一般事項

アンカーピンニングの工法種別
・単独工法　⊙注入併用工法　・単独工法(注入口付)　・注入併用工法(注入口付)
(アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入併用工法)

5章　建具改修工事

〈5.1.3〉
改修工法

種別　⊙かぶせ工法　⊙撤去工法(　⊙はつりによる撤去　・油圧工具等による撤去　)

〈5.2.2〉
性能及び構造

〈5.2.4〉
形状及び仕上げ

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

性能等級	・A種	・B種	・C種
耐風圧等	・S-4　・	⊙S-5　・	・S-6　・
気密性	⊙A-3　・		・A-4　・
水密性	⊙W-4　・		・W-5　・
枠の見込み寸法(mm)	⊙70　・100		・70　・100

表面処理

建　具	種　別
外部に面する建具	・B-1種 ⊙B-2種(・ブラウン系　・ブラック　⊙ステンカラー　) ・
屋内の建具	・C-1種 ⊙C-2種(・ブラウン系　・ブラック　⊙ステンカラー　) ・

〈5.2.3〉
材　料

防虫網　・合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　⊙ステンレス(SUS316)製

〈5.3.3〉
材　料

線径(mm)　⊙ 0.25以上　・ ＿＿＿＿＿＿
網目(メッシュ)　⊙ 16～18　・ ＿＿＿＿＿＿

〈5.3.2〉
~~性能及び構造~~
〈5.3.4〉
~~形状及び仕上げ~~

外部に面する樹脂製建具の性能等級

性能等級	・Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種
耐風圧性	・S-4・	・S-5・	・S-6・
気密性	・A-4・		
水密性	・W-4・	・W-5・	
枠の見込み寸法(mm)	・60　・70　・80		

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級

種　別	・T-A種	・T-B種	
遮音性	・S-4・	・S-5・	

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級

種　別	・H-A種	・H-B種	
断熱性	・H-4・	・H-5・	

〈5.4.2〉
~~性能及び構造~~

外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ＿＿＿＿＿＿

〈5.6.3〉
~~材　料~~

ステンレス鋼板　SUS304　・SUS430J1L　・SUS443J1　・SUS430

〈5.6.4〉
~~形状及び仕上げ~~

表面仕上げ　・HL仕上げ　・ ＿＿＿＿＿＿

〈5.6.5〉
~~工　法~~

曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ(補強あり)

〈5.7.2〉
材質，形状及び寸法

建具用金物

スイングドア,スイングサッシの金物の種類	バックセット(mm)	製作所
・モノロック		
・本締り付モノロック		
⊙シリンダ-箱錠(レバ-ハンドルを含む)		
⊙シリンダ本締り錠		
・空錠		
⊙押棒，押板		
・電気錠		

〈5.7.4〉
鍵

マスターキー　⊙作製する　・作製しない
グランドマスター　⊙作製する　・作製しない

〈5.13.2〉
材　料

強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラス
フロート強化ガラス	⊙フロートガラス　・熱線吸収フロートガラス ・磨き板ガラス　・熱線吸収磨き板ガラス
板強化ガラス	

~~熱線吸収板ガラス~~

材料板ガラスの種類	厚さ(mm)	色　調
・熱線吸収フロート板ガラス ・	・	・ブルー　・グレー　・ブロンズ ・グリーン

~~熱線反射板ガラス~~

種　類	材料板ガラスの種類	日射熱遮へい率の区分	反射皮膜の使い方	色　調	映像調整
・熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	・フロートガラス ・	・1種 ・2種 ・3種	・内面 ・外面	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー ・	・行う

素材が強化又は倍強度ガラスの場合の製造所 ＿＿＿＿＿＿

〈5.13.3〉
ガラス溝の寸法，形状等

ガラス溝の寸法，形状等

種　類	ガラス厚(mm)	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代
・強化ガラス				
・倍強度ガラス				

〈5.13.5〉
~~ガラスブロック~~
~~積み方~~

ガラスブロック

寸法及び厚さ(mm)	表面形状	色　調	化粧目地の色	シーリングの種類
		・クリア ・乳白 ・		

~~防火シャッター~~

工法
音声発生装置は，シャッターが降下を開始すると同時にスイッチが入り，閉鎖して停止するまで，継続して危険を知らせる音声を発するものとする。なお，この装置は，防火シャッターに近接して，柱，壁，天井等に設置する。

注意灯は，シャッターが降下を開始すると同時にスイッチが入り，閉鎖して停止するまで，継続して注意灯を点灯するものとする。また，点灯方式は点滅方式または回転方式とする。

シャッターへの危険表示は，シャッター両面の下部部分(全体の高さの1/2以下の位置)に，降下中の危険を知らせる文字，イラスト等を目立つように塗料による描き込み，またはシール等の貼り付けを行う。

6章　内装改修工事

〈6.2.2〉
工　法

合成樹脂塗床材の除去　・機械的除去工法　・目荒し工法

〈6.5.2〉
木材

日本農林規格品　⊙用いる　・用いない

製材

施工箇所			
樹種名			
寸法			
材面の品質			
含水率			

代用樹種の使用　・禁止する　・禁止しない

造作用集成材

施工箇所			
樹種名			
寸法			
見付け材面の品質			
含水率			

造作用単板積層材

施工箇所			
寸法			
表面処理			
防虫処理			

その他ボード

名称	種　類	規格，区分等	厚さ(mm)
繊維板	・MDF		・3　・7　・9　・12　・15 ・18　・21　・24　・30
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板	・10　・12　・15　・18　・20 ・30　・35　・40
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオ-バ-レイ ・塗装	・10(難燃)　・12(難燃) ・15(難燃)　・18(難燃) ・20(難燃)　・25(難燃) ・30(難燃)　・35(難燃) ・40(難燃)

防腐処理　・行う　適用範囲 ＿＿＿＿＿＿
防蟻処理　・行う　適用範囲 ＿＿＿＿＿＿
防蟻処理は，非有機リン系とする。

防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。
ただし，現場における加工が生じた場合には，加工した箇所に対し，現場にて防腐・防蟻を塗布することとする。

防虫処理

防虫処理　・行う　適用範囲 ＿＿＿＿＿＿

〈6.8.2〉
材　料

下記以外のビニル床シートは，種類FS，柄は無地，厚さ2.0mmとする。

種　類	性　能	厚さ(mm)	柄	施工箇所
耐薬性ビニル床シート	耐薬性	2.0	無地	図示 東リ 耐薬スーパーKシート 同等品

下記以外のビニル床タイルは，厚さ2.0mmとする。

種　類	厚さ(mm)	寸法(mm)	施工箇所

誘導用，注意喚起用床材　視覚障害者用タイル

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)
・塩化ビニル系	・300×300　・	・20　・
・レジンコンクリート系	・300×300　・	・30　・
・		

ゴム床タイル

寸法(mm)	厚さ(mm)	色　柄	製造所・製品名

〈6.9.3〉
~~材　料~~

織じゅうたん

種　別	パイル形状	帯電性	製造所・製品名
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・カットパイル ・ループパイル ・ｶｯﾄ,ﾙｰﾌﾟ併用	・人体帯電圧 3KV以下 ・	・

タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	帯電性	工　法	製造所・製品名
・カットパイル ・ループパイル ・レベルループパイル ・カット,ループ併用		・人体帯電圧 3KV以下 ・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	

抗菌加工の有無　・有　・無

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	特記仕様書（２）	―

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号
特－０２

ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	製造所・製品名
・	・人体帯電圧3KV以下 ・	

抗菌加工の有無　・有　・無

タイルカーペット

種　別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)	製造所・製品名
・一 種 ・　種	・カットパイル ループパイル	500×500 ・	・6.5 ・	・適用しない ・	東リ/GA-100 サンゲツ 田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ

校長室はハイグレードのものとする

<6.10.2>
~~材　料~~　合成樹脂塗塗床材

種　別		工法・仕上げの種類
・厚膜型塗床材	・弾性ウレタン樹脂系	・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
	・エポキシ樹脂系	・薄膜流し展ベ工法（　・平滑　・防滑） ・厚膜流し展ベ工法（　・平滑　・防滑） ・つや消し仕上げ　（　・平滑　・防滑） ・樹脂モルタル工法（　・平滑　・防滑）
・薄膜型塗床材		

<6.11.2>
~~材　料~~　フローリングの種別

単層フローリング	樹　種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工　法
・フローリングボード	・ ・			・モルタル埋め込み工法 ・根太張り工法 ・直張り工法 ・接着工法
・フローリングブロック	・ ・	・15 ・	・303×303 ・	
・モザイクパーケット				

複合フローリング	樹　種	種　別	防湿処理	工　法
・複合1種 フローリング ・複合2種 フローリング ・複合3種 フローリング	・ ・	・A種 ・B種 ・C種	 ・行う	・モルタル埋め込み工法 ・根太張り工法 ・直張り工法 ・接着工法

((2.7.2))
~~材　料~~　[2編2章　特殊実験施設内装工事　(特記基準)]
フローリングの種別

フローリング	樹　種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工　法

<6.12.2>
~~材　料~~　畳敷き
種別　・A種　・B種　・C種　・D種
D種の場合の畳床　・KT-　Ⅰ　・KT-　Ⅱ　・KT-　Ⅲ　・KT-K　・KT-N

<6.13.2>
材　料　せっこうボード，その他ボード及び合板張り

名称	種　類		規格・区分等	厚さ(mm)
せっこうボード製品	⊙せっこうボード(GB-R)			⊙9.5(準不燃) ⊙12.5(不燃)
				・9.5(準不燃) ・**12.5**(不燃)
				・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
	・硬質せっこうボード(GB-R-H)			・9.5(不燃) ・**12.5**(不燃)
	⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)			⊙9.5(準不燃) ⊙12.5(不燃)
	・せっこううラスボード(GB-L)			・9.5
	⊙強化せっこうボード(GB-F)			・9.5(不燃)　⊙12.5(不燃)
	・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ (GB-NC)		模様なし	・9.5(不燃)
			ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	・9.5(不燃)
	⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	普通	⊙ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	⊙9.5(準不燃)・9.5(不燃)
			・木目模様	・9.5(準不燃) ・**12.5**(不燃)
		特殊		
吸音材料	・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(RW-B)		1号	・25
	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(GW-B)		2号 32K	・25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包)
	⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR)	内部用	普通	⊙9.0(不燃) ・
			立体模様	・12.0(不燃)
		軒天用	普通	・9.0(不燃) ・
			立体模様	・12.0(不燃)・
繊維強化セメント	・0.8けい酸カルシウム板(FK)			・ 6.0 ・
	・化粧けい酸カルシウム板(FK-D)			・ 6.0
合板	特殊 ・天然木化粧合板		・なら　・しおじ ・	化粧単板　・0.3未満　・ 板　　・4.2　・
	特殊 ・特殊加工化粧合板		・ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板	・4.0
	難燃合板 ・			・
	その他		・外装ﾓﾙﾀﾙ下地材	・9（ラスカット(ノダ)同等品）

木質系セメント板	・木毛セメント板	・硬質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板	・15　・20 ・25　・30
	・木片セメント板	・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板	・12　・15　・18　・21 ・30
ハードボード(硬質繊維板) 素地ハードボード	・スタンダードボード	・未研磨板 ・研磨板	・2.5・3.5 ・5　・7
	・テーパードボード	・未研磨板 ・研磨板	・2.5・3.5 ・5　・7
	・内装用化粧ハードボード		・2.5・3.5・5・7
	・外装用化粧ハードボード		・5　・7
インシュレーションボード(軟質繊維板)	・A級インシュレーションボード	・素板 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材	・9　・12 ・15　・18
	・シージングボード		
・MDF			・3・7・9・12・15 ・18・21・24・30
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板	・10・12・15・18・20 ・30・35・40
	・化粧パーティクルボード	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装	・10(難燃)・12(難燃) ・15(難燃)・18(難燃) ・20(難燃)・25(難燃) ・30(難燃)・35(難燃) ・40(難燃)

<6.14.2>
~~材　料~~　壁紙張り

施工箇所	製造所・製品名	防火性能の級別
		・1級　・2級　・　級
		・1級　・2級　・　級
		・1級　・2級　・　級

<6.16.3>
<6.16.4>
~~陶磁器質タイル張り~~　タイルの形状，寸法，きじの質及び工法等

施工箇所	形状 寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	工法 工法名	製造所 製品名

※施工箇所の下線は、耐凍害性があるものを示す。

試験張り　・行う　⊙行わない
見本焼き　・行う　⊙行わない

7章　塗装改修工事

<7.1.3>
材　料　塗料は，ホルマリン不検出のものとし，有機溶剤の含有の少ないものとする。

防火材料の指定
⊙屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所は防火材料とする。

((2.1.2))
材　料　[2編2章　特殊実験施設塗装工事　(特記基準)]
抗菌性塗料の製品名(製造所)及びつやの程度

8章　耐震改修工事

コンクリートの品質

種類 / 摘要	普通コンクリート		
適用箇所	捨てコンクリート ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護ｺﾝｸﾘｰﾄ	新設壁・設備基礎・庇・階段 床開口塞ぎ・スロープ	左記以外部分
設計基準強度 (N/mm2)	18	21	—
スランプ (cm)	18	18	—
軽量コンクリートの気乾単位容積重量(kg/m3)			

<8.1.5>
~~鉄骨製作工場~~　工場性能評価グレード　M　以上の工場

<8.2.1>
鉄　筋

種類の記号	径(mm)	適用箇所
⊙SD295A	D10～16	構造図による。
⊙SD345	D19～25	構造図による。
⊙SD235	φ6	スパイラル筋

<8.2.2>
溶接金網

網目の形状，寸法	鉄線の径
100×100	φ6
150×150	
200×200	

<8.2.7>
~~型枠の材料~~　床型枠用鋼製デッキプレート

使用箇所	備　考

製造所

<8.2.8>
~~鋼材~~

種　別	材　質	備　考
・棒鋼		
・平鋼		
・形鋼(H形)	SS400	柱･梁
・形鋼(その他)	SS400	梁
・鋼板(中・厚)	SS400	
・鋼板(薄)		
・軽量形鋼		
・角形鋼管		
・アンカーボルト	ABR400	
・		

<8.3.4>
~~継手及び定着~~　継手方法等

部　位	継手方法	径(mm)
柱，梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手　・溶接継手	
その他	⊙重ね継手	

主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　⊙40d　・
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　・
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ　⊙40d　・
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋以外の鉄筋の定着長さ　・

<8.3.8>
ガス圧接　圧接完了後の試験　・超音波深傷試験

<8.16.2>
~~耐火被覆材の種別及び性能~~　種別　・ラス張りモルタル塗り
・耐火材吹付け　（　・乾式工法　・半乾式工法　・半湿式工法　・湿式工法　）
・耐火板張り工法
所要性能

所要性能	構造区分	適用箇所

<8.19.3>
既存部分の処理　目荒し

部位	平均深さ (mm)	打継ぎ面に対する目荒し面積の割合 (%)
柱･梁	2～5mm(最大で5～7mm)	15～30%
増打ち部	2～5mm(最大で5～7mm)	10～15%

<8.19.8>
コンクリートの打込み　⊙流込み工法　⊙圧入工法

<8.21.5>
~~溶接金網巻き工法及び溶接ﾜｲﾔ巻き工法~~　打込の工法の種類
・流込み工法　・圧入工法

9章　環境配慮改修工事

<9.1.1>
一般事項　アスベスト含有建材の処理の工事

工事種別	適用箇所
・除去処理	図示
・封じ込め処理	
・囲い込み処理	

施工調査
目視又は設計図書による施工調査は，次の事項について行い，調査結果をとりまとめ，図面等により記録し，監督職員に提出する。
1. アスベスト含有建材使用部位の確認
2. アスベスト含有建材の厚さ等の確認
3. アスベスト含有建材使用数量の確認
4. 施工範囲等の確認

分析によるアスベスト含有の調査　・行う

調査対象室	ＬＡＮ管理室、便所、倉庫を除く全ての室
調査対象建材	ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル巾木、石綿セメント板、石綿ケイ酸カルシウム板、ロックウール吸音板

分析によるアスベストの含有の調査は，「改訂　既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説2006(日本建築センターH18.10)」(以下「センター指針」という。)の「3.3.3 資料採取による現地調査」に基づき行う。
ただし，アスベスト含有の分析方法は，JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。それ以外の分析方法とする場合は，監督職員と協議する。

アスベスト粉じん濃度測定
処理作業室，処理作業室以外の室内又は室外，負圧・除じん装置の排出吹き出し口，敷地境界において，アスベスト粉じん濃度の測定を行う。

1. アスベスト粉じん濃度の測定場所，測定点及び測定時期は下表による。

測定時期	測定名称	測定場所	測定点 (各施工箇所毎)	備考
処理作業前	測定　1	処理作業室内	各＿＿点	
	測定　2	処理作業室以外の室内又は室外	計＿＿点	大気
処理作業中	測定　3	処理作業室内	各＿＿点	
	測定　4	負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置　各＿＿点	
	測定　5	処理作業室 敷地境界	4方向各＿＿点 (敷地境界)	
処理作業後 (シート養生中)	測定　6	処理作業室内	各＿＿点	
作業終了後 シート撤去後 1週間以内	測定　7	処理作業室内	各＿＿点	
	測定　8	処理作業室以外の室内又は屋外	計＿＿点	大気

2. アスベスト粉じん濃度の測定に当たっては，アスベスト粉じん濃度測定計画書を作成し監督職員に提出する。

3. 下記の内容に基づくアスベスト粉じん濃度測定結果報告書を作成し，監督職員に提出する。
1)工事名称
2)測定結果
3)測定時間
4)測定位置(測定高さと共に図示する。)
5)測定時の作業内容
6)サンプリング条件(ホルダー直径，吸引時間，吸引空気量)
7)マウンティング方法
8)顕微鏡視野面積，計数視野数
9)計数アスベスト繊維について
10)測定時(各測定場所毎)の温度，湿度，風圧
11)その他必要な事項

アスベスト含有建材飛散防止処理施工計画書
施工調査の結果に基づき，アスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだアスベスト含有建材飛散防止処理施工計画書を「センター指針」の「5.3.2 施工計画書の作成」に基づき作成する。

施工におけるアスベスト粉じん飛散防止措置等
1. 施工におけるアスベスト粉じん飛散防止措置等は，関係法令によるほか，<9.1.3>，<9.1.4>及び<9.1.5>に示すもののうち，特に次の事項については「センター指針」の「5.2.4 飛散防止措置等」に基づき実施する。
1)粉じん飛散抑制剤の使用　2)粉じん飛散防止処理剤の使用
3)負圧・除じん装置の設置　4)隔離シートの撤去

処理工事
1. 除去処理工事は<9.1.3>及び<9.1.4>によるほか，「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「Ⅰ　除去処理工事」に定める「5.除去処理工事作業手順」に基づいて行う。

2. 封じ込め処理工事は「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「Ⅱ　封じ込め処理工事」に定める「5.封じ込め処理作業手順」に基づいて行う。

3. 囲い込み処理工事は「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「Ⅲ　囲い込み処理工事」に定める「5.囲い込み処理作業手順」に基づいて行う。
なお，軽量鉄骨天井下地，つりボルト用彫込みアンカーの取付けは<6.6.1>～<6.6.4>によることとし，アスベスト粉じん飛散防止措置を講じたうえで行う。

4. アスベスト含有成形板の撤去工事は，<9.1.5>によるほか，「非飛散性アスベスト廃棄物の適正処理について」(平成17年3月30日付 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課適正処理・不法投棄対策室長　環境産発第050330010)別添の「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」(以下「技術指針」という。)の「第3章　撤去」及び次の事項に基づき実施する。

5. 上記によるほか，処理作業に伴い発生する飛散性アスベストを含む廃棄物（以下，「アスベスト廃棄物」という。）を作業当日に適切に処理可能となるよう作業手順を定める。なお，一日の作業終了時には床等を高性能真空掃除機等により清掃する。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	特記仕様書（３）	—

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　特－０３

材料

粉じん飛散防止処理剤，粉じん飛散抑制剤は散布特性，浸透・湿潤性，耐久性，防・耐火性，吸音性などを考慮して適切なものを選定し，関係資料を監督職員に提出する。

アスベスト廃棄物の処理

1.「アスベスト廃棄物」の処理に当たっては，関係法令，地方公共団体・特定行政庁の指導等によるほか，「建設廃棄物の処理マニュアル(財)日本産業廃棄物処理振興センターH13.7)」に基づいて実施する。

2.アスベスト廃棄物をやむを得ず一時的に構内に保管する場合の保管場所等については，監督職員と協議する。

3.アスベスト廃棄物の構外搬出作業にあたって，作業実施予定日時等を事前に監督職員と協議する。

アスベスト含有建材飛散防止処理施工記録

1.施工記録報告書を作成し，監督職員に提出する。

2.施工記録報告書は下記の事項により作成する。

1)施工計画書
2)工事記録及び工事写真
3)産業廃棄物処理記録
4)施工調査等記録
5)作業者の作業記録
6)建物の使用に当たっての注意事項
7)異状が合った場合の連絡先等
8)処理工事期間
9)処理工事業者名
10)処理工事の場所・部位
11)飛散防止処理剤の種類と使用量等
12)囲い込み材料の使用量等
13)その他の必要事項

〈9.1.2〉
除去工事共通事項

工事管理者

1.処理工事に係る総合的技術管理を行う工事管理者を選任する。
なお，工事管理者は，アスベスト含有建材飛散防止処理施工等にかかわる指導，及び管理を行う能力を有し，建設業法で規定する主任技術者または監理技術者の資格を有するものとする。

2.工事管理者と現場代理人及び石綿作業主任者はこれを兼ねることができる。

〈9.1.3〉
アスベスト含有吹付材の除去

アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。

室名	処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様

アスベスト含有吹付け材の処理　・密封処理（二重袋梱包）　・セメント固化　・

〈9.1.4〉
アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。

室名	処理を行うアスベスト保温材等の仕様

〈9.1.5〉
アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の処理を行う範囲は図示による。

室名	処理を行うアスベスト含有成形板等の仕様

アスベスト含有成形板の集積・運搬等

アスベスト含有成形板の集積・運搬等は，〈9.1.5〉によるほか，「技術指針」の「第４章　収集運搬」及び次の事項に基づき実施する。

アスベスト含有成形板の処分等

アスベスト含有成形板の処分等は，〈9.1.5〉によるほか，「技術指針」の「第５章　中間処理」，「第６章　最終処分」及び次の事項に基づき実施する。

〈9.3.2〉
材料

種　類	種　別	厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	・	・	
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	・保温板2種b	・25　・	
	・保温板3種b	・25　・	
	・	・	
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材	・	・	

上記保温材は，特定フロンを含まないものとする。

〈9.5.2〉
断熱材打込み工法

断熱材打込み工法

種　類	種　別	厚さ（mm）	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	・	・	
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	・保温板2種b	・25	
	・保温板3種b	・25　⊙30	屋上（外断熱）
	・	・	
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材	・	・30	
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材	・	・	

上記保温材は，特定フロンを含まないものとする。

〈9.5.3〉
断熱材現場発泡工法

断熱材現場発泡工法

種　類	厚さ（mm）	施工箇所
⊙A種1 ・A種2 ・A種3	⊙25 ・30 ・	外壁内面(内断熱)

上記保温材は，特定フロンを含まないものとする。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	特記仕様書（４）	―	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						特－０４

工 事 区 分 表

工 事 区 分　　[本工事:建築]

項目 名称	項目 摘要	建築	電気	機械	土木	備考	項目 名称	項目 摘要	建築	電気	機械	土木	備考
コンクリート穴あけ	梁，壁木製型枠入れ	⊙	・	・	・	墨出し、補修共	特殊サイズ鏡		⊙	・	・	・	
〃	梁・壁スリーブ入れ	⊙	⊙	⊙	・	ボイド等	化粧用洗面器、鏡	洗面カウンターは除く	・	・	⊙	・	
〃	床スラブ木製型枠入れ	⊙	・	・	・	墨出し、補修除く	雷保護設備		・	⊙	・	・	
〃	床スラブスリーブ入れ	⊙	⊙	⊙	・	ボイド等	保守管理用タラップ、はしご		⊙	・	・	・	トレンチ、床下部、屋上
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	⊙	・	・	・		室内テレビ用吊金物		⊙	・	・	・	
配管ダクト類の防水貫通部補修		⊙	・	・	・		テレビアンテナ	取付共	・	⊙	・	・	
ALCパネルの穴あけ，補修	ダクト等の貫通部	⊙	・	・	・		同上用基礎		⊙	・	・	・	
PC板の穴あけ	スリーブ入れ	⊙	・	・	・		グリストラップ及びガソリントラップ	コンクリート製	⊙	・	・	・	
同上補修		⊙	・	・	・	モルタル充てん等		ステンレス鋼板製	・	・	⊙	・	
インサート	PC板	⊙	・	・	・		電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押しボタン取付共	⊙	・	・	・	
インサート	コンクリート床	⊙	⊙	⊙	・		同上配線配管、接続	一次側(　相　　V)	・	⊙	・	・	
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	⊙	・	・	・	ボード切込、墨出し共	自動扉の配管配線	二次側	⊙	・	・	・	
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気関係開口部	・	⊙	・	・	照明器具等	同上配線配管、接続	一次側	・	⊙	・	・	
〃	機械設備関係開口部	・	・	⊙	・	空調吹出口	電気錠操作盤	読取装置共	⊙	・	・	・	
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	⊙	・	・	・	照明器具、空調吹出口、給排気ガラリ等	同上配管配線		・	⊙	・	・	
							電気錠	配管配線、接続ボックスまで	⊙	・	・	・	
開口部補強を必要としないボード等の切開		⊙	⊙	⊙	・	ボード切込、墨出し共	同上配線配管、接続	操作盤～接続ボックスまで	・	⊙	・	・	
							中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む	・	⊙	⊙	・	
特殊仕上材の天井，壁，床に取り付ける器具等の穴あけ加工		⊙	・	・	・	石、金属パネル等	同上用電源配線	一次側	・	⊙	・	・	
							同上用信号線	各メーターから装置まで	・	⊙	⊙	・	
盤等重量物の下地補強	露出型器具取付用	⊙	・	・	・		ユニットバス本体	据付共	⊙	・	・	・	
床点検口	点検口取付及び、開口補強	⊙	・	・	・	墨出し共	同上用電源配線	一次側接続まで。SWの取付配線	・	⊙	・	・	
防火区画貫通部補修		⊙	⊙	⊙	・	モルタル充てん等	同上用配管	接続まで	・	・	⊙	・	
機器・配管取付後の壁、床等の補修		⊙	⊙	⊙	・		冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	現場製作	⊙	・	・	・	
流し台、ﾐﾆｷｯﾁﾝ本体、水切	ステンレス製(排水金具含む)	⊙	・	・	・	水切り板、同穴あけ共	同上用配管	接続まで	・	・	⊙	・	
同上用配管接続	給排水用	・	・	⊙	・		同上用照明・コンセント	電源配線配管、接続ボックス共	・	⊙	・	・	
流し台	陶器製	・	・	⊙	・		同上用電源配線	一次側接続まで	・	⊙	・	・	
洗面器等取付化粧板		⊙	・	・	・		冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等の内装	プレハブ型	⊙	・	⊙	・	
ルーフドレン		⊙	・	・	・								
立どい	防露工事共	⊙	・	・	・	第１桝までの配管	同上用配管	接続まで	・	・	⊙	・	
雨水排水管	第1桝から排水幹線までの配管	⊙	・	・	・	第1桝を含む	同上用照明・コンセント	電源配線配管、接続ボックス共	⊙	・	⊙	・	
〃		⊙	・	・	・		同上用電源配線	一次側接続まで	・	⊙	・	・	
生活排水、実験排水管	建物及び第1桝までの配管	・	・	⊙	・	第１桝までの配管	芝生、種子吹付け		⊙	・	・	・	
〃	第1桝から排水幹線までの配管	・	・	⊙	・	第１桝を含む	法枠、モルタル吹付け		⊙	・	・	・	
〃	幹線の配管	・	・	⊙	・		コンクリート擁壁		⊙	・	・	・	
大型機械基礎		⊙	・	・	・		植栽		⊙	・	・	・	
同上基礎上鉄骨架台		・	⊙	⊙	・		昇降機設備本体(以下EV)	三方枠、同取付後の壁補修まで(トロ詰)	⊙	・	・	・	
機器用アンカーボルト	ボイラ、冷凍機等機械設備関係機器	・	・	⊙	・	墨出し、型枠入れ共	EV用機械室	天井フック、床シンダ-コンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共	⊙	・	・	・	
機器用アンカーボルト	自家発電機その他電気関係機器	・	⊙	・	・	墨出し、型枠入れ共							
一般機器類の基礎	仕上げ共	⊙	・	・	・		EV用監視盤		⊙	・	・	・	
屋外自立盤の基礎	仕上げ共	⊙	・	・	・		EV用換気扇取付		⊙	・	・	・	
屋外貯油槽	地下式	・	・	⊙	・		EV用機械室換気扇取付	サーモスイッチ共	・	・	⊙	・	
共同溝	歩床コンクリート共	⊙	・	・	・		EV用各種信号用制御線	停電用、火災用等	⊙	・	・	・	
建物、共同溝接続トレンチ		⊙	・	・	・		EV用三方枠周囲の壁仕上		⊙	・	・	・	
同上接続部止水板		⊙	・	・	・		EV用各階出入口用開口	敷居取付用持出し共	⊙	・	・	・	
各種槽類	コンクリート製	⊙	・	・	・		昇降路内中間ビーム設置		⊙	・	・	・	
〃	SUS、FRP、鋼製	・	・	⊙	・		EV用ピット内防水		⊙	・	・	・	
〃	屋外大型のものの基礎	⊙	・	・	・		EV用動力、照明用電源、接地引込み		・	⊙	・	・	
〃	屋上設置のものの基礎	⊙	・	・	・								
換気扇取付	ダクトのあるもの	・	・	⊙	・	天井扇等	EV用コンセント設置	ピット内、機械室内	・	⊙	・	・	
〃	壁、サッシ等への取付（材共）	・	・	⊙	・	フード取付共	EV用インターホン配線	シャフト外、インタ-ホン設置場所～制御盤	・	⊙	・	・	
同上用電源及びスイッチ	配管・配線及びボックス共	・	⊙	・	・		〃	シャフト内、監視盤内接続共	⊙	・	・	・	
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	⊙	・	⊙	・		EV用非常放送用スピーカ		・	⊙	・	・	
全熱交換器		・	・	⊙	・		EV用同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤	・	⊙	・	・	
同上用電源及びスイッチ	配管・配線及びボックス共	・	⊙	・	・		〃	シャフト内、制御盤内接続共	⊙	・	・	・	
外壁取付ガラリ		⊙	・	・	・		EV用監視カメラ		⊙	・	・	・	
内壁取付ガラリ		⊙	・	・	・	遮光ガラリ共	EV用監視カメラ配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤	・	⊙	・	・	
ガラリへの給排気ダクト接続		・	・	⊙	・		〃	シャフト内、制御盤内接続共	⊙	・	・	・	
煙感知器連動防火戸		⊙	・	・	・		EV点検用タラップ	ピット内	⊙	・	・	・	
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共	・	⊙	・	・		鉄骨穴あけ	鉄骨工事鉄管スリーブ入れ	⊙	・	・	・	墨出し共
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共	・	⊙	・	・		デッキプレートの開口切断		⊙	⊙	⊙	・	
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①	・	・	⊙	・		コンクリート穴あけ	既設コンクリート床、壁	⊙	⊙	⊙	・	補修共
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②	⊙	・	・	・		コンクリート穴埋め	既設コンクリート床、壁	・	⊙	⊙	・	配管共
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③	⊙	・	・	・		〃	既設コンクリート床、壁	⊙	・	・	・	和風大便器・壁埋込み分電盤等
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	・	⊙	・	・		身障者用手すり		⊙	・	・	・	
道路側溝用排水	L型・U型と管布設	⊙	・	・	・		スクリーンボックス		⊙	・	・	・	スクリーン本体は除く
制御盤	制御盤以降の配管、配線共	・	⊙	⊙	・		電動スクリーン用配管	電源供給までの配管	・	⊙	・	・	操作SWと操作線は除く
同上接続(一次側)	制御盤主開閉器までの配管配線	・	⊙	・	・	接地共	カーテンボックス	カーテンレール共	⊙	・	・	・	カーテン本体は除く
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤	・	・	⊙	・		電動カーテン用配管	電源供給までの配管	・	⊙	・	・	操作SWと操作線は除く
屋内消火栓起動リレー		・	⊙	・	・		ブラインドボックス	レール共	⊙	・	・	・	ブラインド本体は除く
同上表示灯及び起動装置		・	⊙	⊙	・		電動ブラインド用配管	電源供給までの配管	・	⊙	・	・	操作SWと操作線は除く
自動火災報知器		・	⊙	・	・		スクリーン等本体	カーテン・ブラインド	・	・	・	・	別途備品工事
連結送水口	座板共	・	・	⊙	・		空調機用リモコン	取付・配線共	・	・	⊙	・	一次側電源を除く
独立煙突		⊙	・	・	・		同上配管及びボックス	リモコン用配管及びボックス	・	⊙	・	・	
同上煙道	鋼板製	・	・	⊙	・		アルミパネルの穴あけ		⊙	・	・	・	
同上雷保護設備	コンクリート製	・	⊙	・	・		舗装復旧		⊙	⊙	⊙	・	
配管配線用ピット		⊙	・	・	・		衛生機器類下地補強		⊙	・	・	・	
盤、配管、ダクト、配線用のニ重床開口	フリーアクセスフロア等	⊙	・	・	・		配管ダクト類の防水貫通部補修		⊙	⊙	⊙	・	
							ミニキッチン	水栓・換気扇・電気温水器・IH・照明共	⊙	・	・	・	天井換気扇用開口含む
コンクリートシャフト点検口		⊙	・	・	・		同上用一時側電源		・	⊙	・	・	
天井フック		⊙	・	・	・		同上用衛生配管・ダクト接続		・	・	⊙	・	
機械室、電気室の防音遮音処理		⊙	・	・	・								

その他材料仕様

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	工事区分表	―

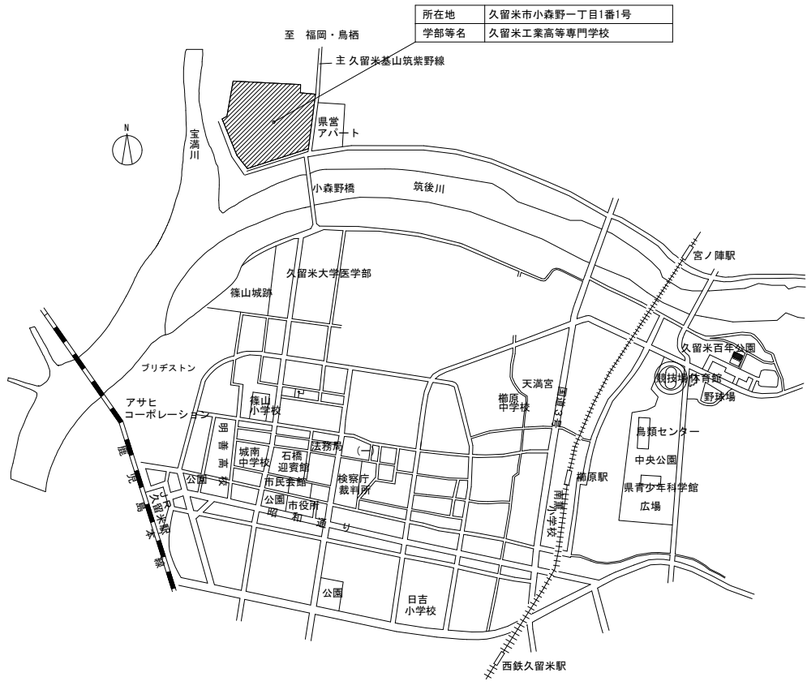
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

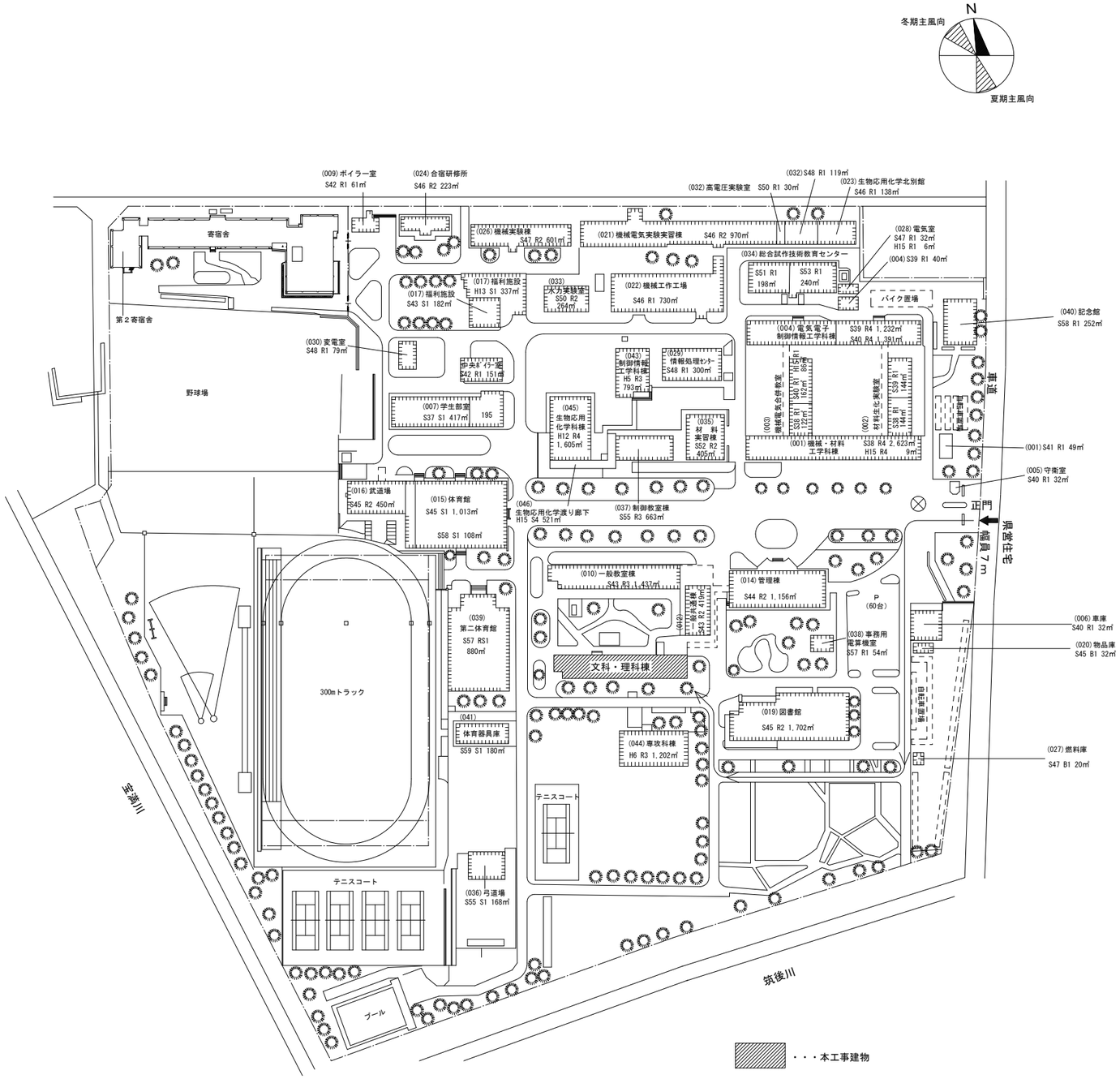
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　附－０１

所在地	久留米市小森野一丁目1番1号
学部等名	久留米工業高等専門学校



案内図



配置図　S=1/1000

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	案内図・配置図	A１：S＝1／1000 A３：S＝1／2000	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－01

共　通　事　項

■略　号

項目	表示略号	表示事項
一般事項	RF	屋上階
	1F	1階
	KBM	仮ベンチマーク
	GL	基準地盤面
	FL	基準床面
	W,w	幅
	L,l	長さ
	H,h	高さ
	@	間隔
	t，ア	厚さ
	CH	天井高
	φ	直径
	r	半径
	S	縮尺
	CL	センターライン
	DS	ダクトシャフト
	PS	パイプシャフト
	EPS	電気シャフト
	SK	掃除用流し
構造		
	RC	鉄筋コンクリート
	S	鉄骨
	LGS	軽量鉄骨
	CB	コンクリートブロック
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル
	ECP	押出成形セメント板
	S	床版（スラブ）
	W	壁
	C	柱
	P	間柱
	BR	筋かい
	F	基礎
	CF	布基礎
	FG	基礎梁
	G	大梁
	B	小梁
	HTB	高力ボルト
	STP	あばら筋
	Hoop	帯筋
	M	モルタル
	ST	鋼板
	AL	アルミニウム
	SUS	ステンレス

項目	表示略号	表示事項
塗料	EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
	SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り
	CL	ｸﾘｱｰﾗｯｶｰ塗り
	FE	ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り
	AE	ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ塗り
	2-UE	2液型ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り
	2-ASE	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
	EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り
	UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り
	OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り
	ﾏｽﾁｯｸA	ﾏｽﾁｯｸ塗材塗り　A種
	WP	木材保護塗料塗り
	DP	耐候性塗料塗り
	VE	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
	LP	合成ｺﾞﾑ系塗料塗り
	FP	ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
仕上塗材	内装薄塗材E	内装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗剤
	複層塗材E	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材
	外装薄塗材E	外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材
	内装厚塗材G	内装せっこう系厚付け仕上塗材
	複層塗材CE	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系複層仕上塗材
	複層塗材RE	水性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材
ボード類	GB-D	化粧せっこうボード
	GB-R	せっこうボード
	GB-L	せっこうラスボード
	GB-S	シージングせっこうボード
	GB-F	強化せっこうボード
	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード
	GB-NC	不燃積層せっこうボード
	DR	ロックウール化粧吸音板
	GW-B	グラスウール吸音ボード
	FK	けい酸カルシウム板
管類	VP	硬質塩化ビニル管
	SGP	配管用鋼管
	STK	構造用鋼管
	SGPW	亜鉛めっき鋼管
その他	Ｃこて	コンクリート金こて
	Ｍこて	モルタル塗り金こて
	C素地B種	コンクリート打放しＢ種
	C素地C種	コンクリート打放しＣ種
	VH	ビニル幅木
	VT	ビニル床タイル
	VS	ビニル床シート（無地）
	FVS1	超防汚性ビニル床シート張り
	FVS2	耐薬品性ビニルシート張り
	(GL)	ボード直貼工法
	UF	吹付硬質ウレタンフォームA種1

■法　規　上　の　表　現

防火認定材料

項目	材　料　名	認定番号
不燃材料	せっこうボード　t12.5	NM-8619
	1時間耐火認定(FP060-NP-0174)	
	GB-F　t=12.5+12.5（両面）	

■改　修　前　内　部　仕　上　表

〔　〕印は撤去部分を示す。

階	室番号・室名	床仕上げ高さ(FL)無記入FL±0 駆体高さ無記入FL±15	床 下地	床 仕上	幅木	壁 下地	壁 仕上	巡縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
1階	階段下倉庫	±0	M	Mこて	—	〔C一部〕 〔木〕	Mこて —	—	C LGS	Mこて —	直天	—
	廊下	±0	M	〔VS一部撤去〕	〔VH H=100一部撤去〕	C 木	Mこて FK t=6	LP	C 〔木〕 〔LGS〕	— 〔GB-P t=9.5〕 〔GB-R t=9+DR t=9〕	2,640	—
2階	一般物理実験室	±0	M	〔VS〕	〔VH H=100〕	C CB LGS	Mこて —	LP	C 〔LGS〕	— 〔GB-R t=9+DR t=9〕	3,000	〔人研台・人研流し、AB、AB(三方)〕
	物理実験準備室	±0	M	VT	〔VH H=100〕	C 木	Mこて FK t=6	LP	C LGS	— FK t=8	3,000	〔付長押〕
	工作室	±0	M	〔VT一部撤去〕	〔VH H=100一部撤去〕	〔C一部〕 〔CB一部〕 木	Mこて FK t=6	LP	C 〔LGS一部〕	— 〔GB-P t=9.5一部撤去〕	3,000	〔ライニング、付長押〕、AB(三方)
	真空工学実験室	±0	M	〔VT一部撤去〕	〔VH H=100一部撤去〕	〔C一部〕 〔CB一部〕 CB 木	Mこて 一部合板 t=12+FK t=6 FK t=6	LP	C 〔LGS一部〕	— 〔FK t=8一部撤去〕	3,000	〔付長押〕、人研台
	暗室	±0	M	VS	VH H=100	C CB LGS	Mこて GB-R t=9+t=12	LP EP	C LGS	— FK t=8	2,450	人研台・人研流し、AB(三方)、付長押
	教員室(1)	±0	M	VT	VH H=100	C CB 木	Mこて FK t=6	LP	C LGS	— FK t=8	3,000	人研台、ライニング、AB、付長押
	教員室(2)	±0	M	VS	VH H=100	C CB 木	Mこて FK t=6	LP	C LGS	— FK t=8	3,000	人研台・人研流し
	X線実験室	±0	M	塗床	〔VH H=100〕	C CB 〔LGS〕 〔木一部〕	Mこて 〔GB-R t=9+t=12〕 〔FK t=6一部撤去〕	LP EP	C 〔LGS〕	— 〔FK t=8〕	3,000	〔人研台・人研流し、AB(三方)、付長押〕
	教員室(3)	±0	M	〔VS〕	〔VH H=100〕	C 〔LGS〕 〔木一部〕	Mこて 〔GB-R t=9+t=12〕 〔FK t=6一部撤去〕	LP EP	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9〕	3,000	〔人研台・人研流し、付長押〕
	男子便所	±0	〔M〕	〔モザイクタイル〕	〔100角ﾀｲﾙ H=1940〕	C 〔CB〕 LGS	Mこて —	LP	C 〔LGS〕	— 〔FK t=8〕	2,640	〔テラゾートイレブース〕
	廊下	±0	M	〔VS一部撤去〕	〔VH H=100一部撤去〕	C LGS 木	Mこて — 〔FK t=6一部撤去〕	LP	〔木〕 LGS	〔GB-P t=9.5〕 GB-R t=9+DR t=9	2,640	—
3階	教員室　前室(1)、(2)	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9+t=12+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	EP	C LGS	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-D t=9	2,750	—
	教員室　前室(3)	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9+t=12+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	EP	C LGS	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 〔GB-D t=9一部撤去〕	2,750	—
	教員室　前室(4)	±0	M	〔VS〕	〔VH H=100〕	C 〔LGS〕	Mこて〔ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ〕 〔GB-R t=9+t=12+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ〕	EP	C 〔LGS〕	Mこて〔梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ〕 〔GB-D t=9〕	2,750	—
	教員室(1)～(8)、(10)～(12)	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9+t=12+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 鋼製パネルt=80	EP	C LGS	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-D t=9	2,750	BB
	教員室(9)	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9+t=12+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 鋼製パネルt=80	EP	C LGS	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 〔GB-D t=9〕	2,750	BB
	教員室(13)～(15)	±0	M	〔VS〕	〔VH H=100〕	C 〔LGS〕	Mこて〔ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ〕 〔GB-R t=9+t=12+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ〕	EP	C 〔LGS〕	Mこて〔梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ〕 〔GB-D t=9〕	2,750	BB
	男子便所	±0	〔M〕	〔モザイクタイル〕	〔100角ﾀｲﾙ H=1940〕	C 〔CB〕	Mこて	LP	C 〔木〕	— 〔FK t=8〕	2,640	〔テラゾートイレブース〕
	廊下	±0	M	〔VS一部撤去〕	〔VH H=100一部撤去〕	C CB LGS	Mこて —	LP	C 〔LGS一部〕	— 〔GB-D t=9一部撤去〕 〔GB-R t=9+DR t=9〕	2,640	〔BB一部撤去〕
共通	屋内階段	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこて —	LP	C LGS	Mこて GB-D t=9	—	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ

■改　修　後　内　部　仕　上　表

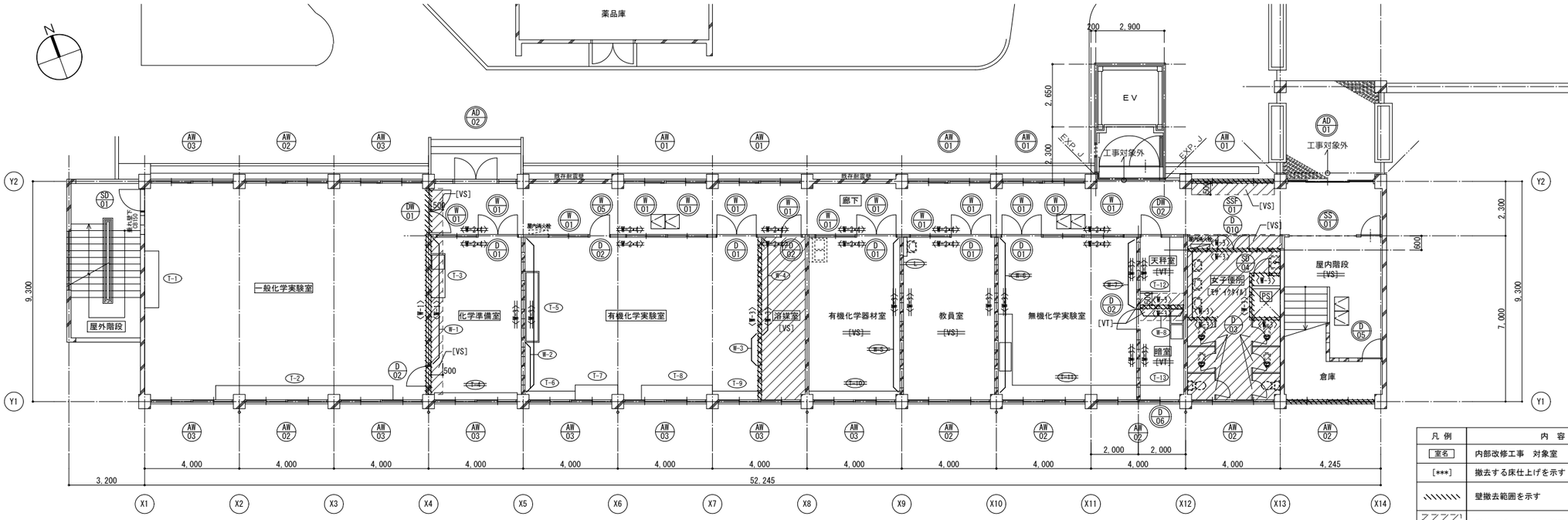
階	室番号・室名	床仕上げ高さ(FL)無記入FL±0 駆体高さ無記入FL±15	床 下地	床 仕上	幅木	壁 下地	壁 仕上	巡縁	天井 下地	天井 仕上	天井高	備考
	~~階段下倉庫~~	±0	M	Mこて	—	〔C一部新設〕 LGS	〔一部Cこて(新設耐震壁)〕 —	—	C LGS	— —	直天	—
	廊下	±0	M	〔VS一部新設〕	VH H=60	〔C一部新設〕 木	〔一部Cこて(新設耐震壁)〕 〔一部下地調整〕 FK t=6	〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,640	—
2階	一般物理実験室	±0	M	〔VS〕	〔VH H=60〕	C CB 〔LGS〕	〔下地調整〕 〔GB-R t=12.5(GL)〕 〔GB-R t=12.5(GL)〕 〔GB-R t=9.5+12.5〕	〔EP〕	C LGS	— GB-R t=9+DR t=9	— 2,700	〔AB〕
	~~物理実験準備室~~	±0	M	VS	〔VH H=60〕	C CB 〔LGS〕	Mこて 〔GB-R t=9.5+12.5〕	LP 〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 3,000	—
	工作室	±0	M	〔VT一部新設〕	〔VH H=100一部新設〕	〔C一部新設〕 CB 木	Mこて 〔一部Cこて(新設RC壁)〕 FK t=6	LP 〔EP〕	C 〔LGS一部〕	— 〔GB-D t=9.5一部新設〕	〔塩ビ〕 3,000	〔手洗い用ライニング〕
	真空工学実験室	±0	M	〔VT一部新設〕	〔VH H=100一部新設〕	〔C一部新設〕 CB CB 木	Mこて 〔一部Cこて(新設RC壁)〕 一部合板 t=12+FK t=6 FK t=6	LP 〔EP〕	C 〔LGS一部〕	— 〔FK t=8一部新設〕	〔塩ビ〕 3,000	〔流し台用ライニング〕
	~~暗室~~	±0	M	VS	VH H=100	C CB LGS	Mこて GB-R t=9+t=12	LP EP	C LGS	— FK t=8	— 2,450	—
	~~教員室(1)~~	±0	M	VS	VH H=100	C CB 木	Mこて FK t=6	LP	C LGS	— FK t=8	— 3,000	—
	~~教員室(2)~~	±0	M	VS	VH H=100	C CB 〔木〕	Mこて FK t=6	LP	C LGS	— FK t=8	— 3,000	—
	教員室(3)	±0	M	〔VS〕	〔VH H=60〕	C CB 〔LGS〕	〔下地調整〕 〔GB-R t=9.5+12.5〕	〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,700	〔BB、付長押〕
	教員室(4)	±0	M	〔VS〕	〔VH H=60〕	C 〔LGS〕	〔下地調整〕 〔GB-R t=9.5+12.5〕	〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,700	〔BB、付長押〕
	多目的便所	±0	〔M〕	〔FVS1〕	〔VH H=60〕	C 〔LGS〕	〔下地調整〕 〔GB-S t=9.5+12.5〕	〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,500	〔L型手摺、跳上げ手摺 ライニング〕
	男子便所	±0	〔M〕	〔FVS1〕	〔VH H=60〕	C 〔LGS〕	〔下地調整〕 〔GB-S t=9.5+12.5〕	〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,500	〔L型手摺、小便器手摺 ライニング、化粧鏡、姿見鏡〕
	廊下	±0	M	〔VS一部新設〕	〔VH H=60〕	C LGS	Mこて 〔下地調整〕 GB-R t=9.5+12.5	LP 〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,640	—
3階	~~教員室　前室(1)、(2)~~	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9.5+12.5	EP	C LGS	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-D t=9.5	— 2,640	—
	~~教員室　前室(3)~~	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9.5+12.5	EP	C LGS	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-D t=9.5	— 2,640	—
	~~教員室(1)～(8)、(10)～(12)~~	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9.5+12.5 鋼製パネルt=80	EP	C LGS	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-D t=9.5	— 2,640	—
	~~教員室(9)~~	±0	M	VS	VH H=100	C LGS	Mこての上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-R t=9.5+12.5 鋼製パネルt=80	EP	C 〔LGS〕	Mこての上、梁型:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ GB-D t=9.5	〔塩ビ〕 2,640	—
	ラーニングコモンズ	±0	M	〔VS〕	〔VH H=60〕	C LGS	〔下地調整〕 GB-R t=9.5+12.5	〔EP〕	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,640	BB、SB
	女子便所	±0	〔M〕	〔FVS1〕	〔VH H=60〕	C LGS	*** ***	***	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,500	〔L型手摺、ライニング、 化粧鏡、姿見鏡〕
	男子便所	±0	〔M〕	〔FVS1〕	〔VH H=60〕	C LGS	*** ***	***	C 〔LGS〕	— 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 2,500	〔L型手摺、小便器手摺 ライニング、化粧鏡、姿見鏡〕
	廊下	±0	M	〔VS一部新設〕	〔VH H=60一部新設〕	C CB LGS	Mこて —	LP	C LGS	— 〔GB-D t=9.5(X7～X14間新設)〕	〔塩ビ〕 2,640	—
共通	~~屋内階段~~	±0	M	〔VS〕	〔VH H=60〕	C LGS	〔下地調整〕 —	〔EP〕	C 〔LGS〕	〔段裏：下地調整の上、EP〕 〔GB-D t=9.5〕	〔塩ビ〕 —	〔スチール製落下防止手摺〕

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	仕上表（２）	—

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
					A－03

改修前

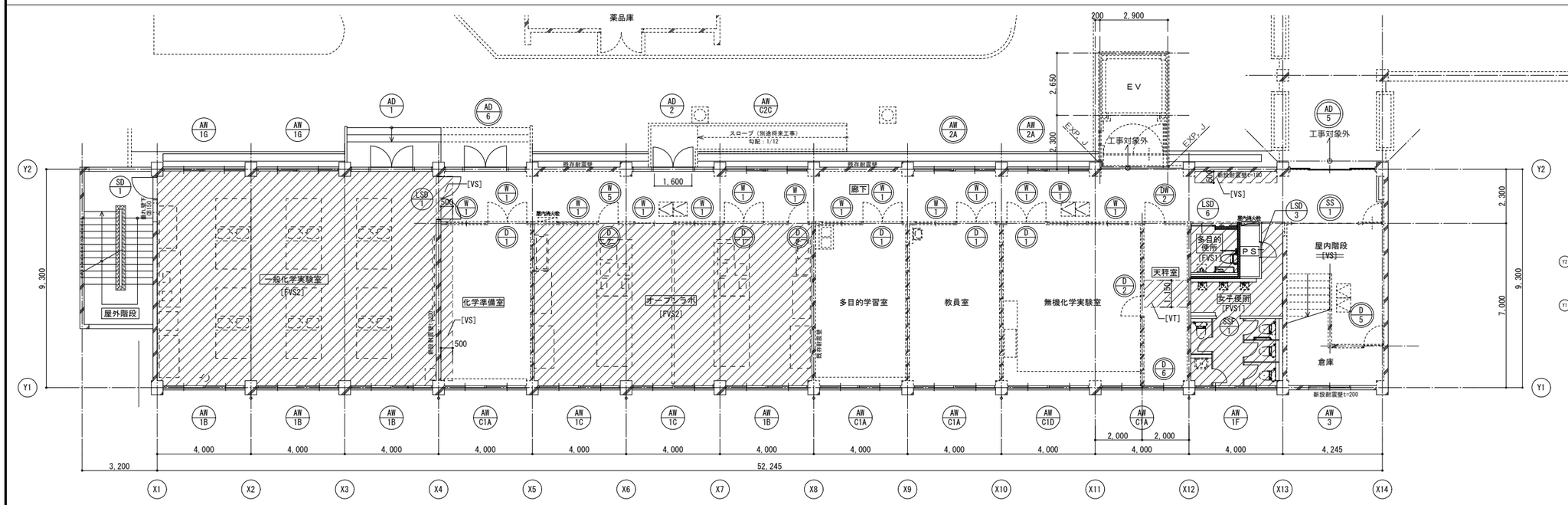


1 階平面図

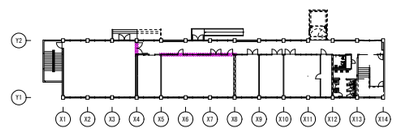
壁凡例	壁仕様
〈W-1〉	RC t=150+Mこて（スラブ又は梁下まで）撤去
〈W-2〉	RC t=120（建具上からスラブ又は梁下まで）垂壁撤去
〈W-3〉	CB t=150+Mこて（スラブ又は梁下まで）撤去
〈W-4〉	木下地+FK t=6（下地・仕上共垂壁下まで）撤去
〈W-5〉	LGS65+GB-R t=9+GB-R t=12（下地・仕上共天井下まで）撤去
〈W-6〉	CB t=150（スラブ又は梁下まで）+ FK t=6+合板 t=12（天井下まで）撤去
〈W-7〉	鋼製パネルt=80（天井下まで）撤去
〈W-8〉	LGS65+GB-R t=9+GB-R t=12（建具上からスラブ又は梁下まで）垂壁撤去

凡例	内容	凡例	内容
室名	内部改修工事　対象室	T-*	人研台（人研流しを含む）　撤去
[***]	撤去する床仕上げを示す	L-*	ライニング　撤去
	壁撤去範囲を示す	W-*	付長押　撤去
	床仕上げ・巾木撤去範囲を示す		
SD 1	建具撤去を示す		
SD 1	改修する建具を示す		

改修後



1 階平面図



1 階区画図

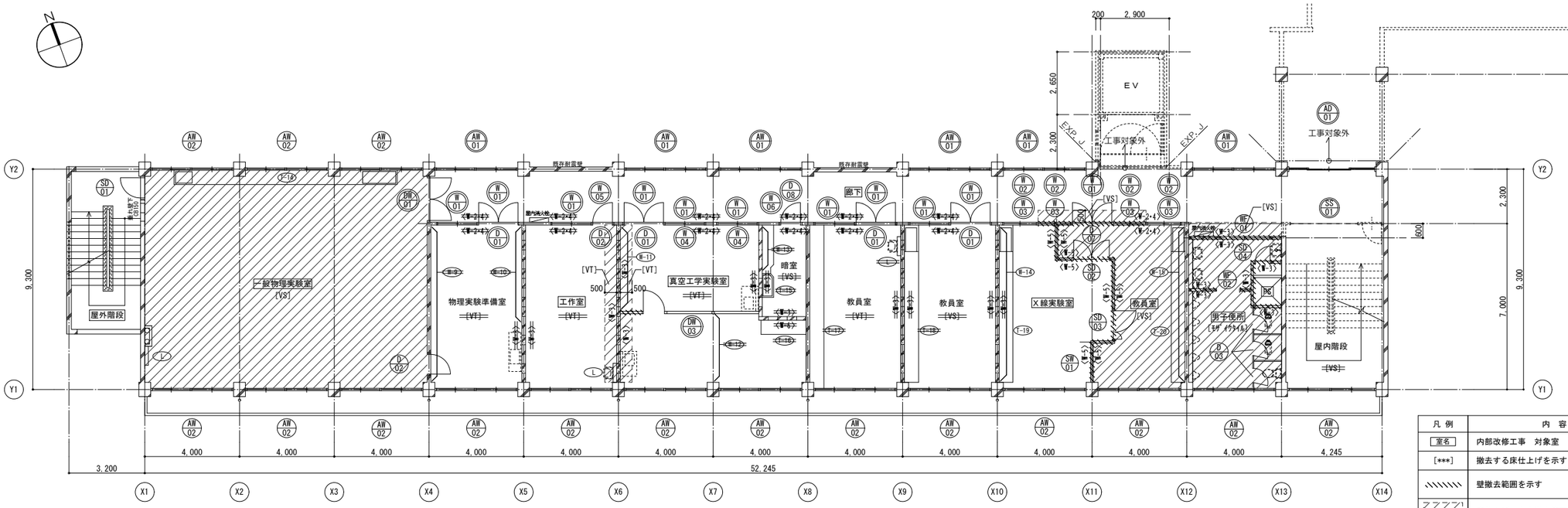
凡例

・・・防火上主要な間仕切壁に該当する部分、および区画貫通処理が必要な部分を示す

凡例	内容
室名	内部改修工事　対象室
[***]	新設する床仕上げを示す
SD 1	建具新設を示す
SD 1	建具改修を示す
	軽量鉄骨下地壁（遮音壁）GW 24kg/m³ t=50入り

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　１階平面図	A1：S=1／100 A3：S=1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－04

改修前

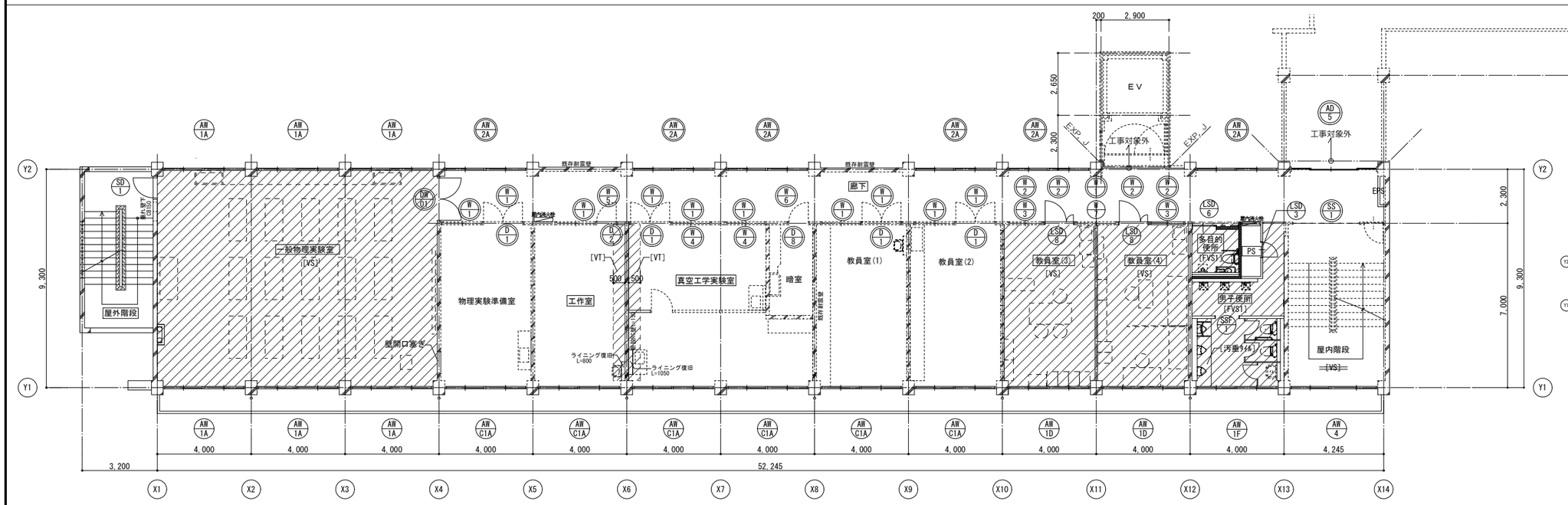


2階平面図

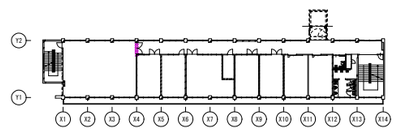
壁凡例	壁仕様
〈W-1〉	RC t=150+Mこて（スラブ又は梁下まで）撤去
〈W-2〉	RC t=120（建具上からスラブ又は梁下まで）垂壁撤去
〈W-3〉	CB t=150+Mこて（スラブ又は梁下まで）撤去
〈W-4〉	木下地+FK t=6（下地・仕上共垂壁下まで）撤去
〈W-5〉	LGS65+GB-R t=9+GB-R t=12（下地・仕上共天井下まで）撤去
〈W-6〉	CB t=150（スラブ又は梁下まで）+ FK t=6+合板 t=12（天井下まで）撤去
〈W-7〉	鋼製パネルt=80（天井下まで）撤去
〈W-8〉	LGS65+GB-R t=9+GB-R t=12（建具上からスラブ又は梁下まで）垂壁撤去

凡例	内容	凡例	内容
室名	内部改修工事　対象室	T-*	人研台（人研流しを含む）　撤去
[***]	撤去する床仕上げを示す	L-*	ライニング　撤去
	壁撤去範囲を示す	W-*	付長押　撤去
	床仕上げ・巾木撤去範囲を示す		
SD 1	建具撤去を示す		
SD 1	改修する建具を示す		

改修後



2階平面図



2階区画図

凡例

・・・防火上主要な間仕切壁に該当する部分、および区画貫通処理が必要な部分を示す

凡例	内容
室名	内部改修工事　対象室
[***]	新設する床仕上げを示す
	床仕上げ新設範囲を示す
SD 1	建具新設を示す
SD 1	建具改修を示す
	軽量鉄骨下地壁(遮音壁) GW 24kg/㎥ t=50入り

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　２階平面図	A1：S=1／100 A3：S=1／200

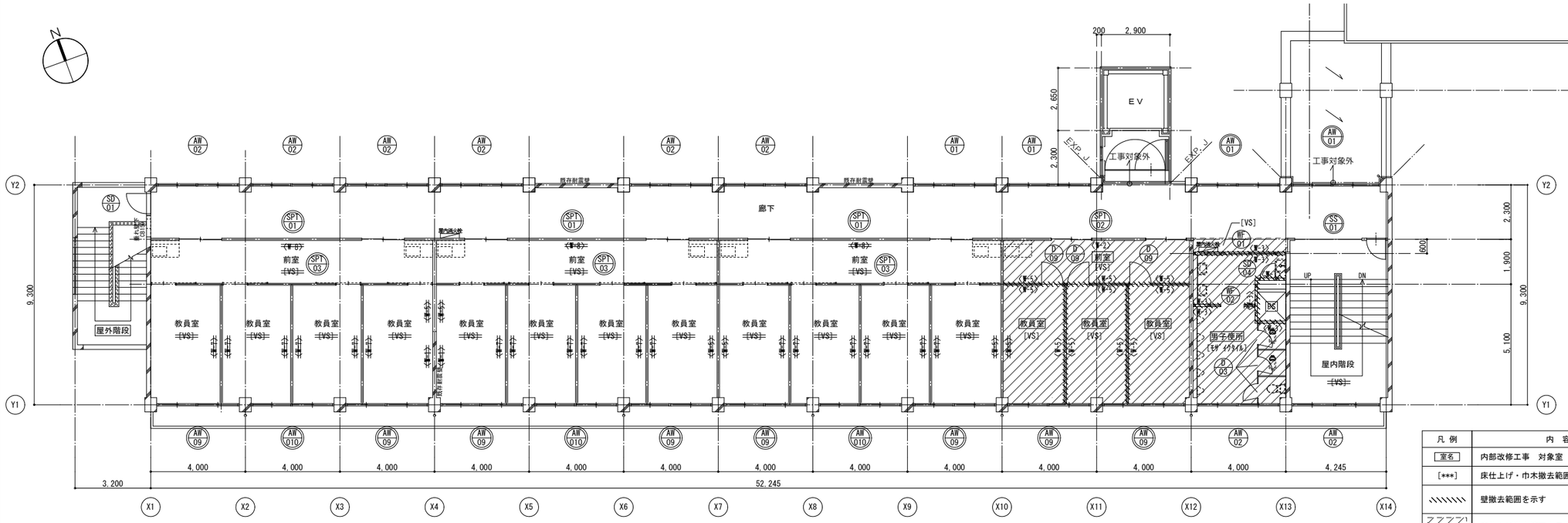
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　A－05

改修前

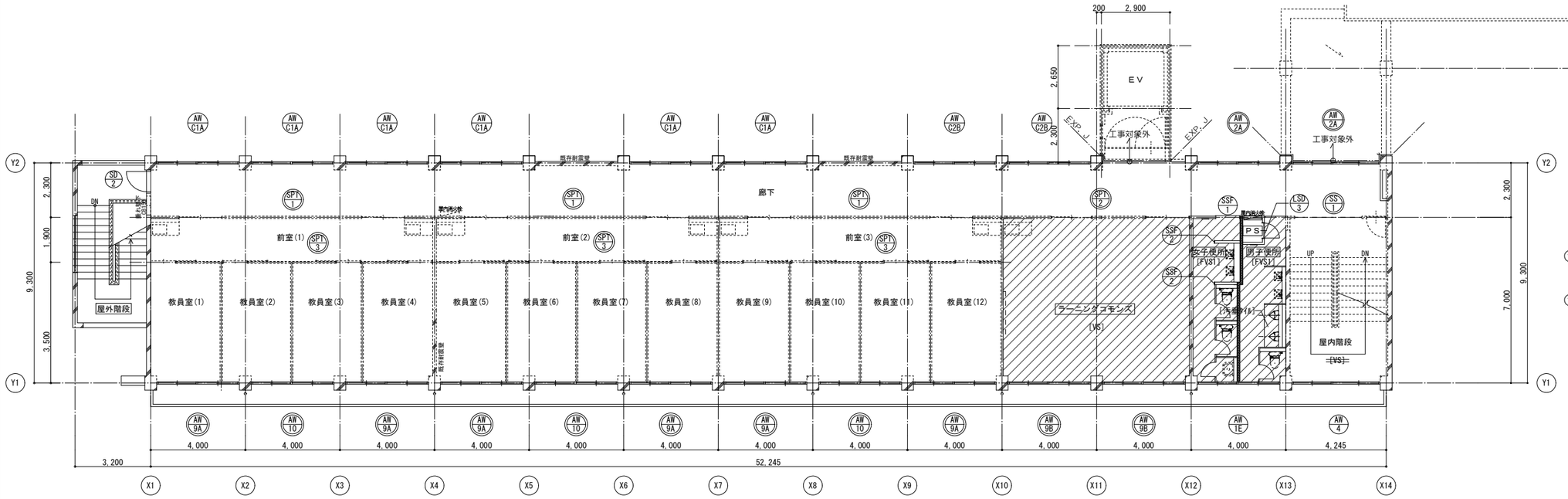


3階平面図

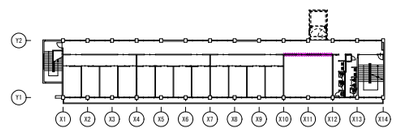
壁凡例	壁仕様
〈W-1〉	RC t=150+Mこて（スラブ又は梁下まで）撤去
〈W-2〉	RC t=120（建具上からスラブ又は梁下まで）垂壁撤去
〈W-3〉	CB t=150+Mこて（スラブ又は梁下まで）撤去
〈W-4〉	木下地+FK t=6（下地・仕上共垂壁下まで）撤去
〈W-5〉	LGS65+GB-R t=9+GB-R t=12（下地・仕上共天井下まで）撤去
〈W-6〉	CB t=150（スラブ又は梁下まで）+ FK t=6+合板 t=12（天井下まで）撤去
〈W-7〉	鋼製パネルt=80（天井下まで）撤去
〈W-8〉	LGS65+GB-R t=9+GB-R t=12（建具上からスラブ又は梁下まで）垂壁撤去

凡例	内容	凡例	内容
室名	内部改修工事　対象室	T-*	人研台（人研流しを含む）　撤去
[***]	床仕上げ・巾木撤去範囲を示す	L-*	ライニング　撤去
	壁撤去範囲を示す	W-*	付長押　撤去
	床仕上げ撤去範囲を示す		
SD 1	建具撤去を示す		
SD 1	改修する建具を示す		

改修後



3階平面図



3階区画図

凡例

・・・防火上主要な間仕切壁に該当する部分、および区画貫通処理が必要な部分を示す

凡例	内容
室名	内部改修工事　対象室
[***]	新設する床仕上げを示す
SD 1	建具新設を示す
SD 1	建具改修を示す
	軽量鉄骨下地壁(遮音壁) GW 24kg/m³ t=50入り

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　３階平面図	A1：S=1／100 A3：S=1／200

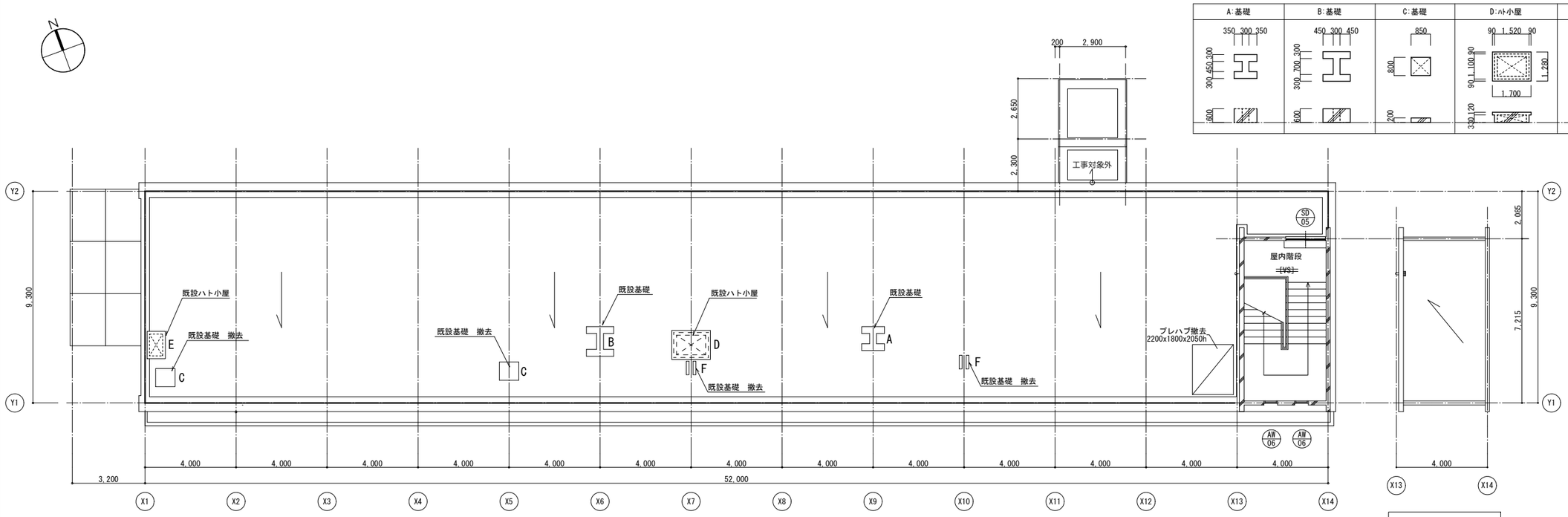
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	A－06

改修前

屋上設備基礎リスト

A:基礎	B:基礎	C:基礎	D:ﾊﾄ小屋	E:ﾊﾄ小屋	F:ﾌﾞﾛｯｸ基礎
350 300 350 / 300 450 300 / 600	450 300 450 / 300 700 300 / 600	850 / 800 / 200	90 1,520 90 / 90 100 1,280 / 1,700 / 320 20	800 / 1,200 / 400	120x120x600x2

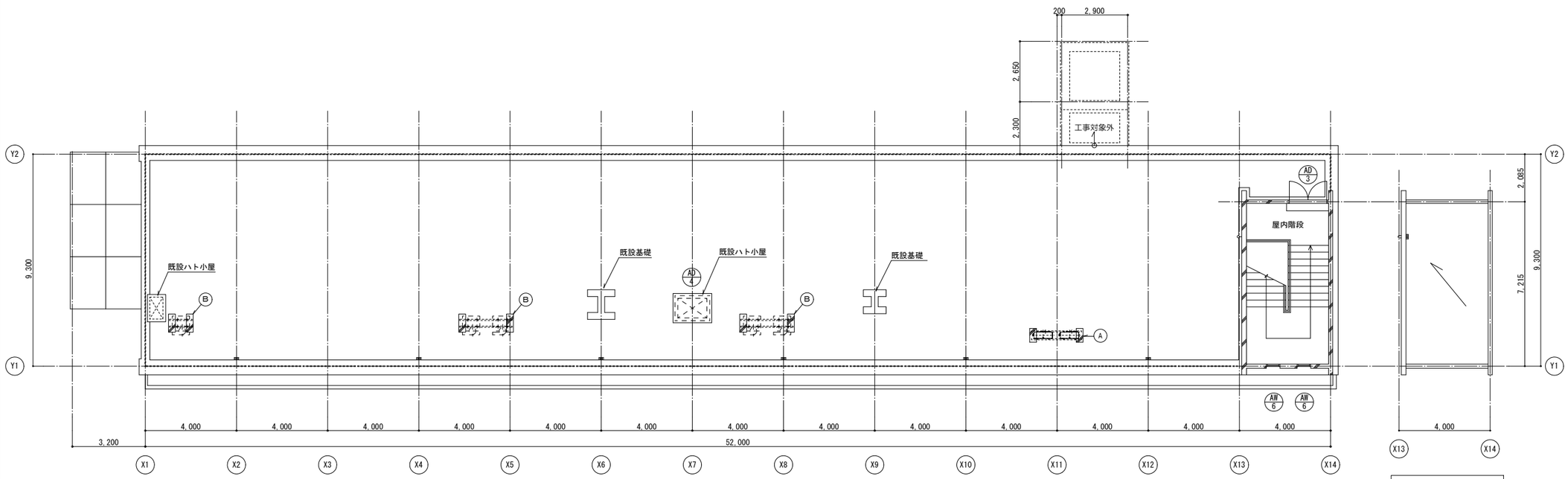


R階平面図

ＰＨ階平面図

凡 例	内 容
室名	内部改修工事　対象室
[***]	撤去する床仕上げを示す
	壁撤去範囲を示す
SD 1	建具撤去を示す
SD 1	改修する建具を示す

改修後



R階平面図

ＰＨ階平面図

記号	コンクリート基礎サイズ		備　考
A	200 × 600 × 400H	空調屋外機用	新設基礎
B	200 × 800 × 400H	排気ﾌｧﾝ用(物品)	新設基礎

注）1. B 排気ファンの基礎サイズは物品メーカー確認の事。
　　2. ロ・ニ・ホ 新設架台は設備工事とする。

凡 例	内 容
室名	内部改修工事　対象室
SD 1	建具新設を示す

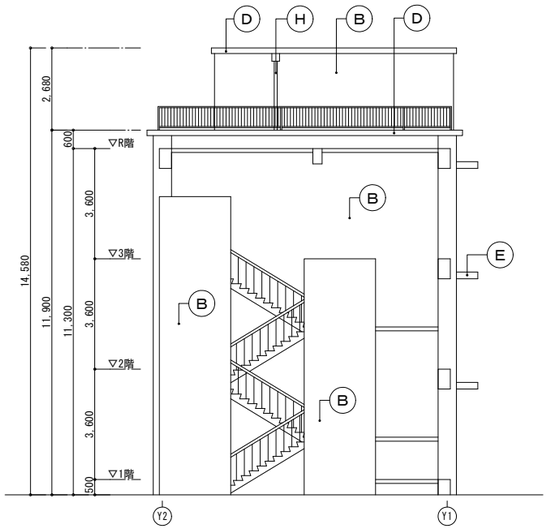
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　R階平面図	A1：S=1／100 A3：S=1／200

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

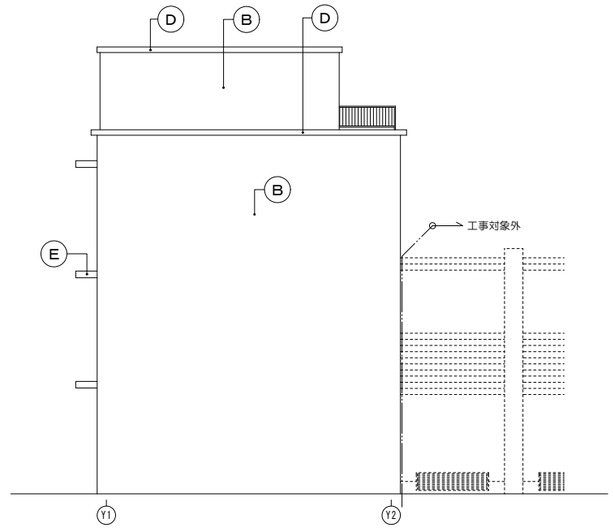
独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	A－07

凡例

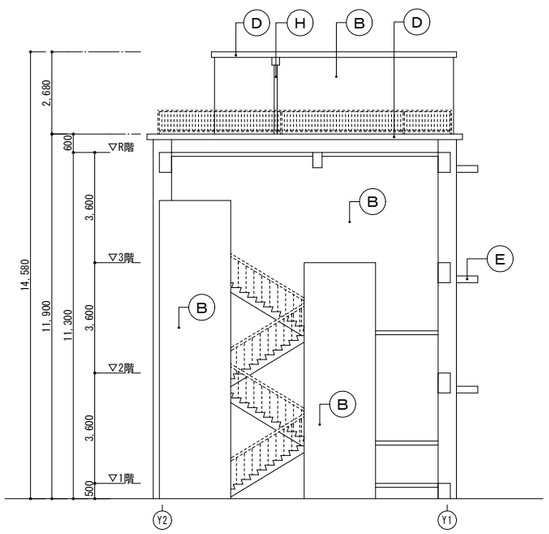
部位	記号	改修前	改修後
巾木	Ⓐ	Mはけ	高圧洗浄
外壁	Ⓑ	Mはけの上、リシン吹付け	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
	Ⓒ	―	Ｃ素地Ｂ種の上 複層塗材Ｅ
パラペット	Ⓓ	Mはけの上、リシン吹付け	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
バルコニー	Ⓔ	Mはけの上、リシン吹付け	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
手摺	Ⓕ	ｽﾁｰﾙ製手摺 ~~屋上：塗替、屋外階段：塗替~~	~~下地調整の上、ＳＯＰ塗替え~~ ※別途将来工事
打継目地	Ⓖ	撤去	打継目地(MS-2 20×10)打替え
竪樋	Ⓗ	VPφ100 掴み金物 撤去	ｶﾗｰVPφ100 SUS掴み金物 新設



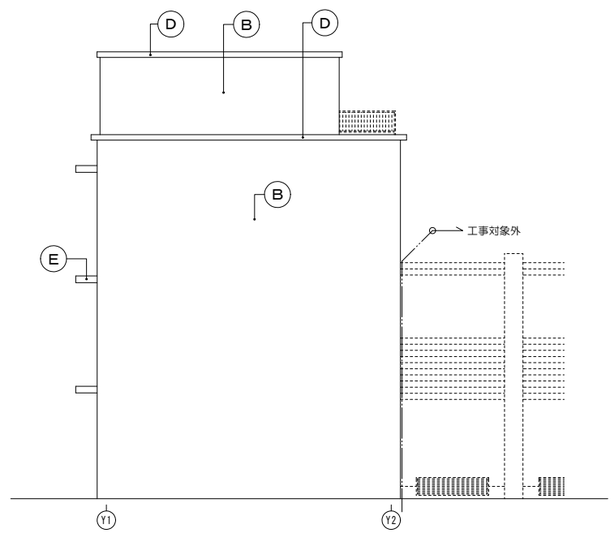
改修前　西側立面図



改修前　東側立面図



改修後　西側立面図



改修後　東側立面図

外壁改修参考数量表

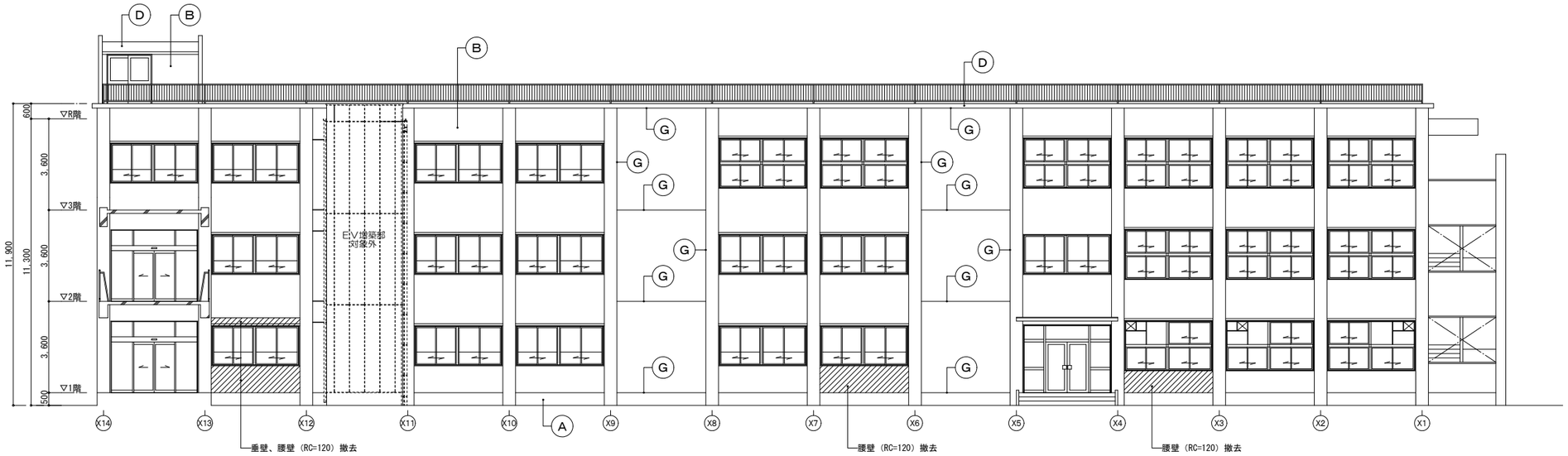
工　法	寸法等	単位	数量
外壁調査費	打診,目視調査, ﾏｰｷﾝｸﾞ,調査図作成	式	1
ひび割れ部処理E	Uカットシーリング工法	m	100.00
ﾓﾙﾀﾙ浮部処理G-1	一般部 0.25㎡未満	m2	11.80
ﾓﾙﾀﾙ浮部処理G-2	一般部 0.25㎡以上	m2	16.50
ﾓﾙﾀﾙ浮部処理G-3	一般部 狭幅部	m	4.50
ﾓﾙﾀﾙ浮部処理G-1	指定部 0.25㎡未満	m2	5.00
ﾓﾙﾀﾙ浮部処理G-2	指定部 0.25㎡以上	m2	3.00
ﾓﾙﾀﾙ浮部処理G-3	指定部 狭幅部	m	3.00
ﾓﾙﾀﾙ欠損部処理M-1	100 x 100以下	か所	2
ﾓﾙﾀﾙ欠損部処理M-2	300 x 100以下	か所	2

※施工前に調査の上、報告書を作成し、監督職員に報告すること。
（指定部：見上げ面、庇のはな、まぐさ隅角部分等）

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　立面図（１）	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治						A－08

凡例

部位	記号	改修前
巾木	A	Mはけ
外壁	B	Mはけの上、リシン吹付け
	C	―
パラペット	D	Mはけの上、リシン吹付け
バルコニー	E	Mはけの上、リシン吹付け
手摺	F	ｽﾁｰﾙ製手摺 ~~屋上：塗替、屋外階段：塗替~~
打継目地	G	撤去
竪樋	H	VPφ100 掴み金物 撤去

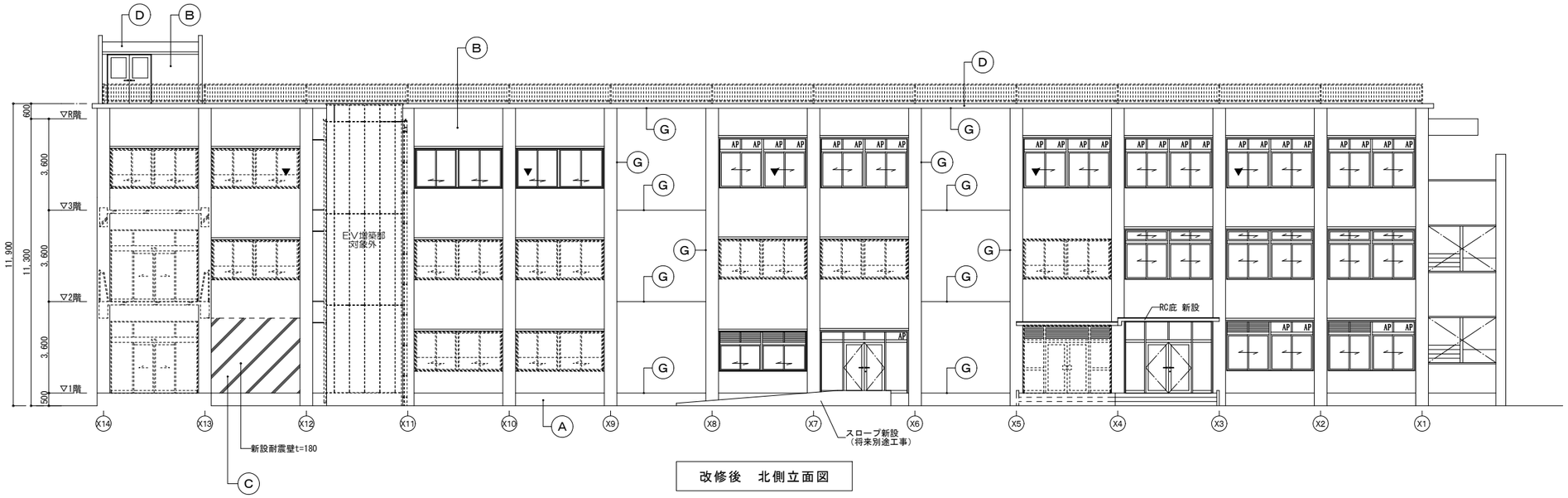


改修前　北側立面図

凡例

部位	記号	改修前
巾木	A	高圧洗浄
外壁	B	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
	C	Ｃ素地Ｂ種の上 複層塗材Ｅ
パラペット	D	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
バルコニー	E	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
手摺	F	~~下地調整の上、ＤＰ塗替~~
打継目地	G	打継目地(MS-2 20×10)打替え
竪樋	H	ｶﾗ-VPφ100 SUS掴み金物　新設

※ ▼のある窓には代替新入口マークを貼り付けること。

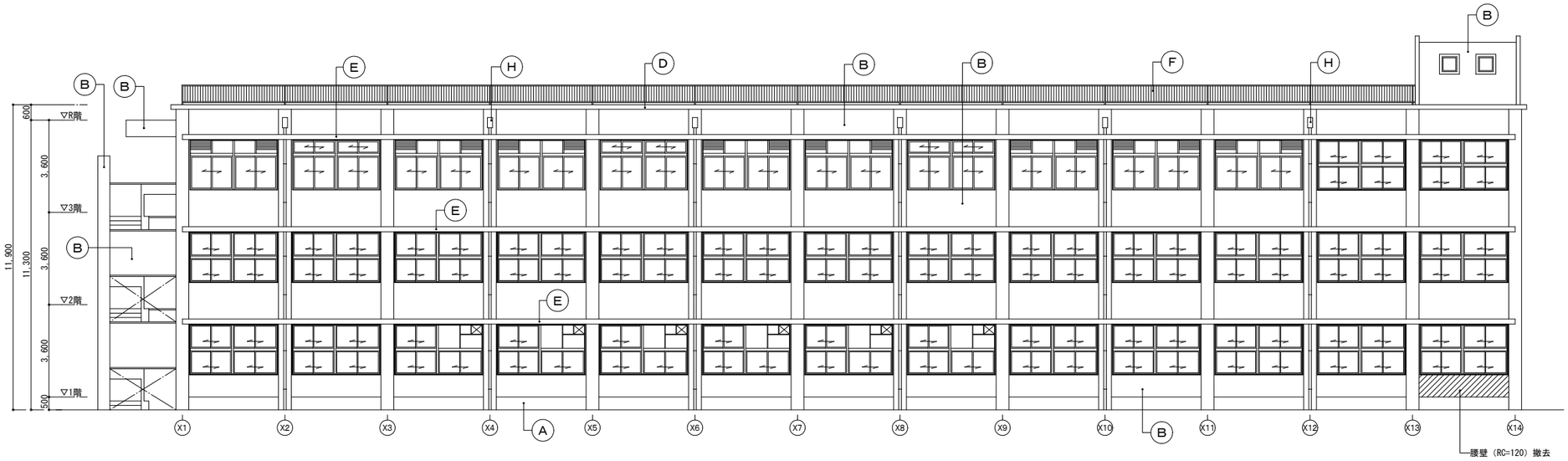


改修後　北側立面図

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　立面図（２）	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－09

凡例

部位	記号	改修前
巾木	A	Mはけ
外壁	B	Mはけの上、リシン吹付け
	C	―
パラペット	D	Mはけの上、リシン吹付け
バルコニー	E	Mはけの上、リシン吹付け
手摺	F	ｽﾁｰﾙ製手摺 ~~屋上：塗替、屋外階段：塗替~~
打継目地	G	撤去
竪樋	H	VPφ100 掴み金物 撤去

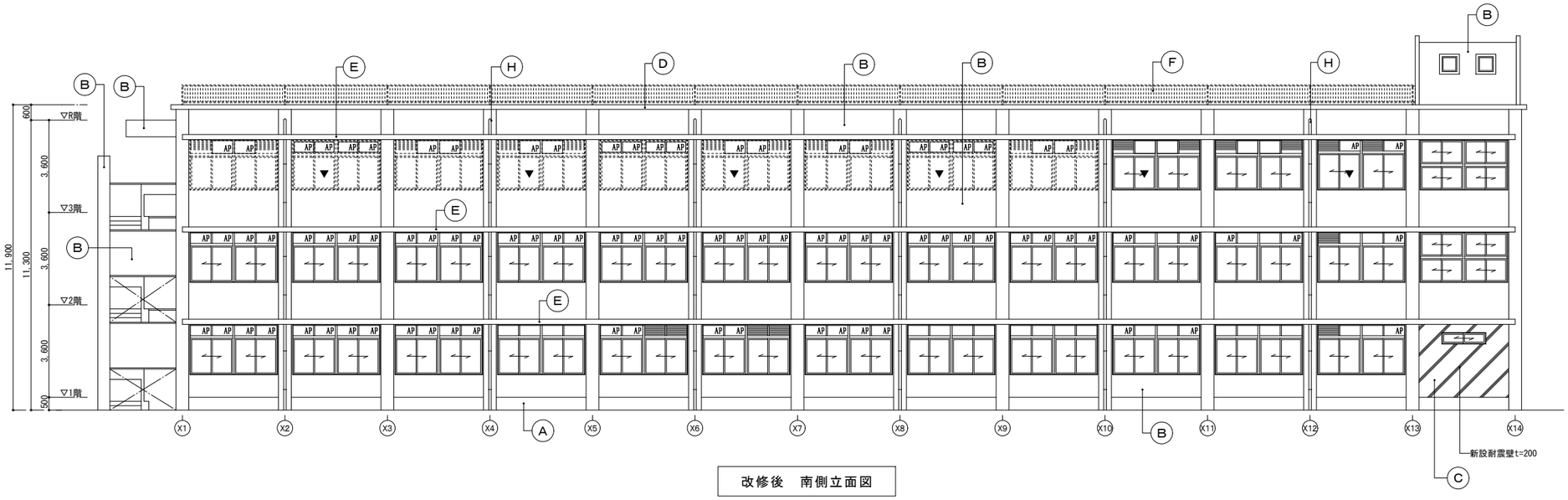


改修前　南側立面図

凡例

部位	記号	改修前
巾木	A	高圧洗浄
外壁	B	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
	C	Ｃ素地Ｂ種の上 複層塗材Ｅ
パラペット	D	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
バルコニー	E	高圧洗浄＋下地調整の上 複層塗材Ｅ
手摺	F	~~下地調整の上、ＤＰ塗替~~
打継目地	G	打継目地(MS-2 20×10)打替え
竪樋	H	ｶﾗ-VPφ100 SUS掴み金物　新設

※ ▼のある窓には代替新入口マークを貼り付けること。



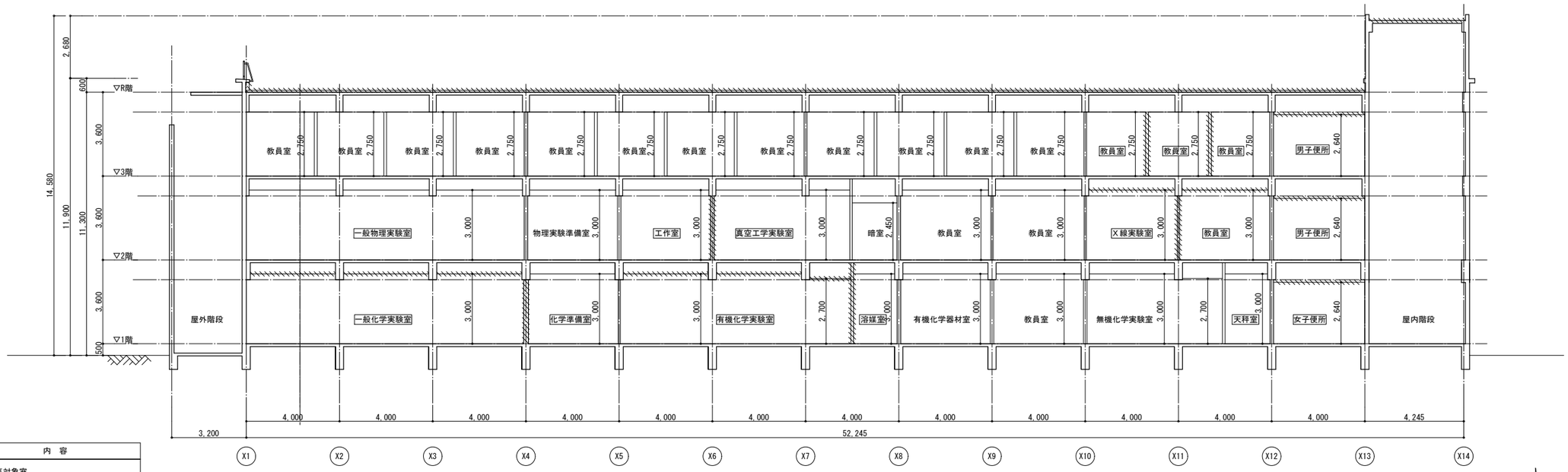
改修後　南側立面図

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　立面図（３）	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

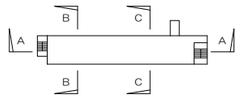
独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
					A－10

改修前



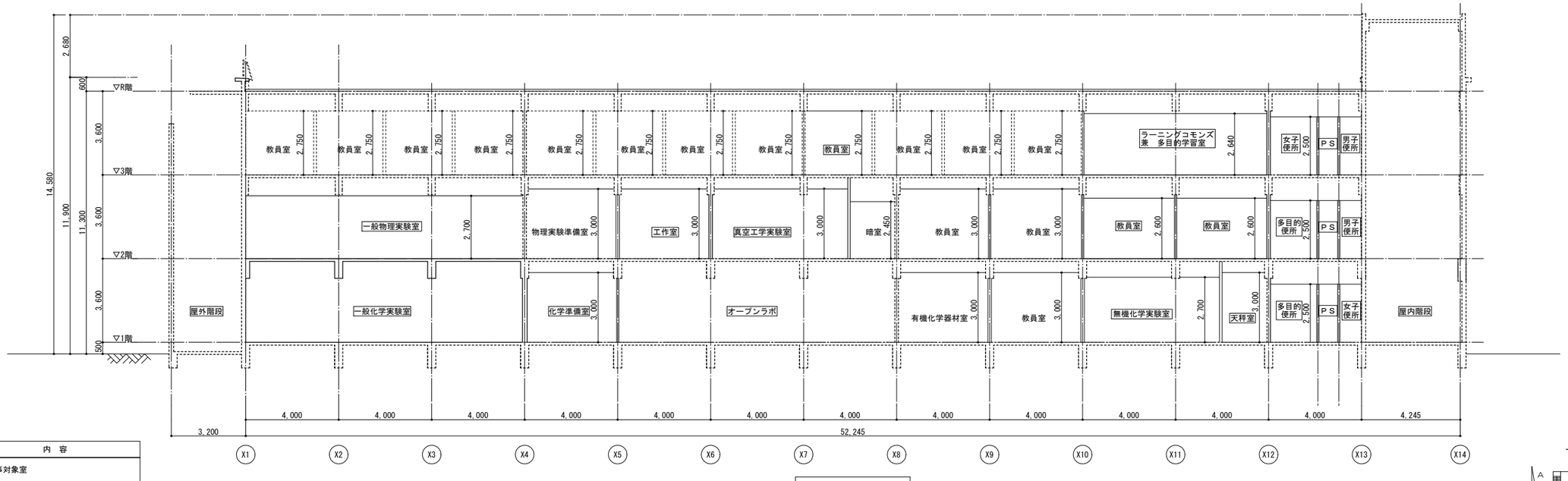
凡 例	内 容
室名	本工事対象室
	撤去範囲を示す

A－A断面図



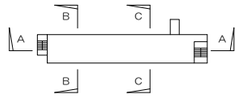
キープラン

改修後



凡 例	内 容
室名	本工事対象室
------	改修範囲外を示す

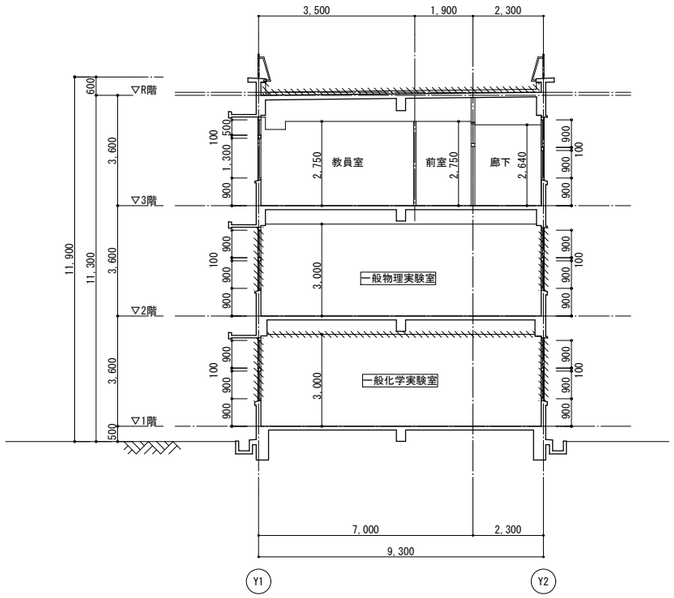
A－A断面図



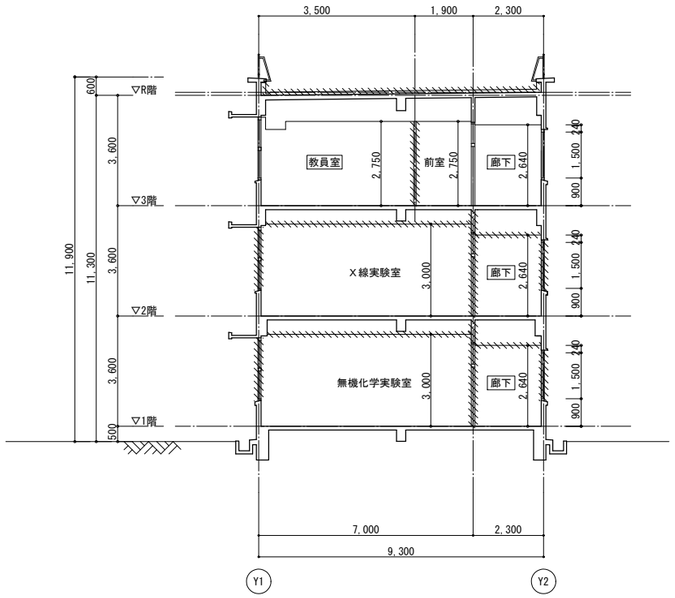
キープラン

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
						株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　断面図（１）	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－11

改修前

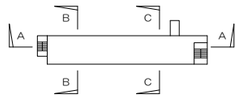


Ｂ－Ｂ断面図



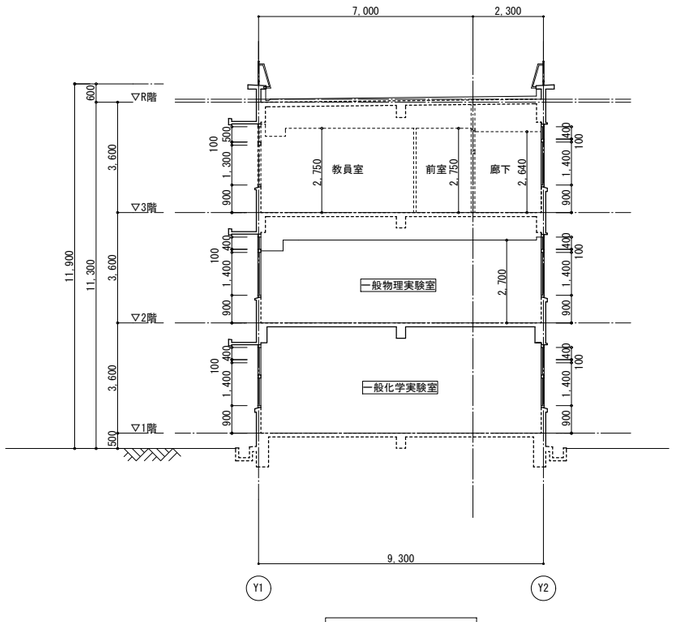
Ｃ－Ｃ断面図

凡 例	内 容
室名	本工事対象室
	撤去範囲を示す

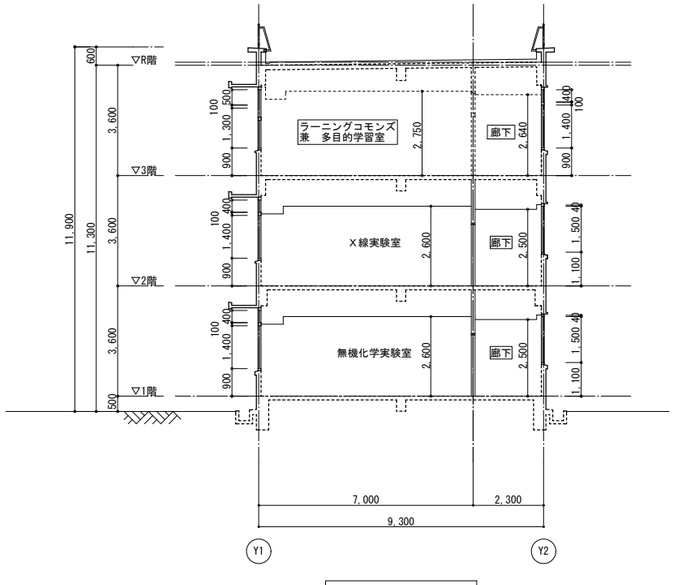


キープラン

改修後

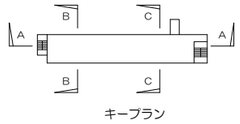


Ｂ－Ｂ断面図



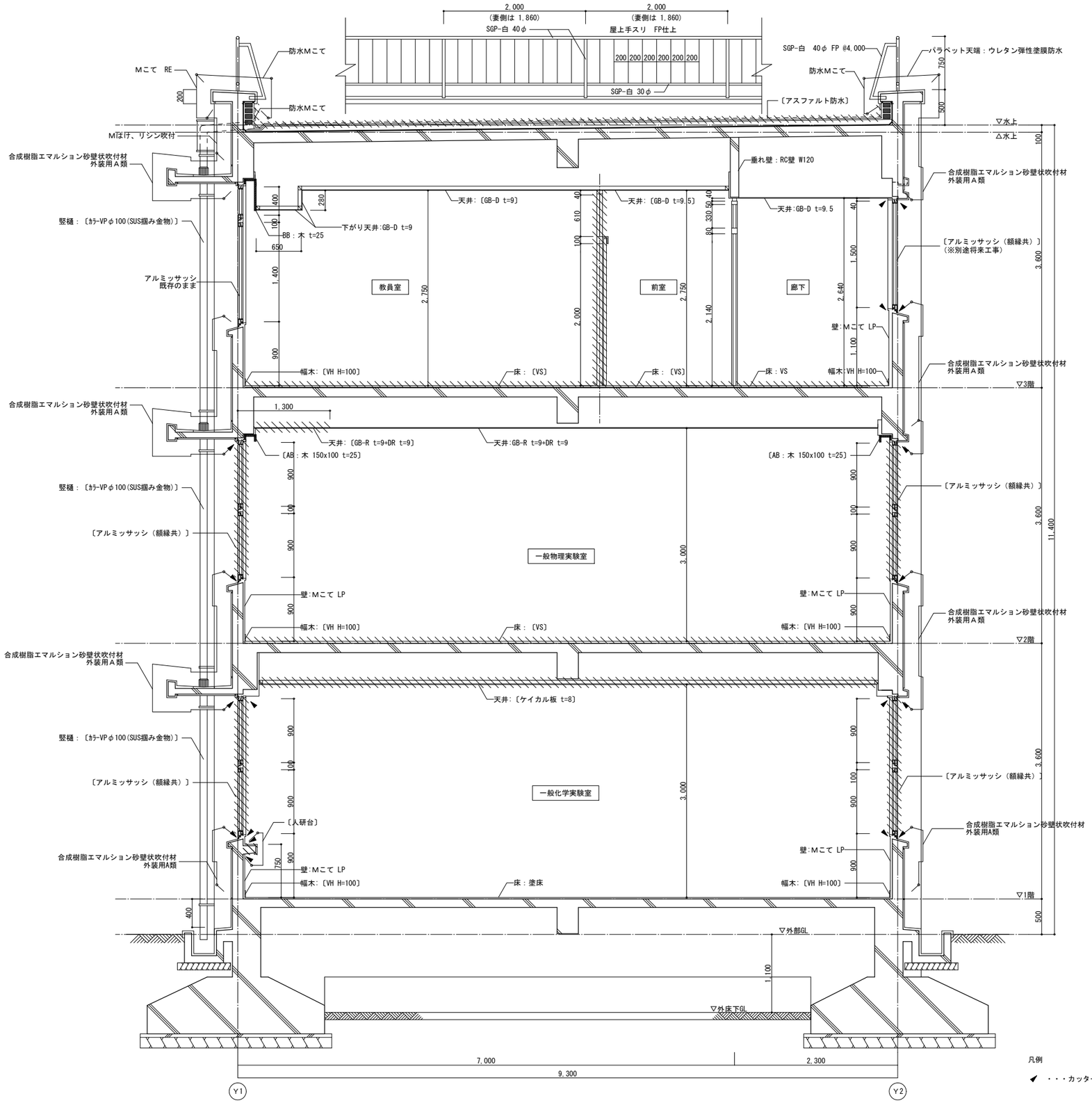
Ｃ－Ｃ断面図

凡 例	内 容
室名	本工事対象室
-------	改修範囲外を示す



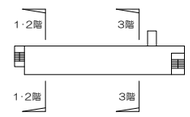
キープラン

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　断面図（２）	A1：S=1／100 A3：S=1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－12



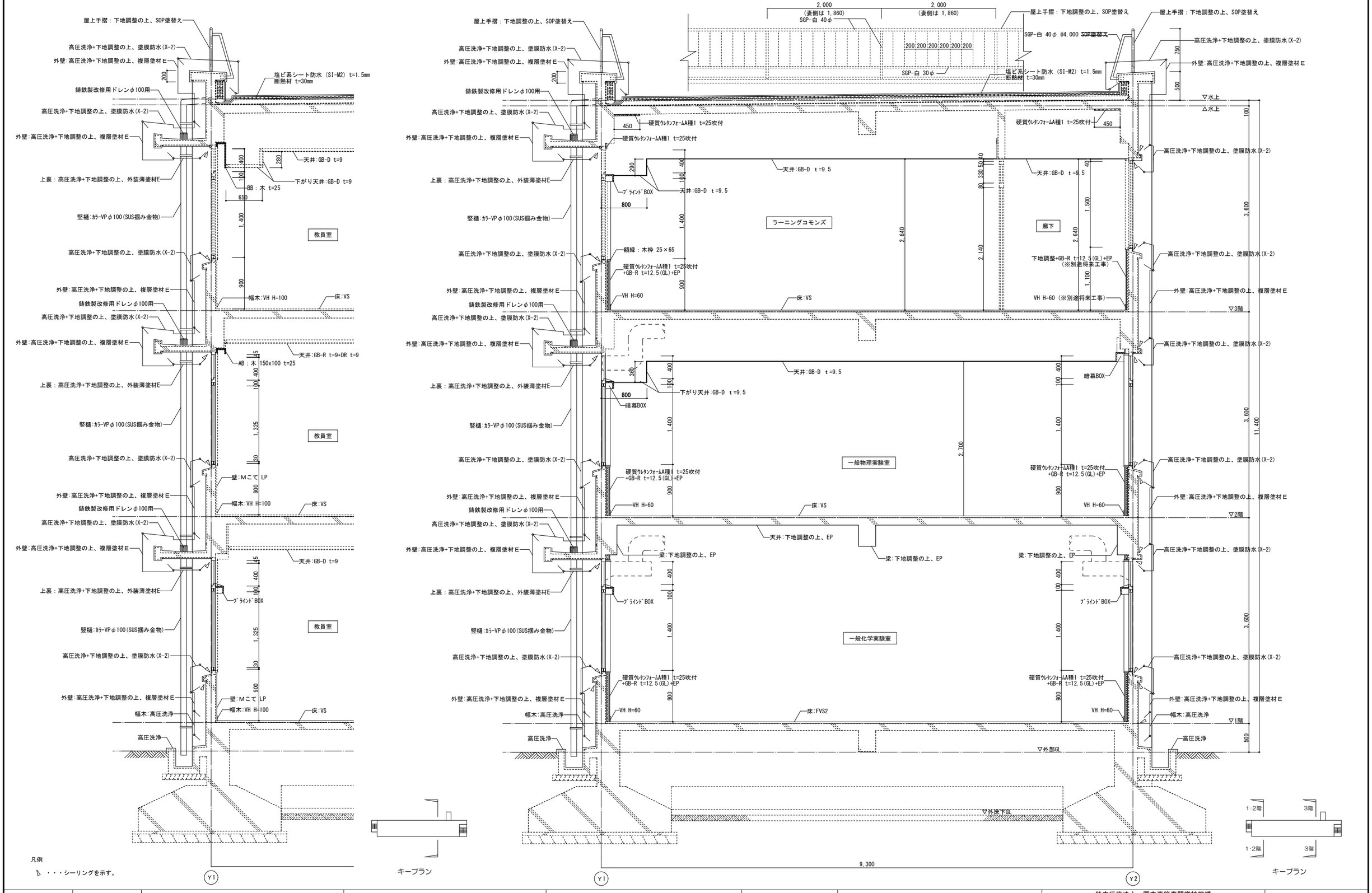
凡例

・・・カッター入れを示す。

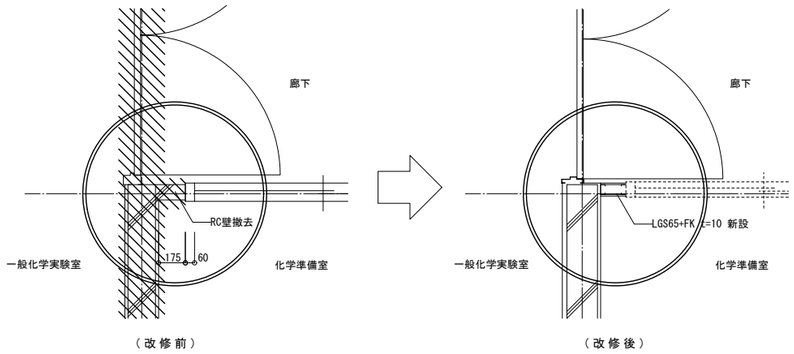


キープラン

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前　矩計図	A１：S＝1／30 A３：S＝1／60	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－13

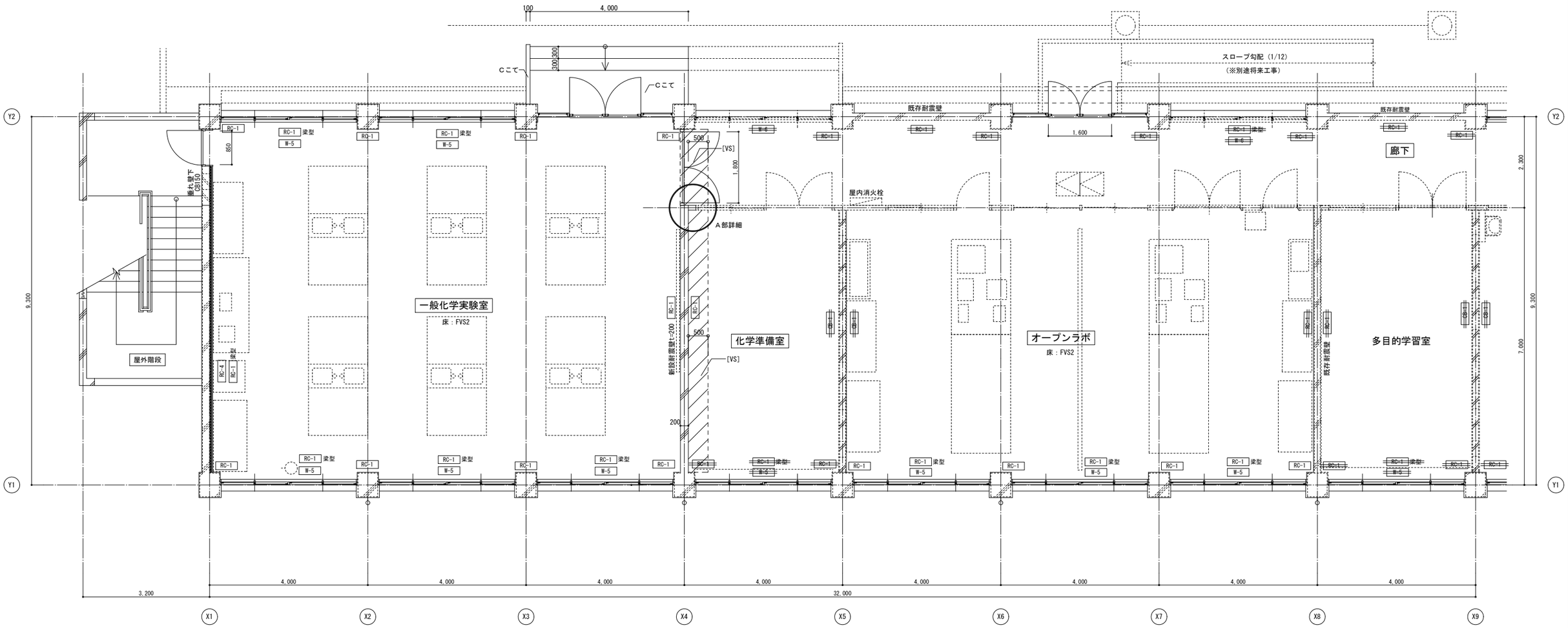


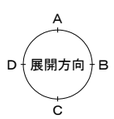
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　矩計図	A１：S＝1／30 A３：S＝1／60	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－14



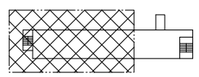
（改修前）　（改修後）

A部　壁改修詳細図　A1:1/20、A3:1/40



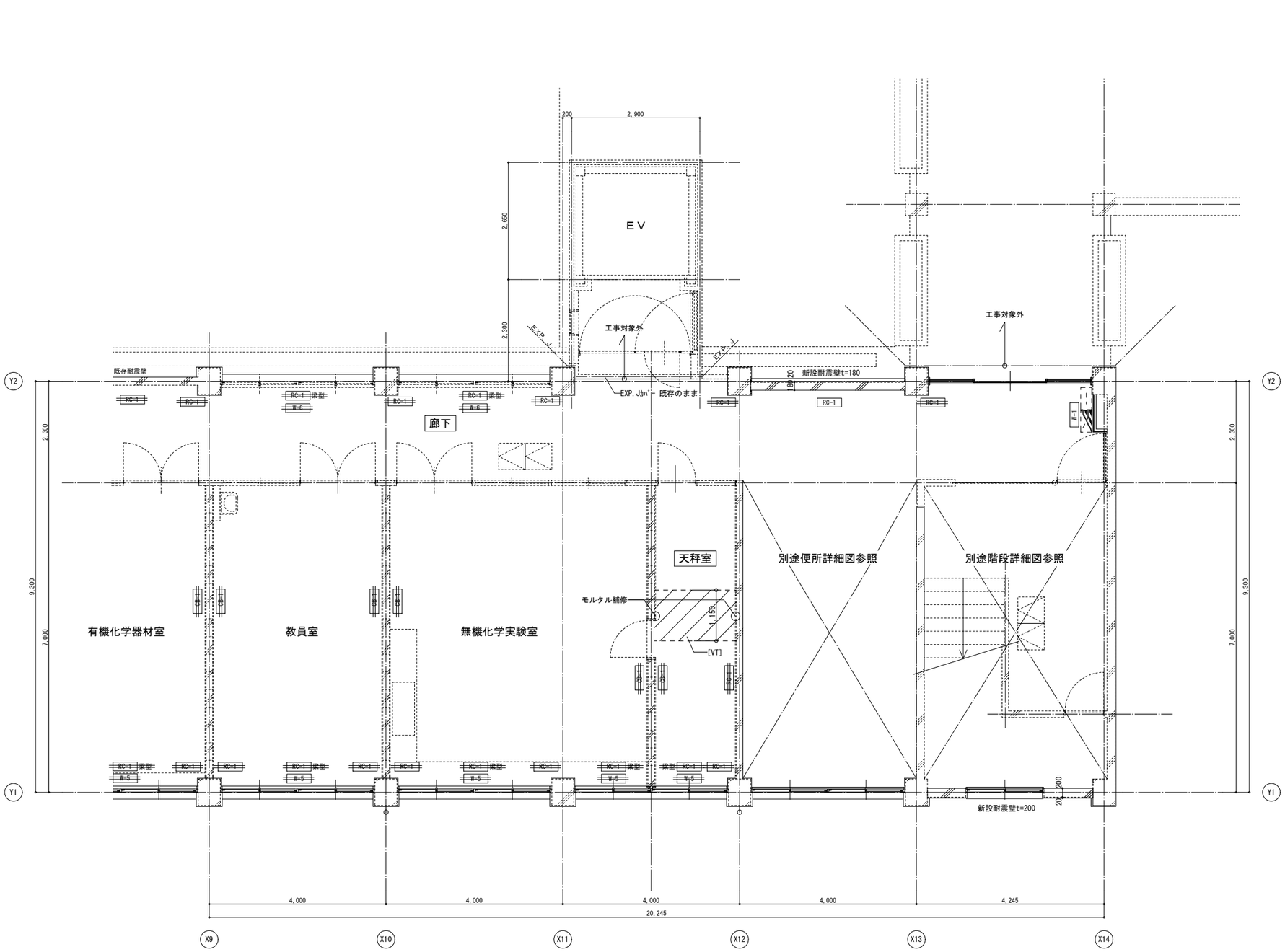


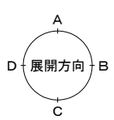
改修後　１階平面詳細図（１）



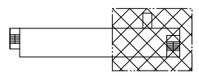
キープラン

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　１階平面詳細図（１）	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－15



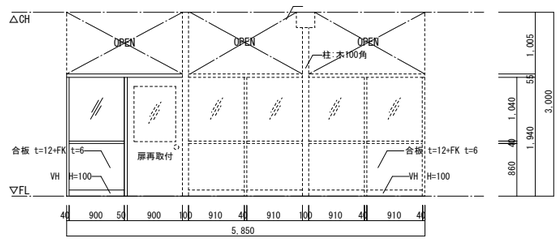


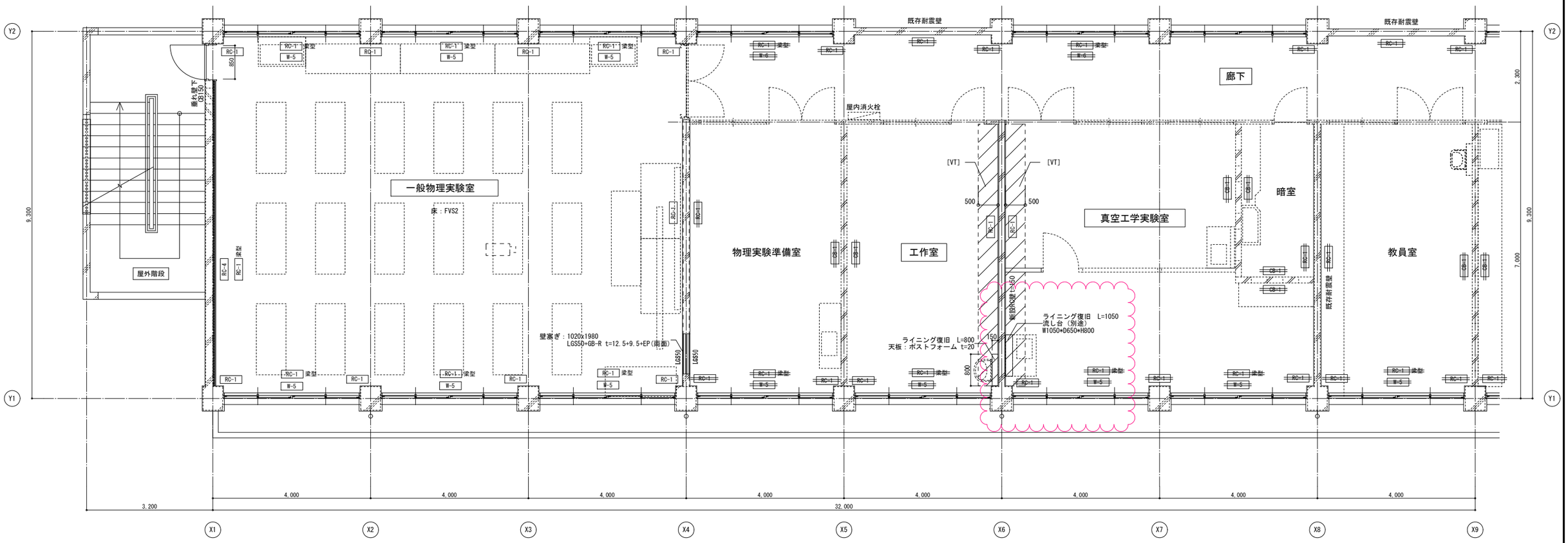
改修後　１階平面詳細図（２）

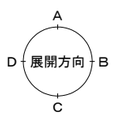


キープラン

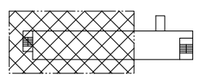
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
						株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　１階平面詳細図（２）	A１：S＝1／50 A３：S＝1／100	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治					A－１６





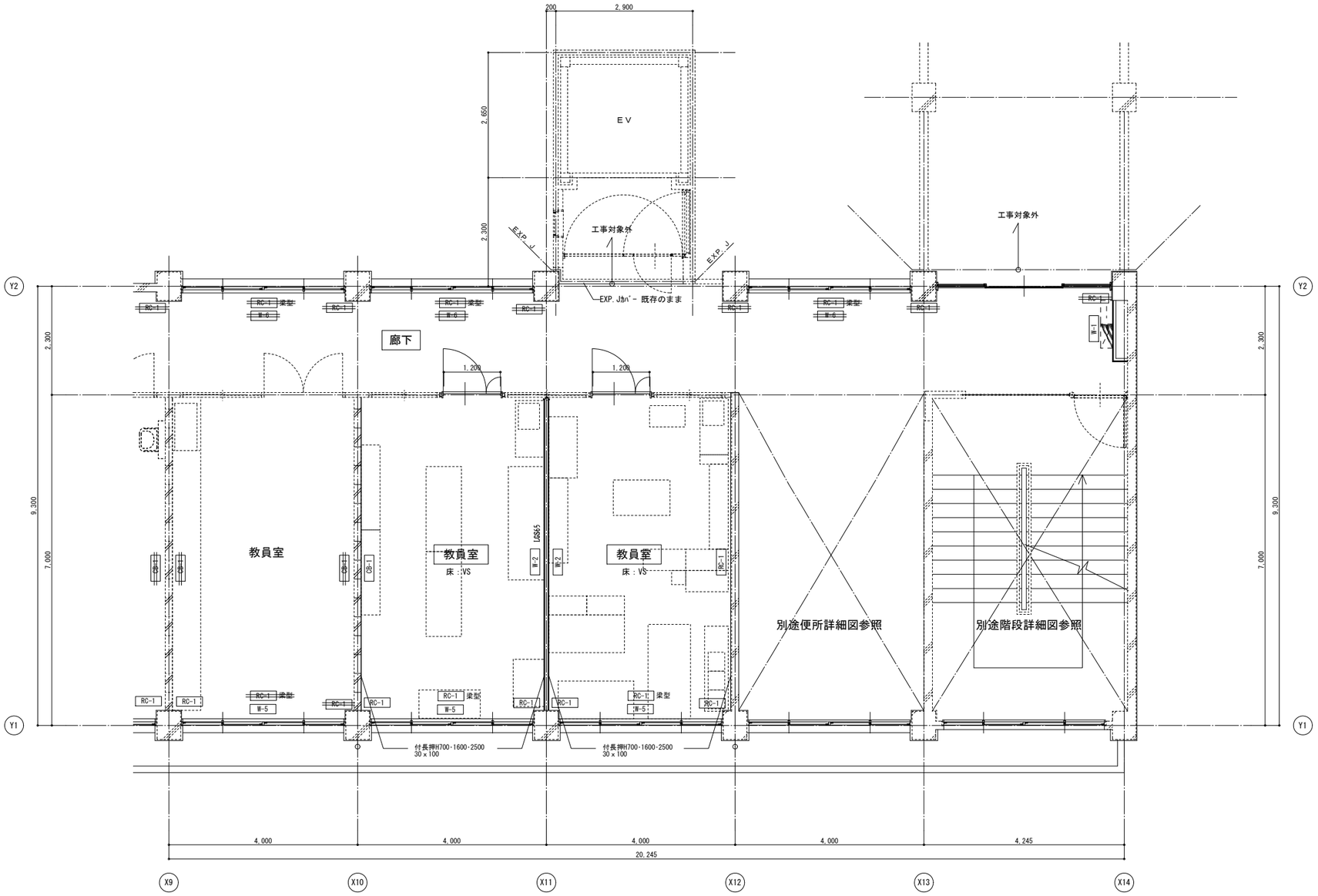


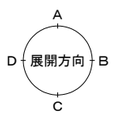
改修後　２階平面詳細図（１）



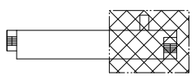
キープラン

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
						株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　２階平面詳細図（１）	A１：S＝1／50 A３：S＝1／100	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－１７



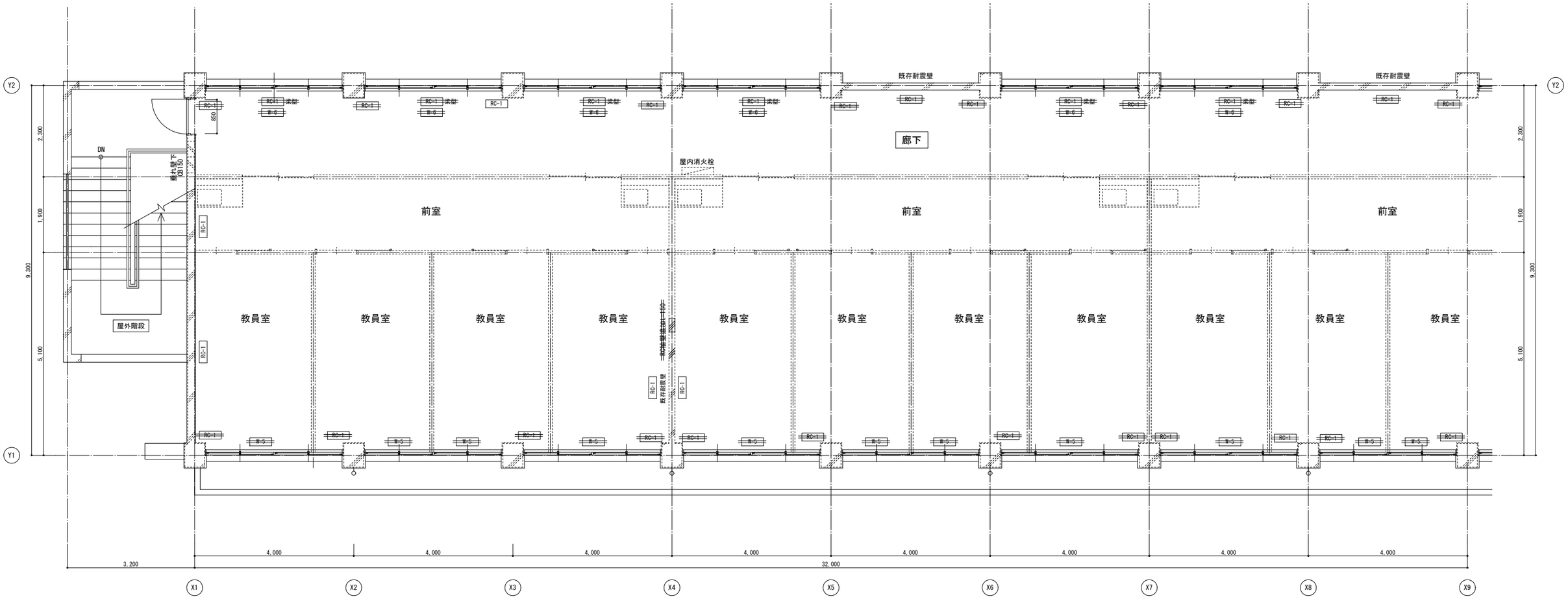


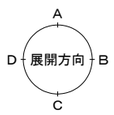
改修後　２階平面詳細図（２）



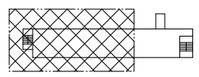
キープラン

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　２階平面詳細図（２）	A１：S＝1／50 A３：S＝1／100	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－１８



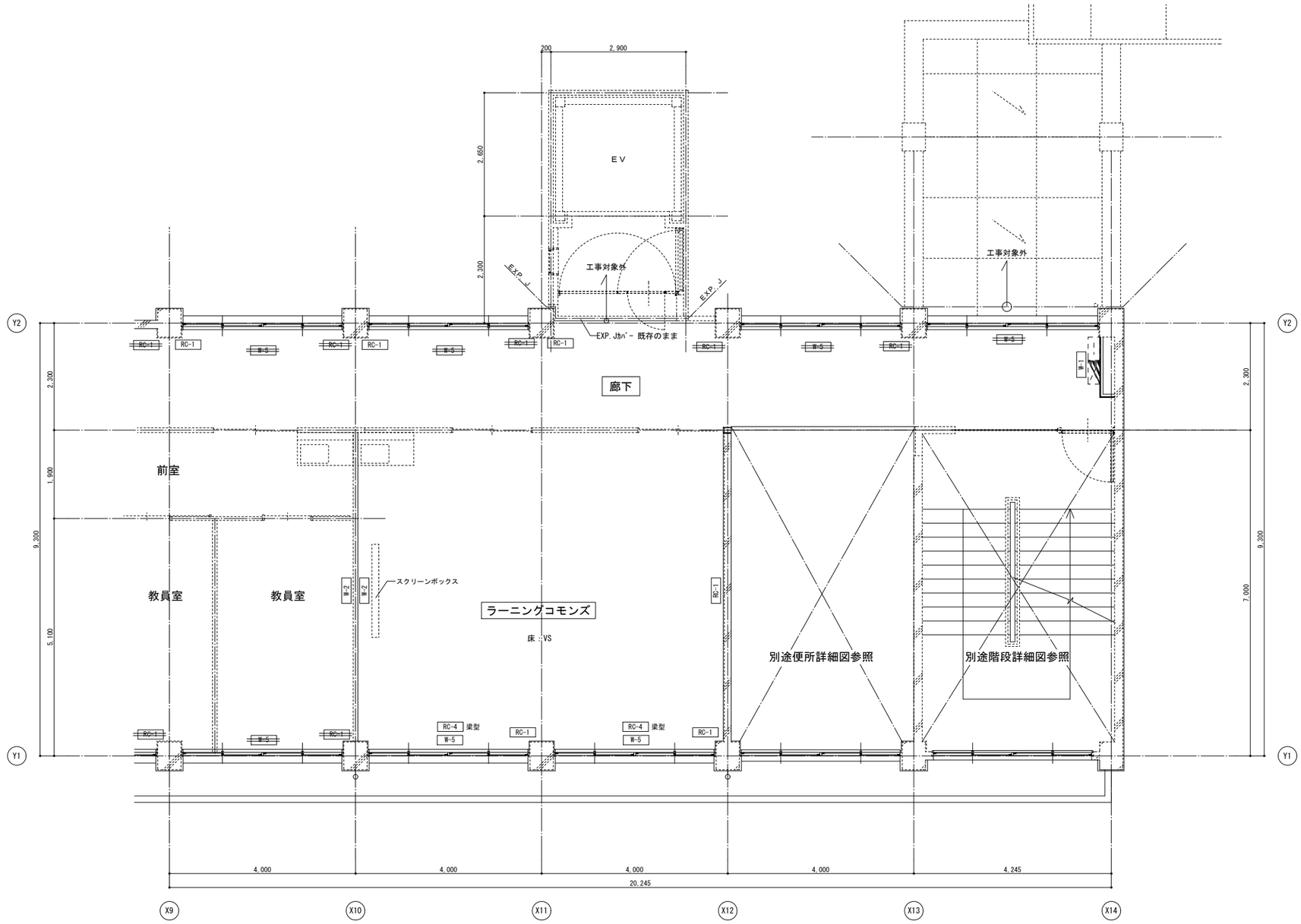


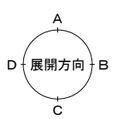
改修後　３階平面詳細図（１）



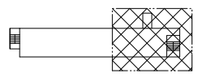
キープラン

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　３階平面詳細図（１）	A１：S＝1／50 A３：S＝1／100	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	A－１９



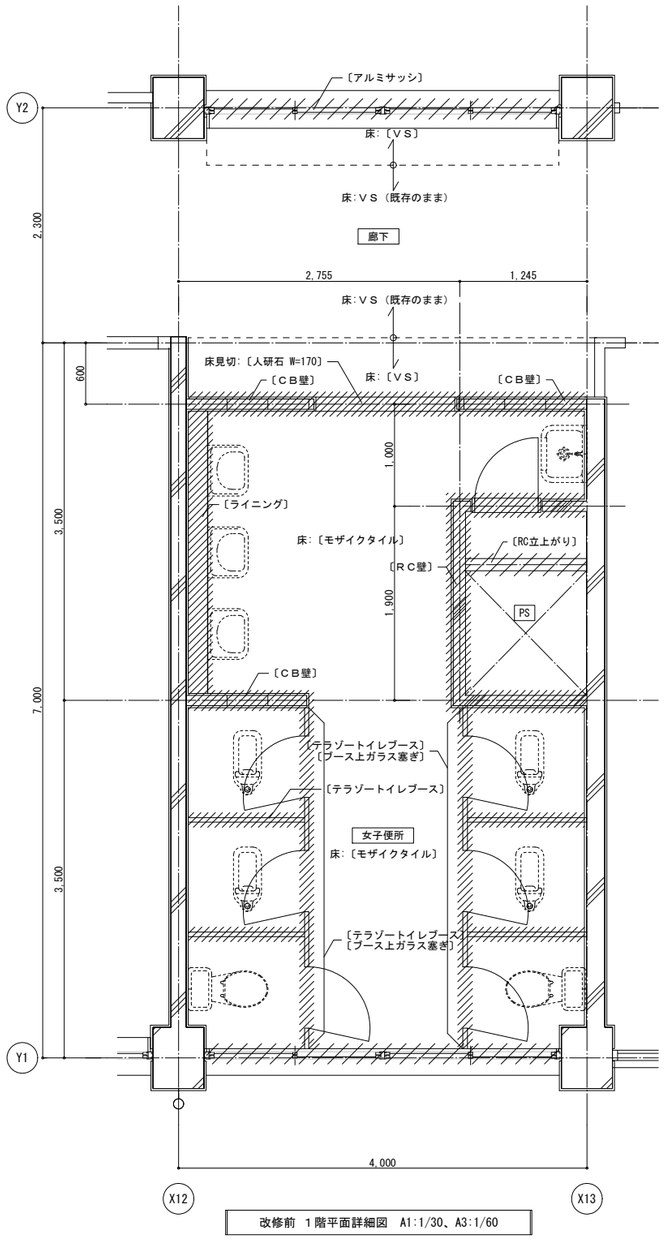


改修後　３階平面詳細図（２）

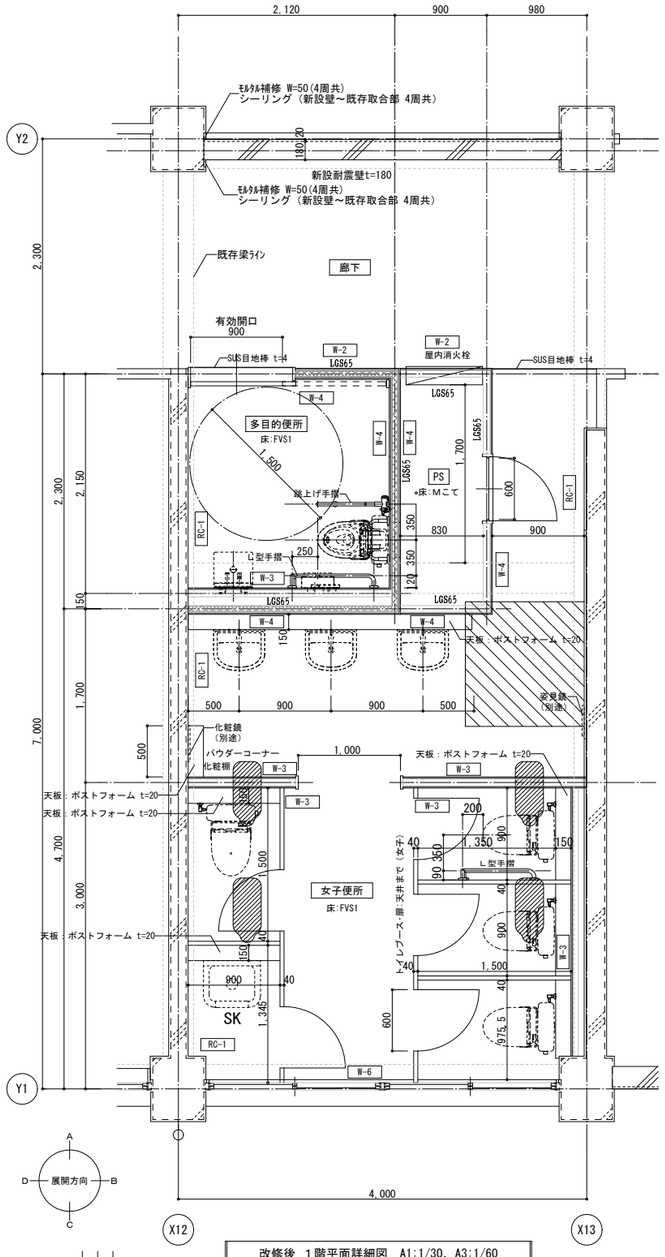


キープラン

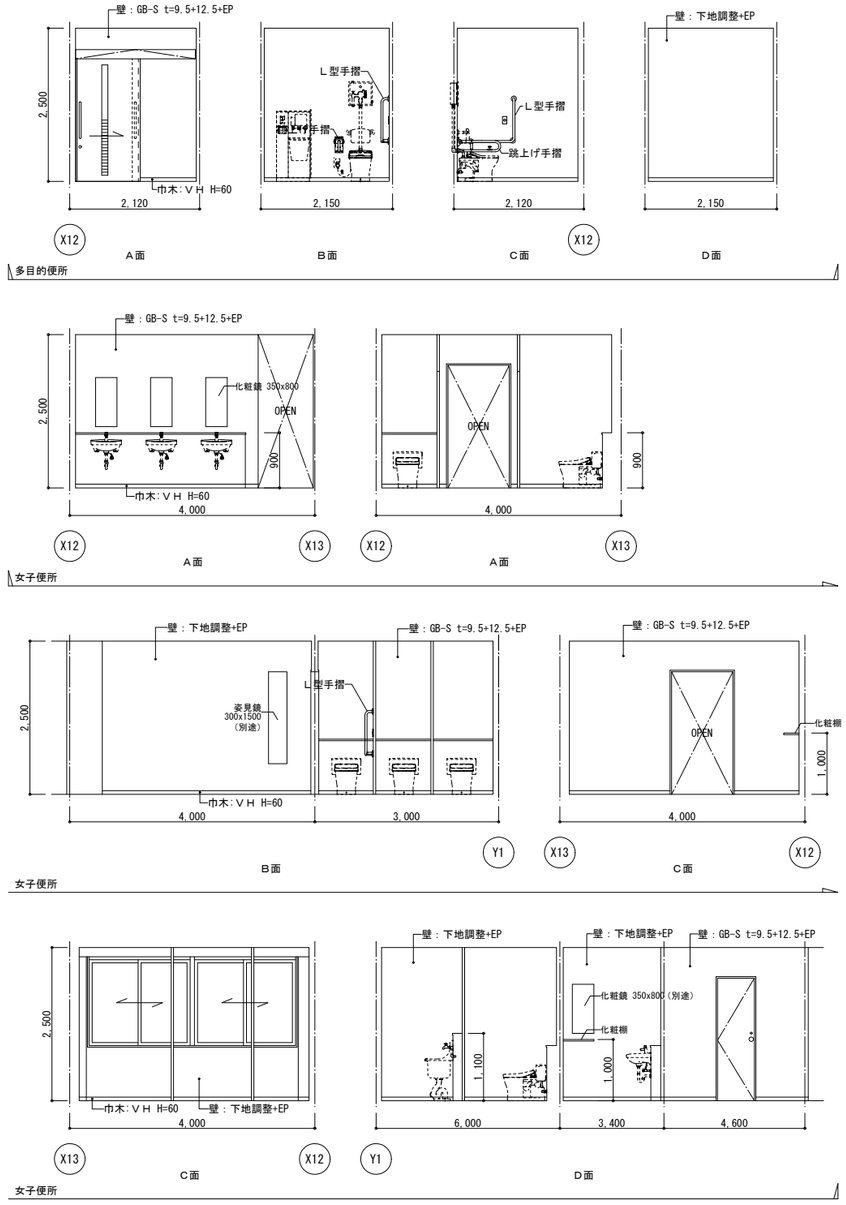
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　３階平面詳細図（２）	A１：S＝1／50 A３：S＝1／100	株式会社 緑企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－２０

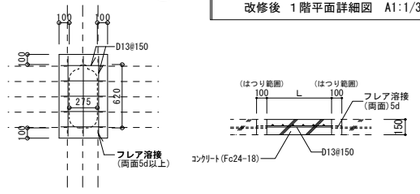


改修前　１階平面詳細図　A1:1/30、A3:1/60



改修後　１階平面詳細図　A1:1/30、A3:1/60



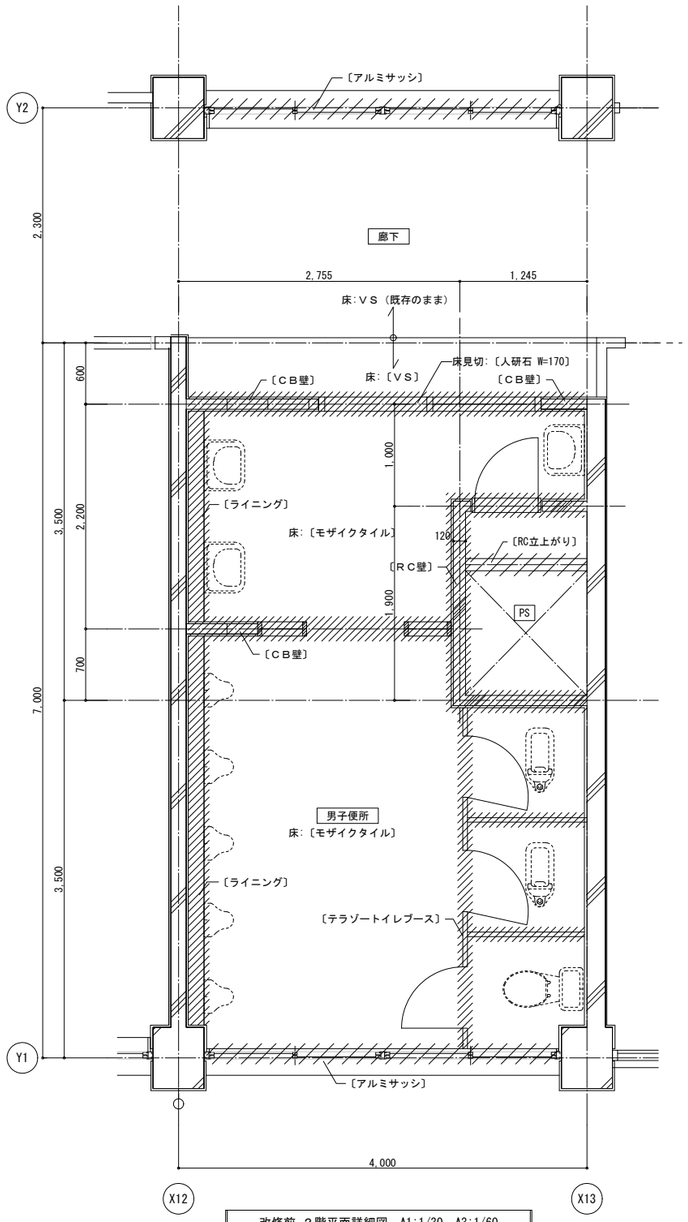


床塞ぎ（RC）新設詳細図　A1:1/30、A3:1/60

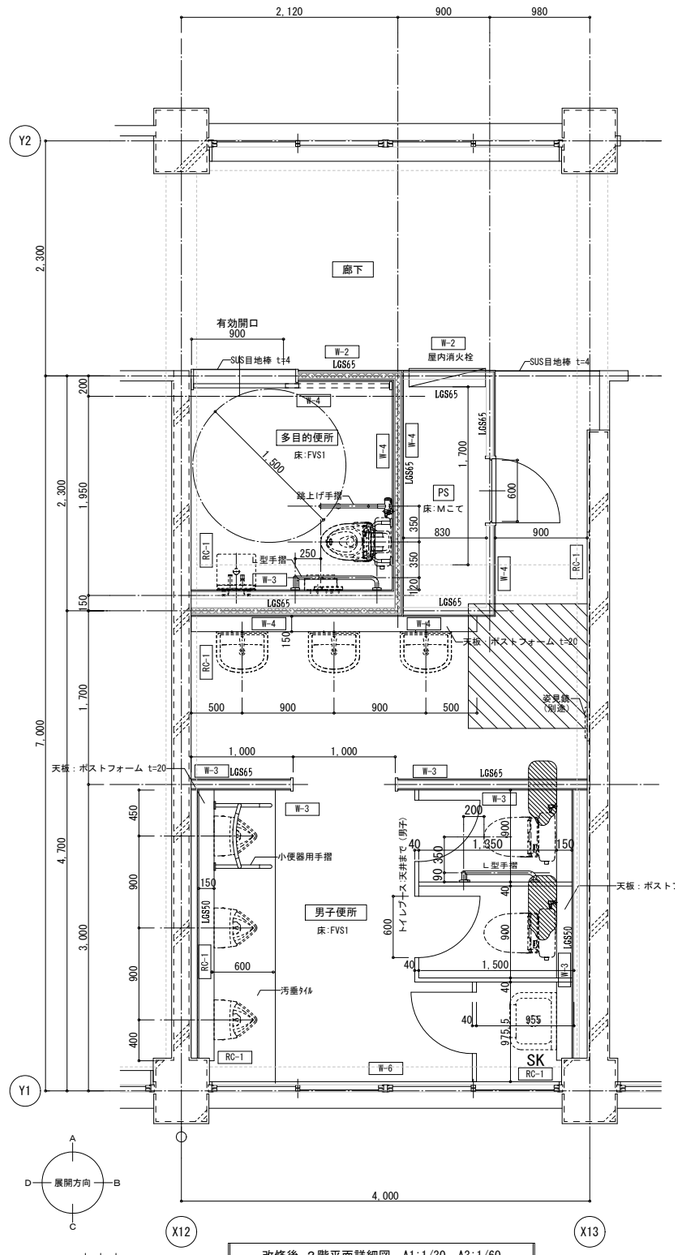
凡例	
〔＊＊〕	撤去部分を示す
	サッシ改修部分を示す
	壁撤去範囲を示す

凡例	
	実線：改修部分を示す
	破線：既存部分を示す
	点線：設備工事を示す
	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　t＝50（24ｋ相当）
	床塞ぎ（RC）新設

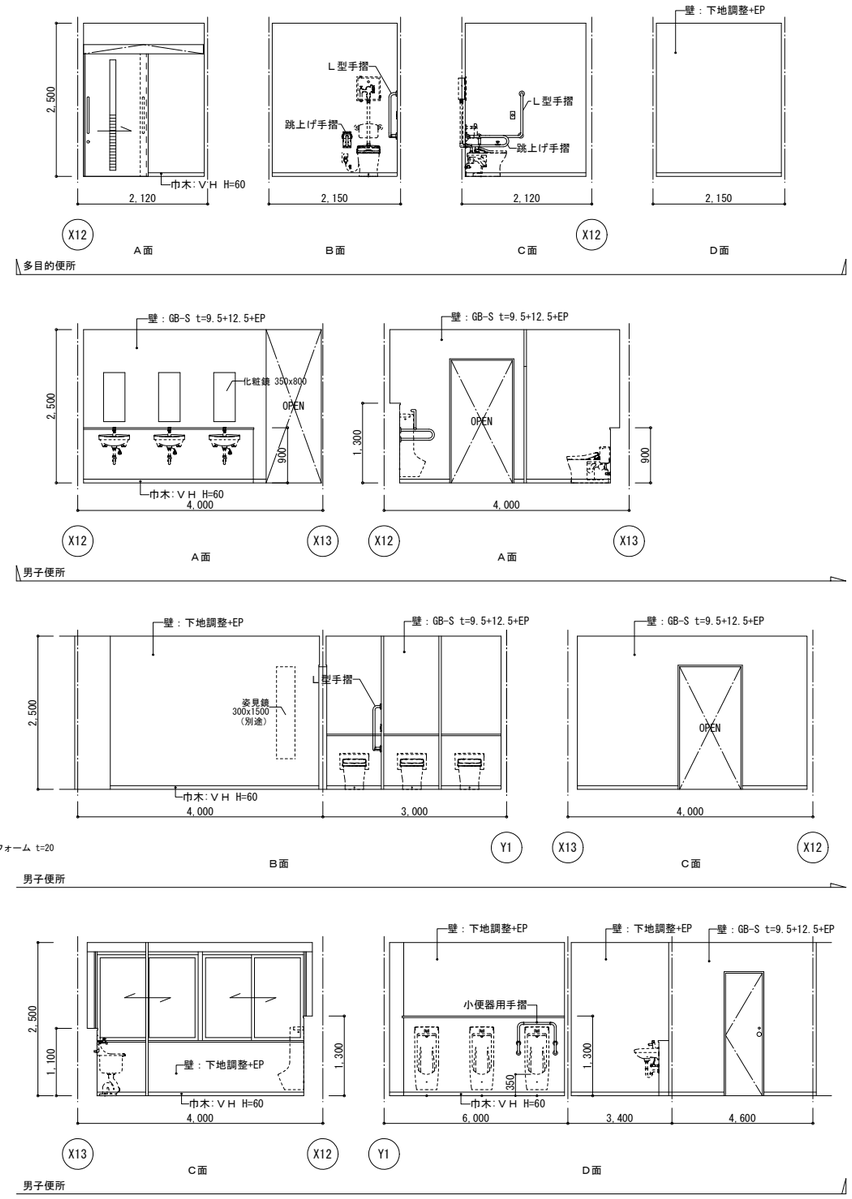
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　１階便所詳細図	A１：S＝1／30、50 A3：S＝1／60、100	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－２１

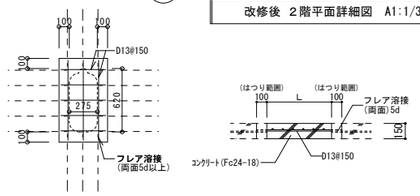


改修前 ２階平面詳細図 A1:1/30、A3:1/60



改修後 ２階平面詳細図 A1:1/30、A3:1/60



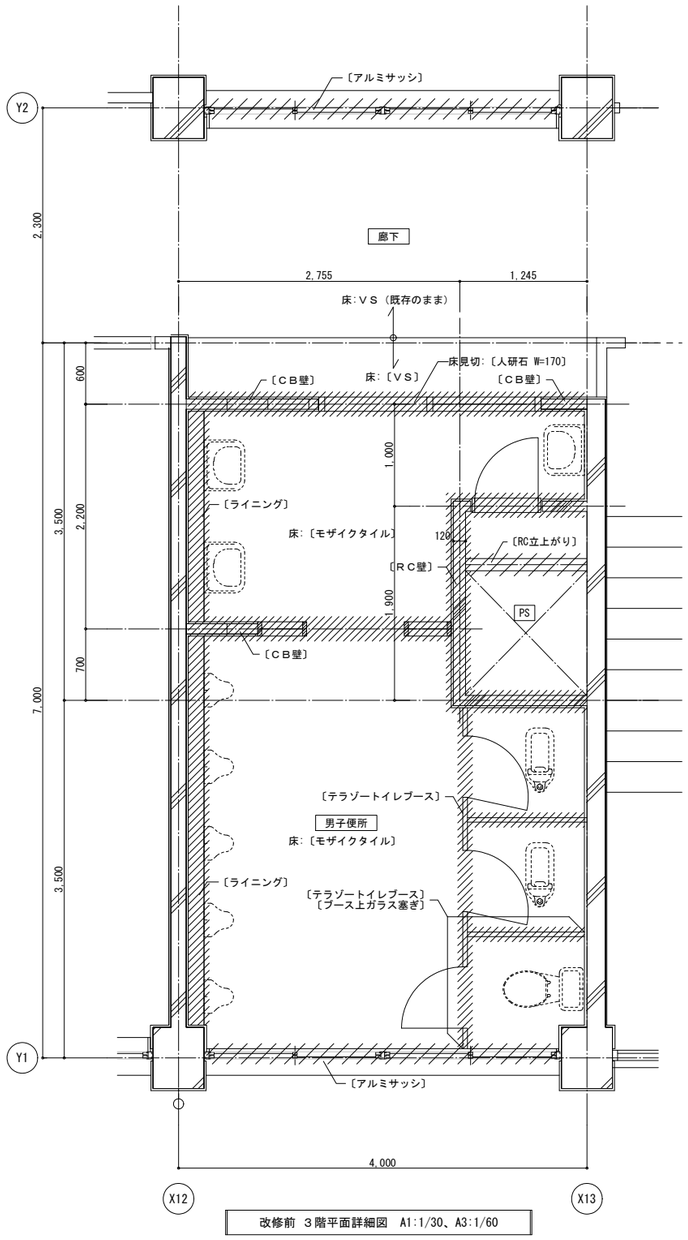


床塞ぎ（RC）新設詳細図 A1:1/30、A3:1/60

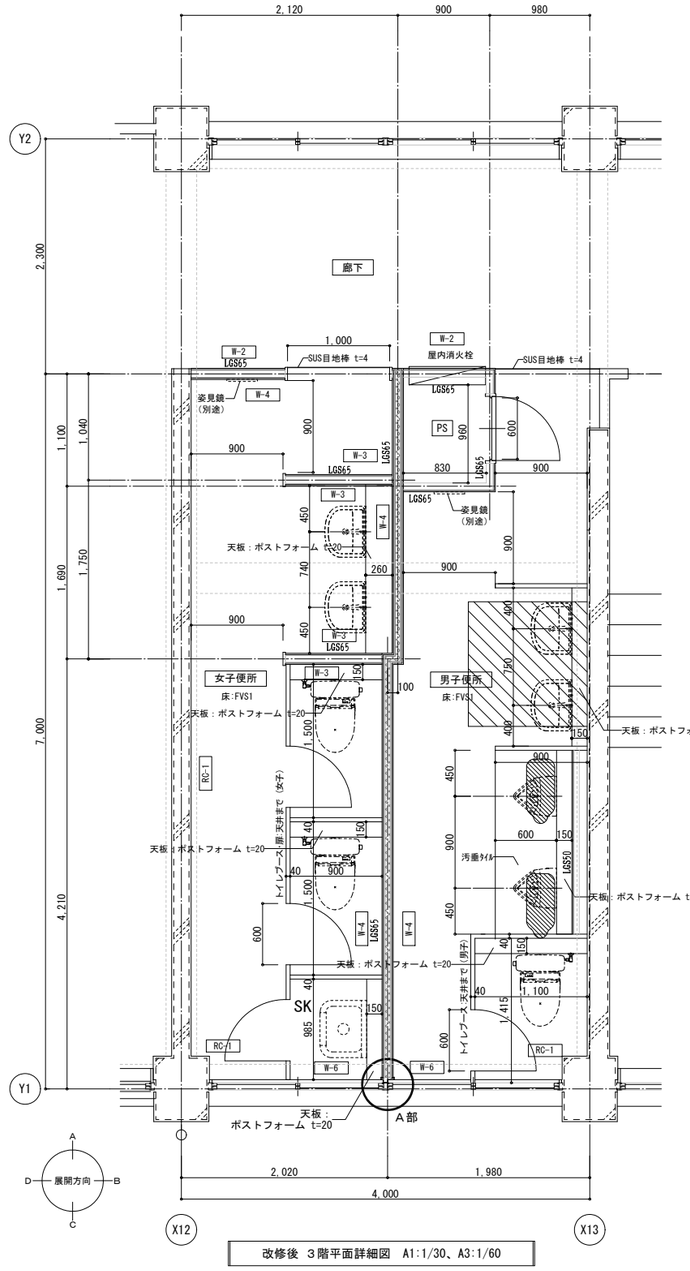
凡例	
〔＊＊〕	撤去部分を示す
	サッシ改修部分を示す
	壁撤去範囲を示す

凡例	
	実線：改修部分を示す
	破線：既存部分を示す
	点線：設備工事を示す
	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t＝50（24ｋ相当）
	床塞ぎ（RC）新設

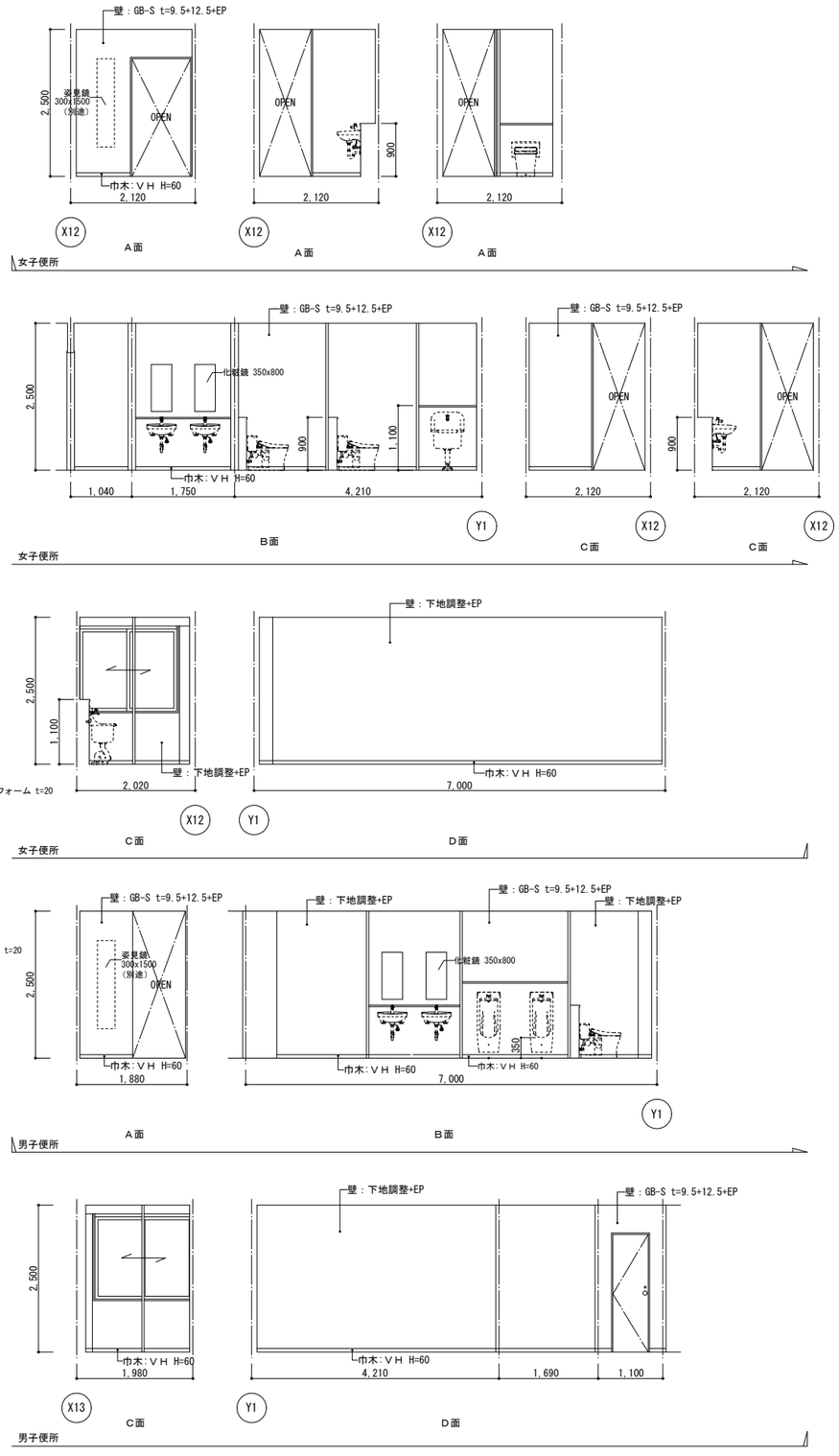
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　２階便所詳細図	A1：S＝1／30、50 A3：S＝1／60、100	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校						A－22
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当		

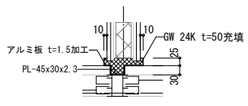


改修前 ３階平面詳細図 A1:1/30、A3:1/60



改修後 ３階平面詳細図 A1:1/30、A3:1/60





Ａ部 サッシ取合い詳細図 A1:1/10、A3:1/20

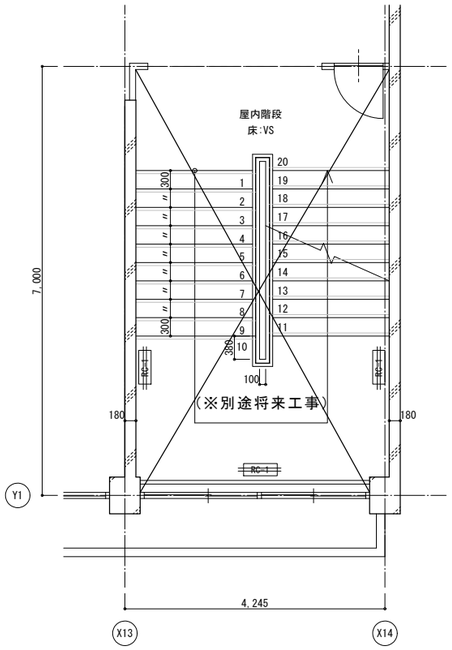
凡例	
〔＊＊〕	撤去部分を示す
	サッシ改修部分を示す
	壁撤去範囲を示す

凡例	
	実線：改修部分を示す
	破線：既存部分を示す
	点線：設備工事を示す
	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t＝50（24ｋ相当）
	床塞ぎ（RC）新設

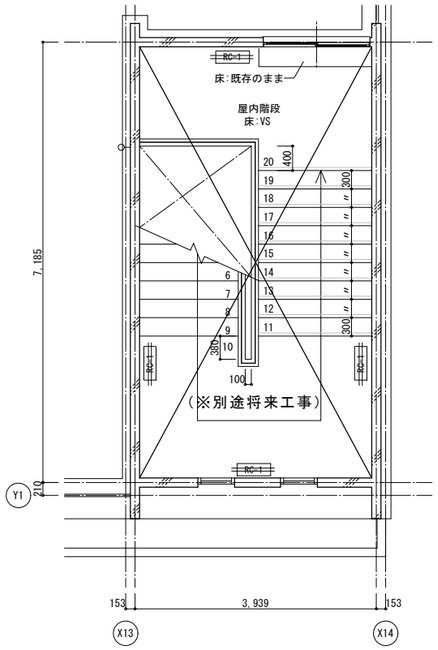
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　３階便所詳細図	Ａ１：Ｓ＝１／３０、５０ Ａ３：Ｓ＝１／６０、１００

株式会社 綜企画設計 福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士 古元 俊治

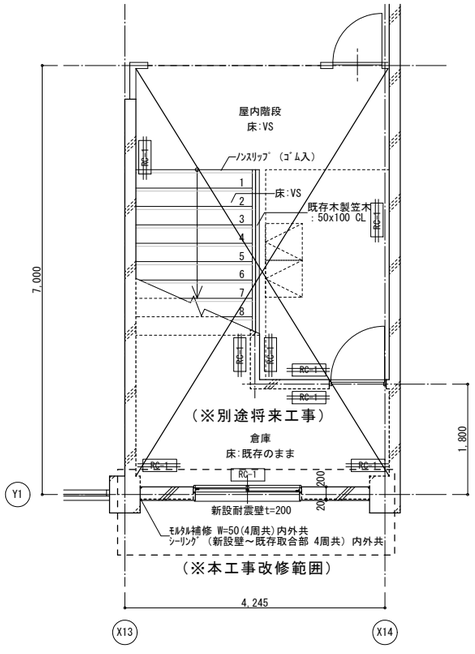
独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	Ａ－２３



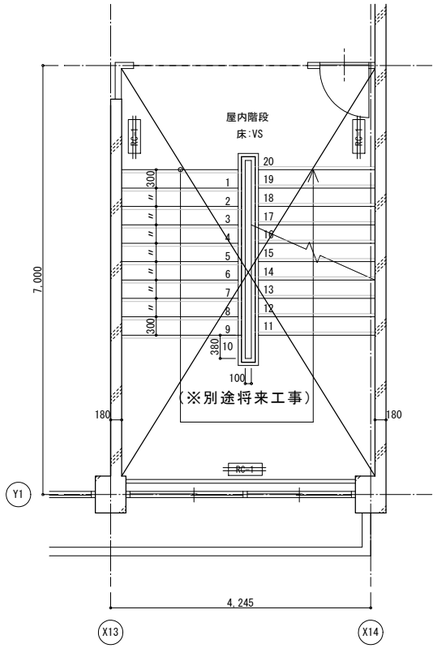
2階平面詳細図



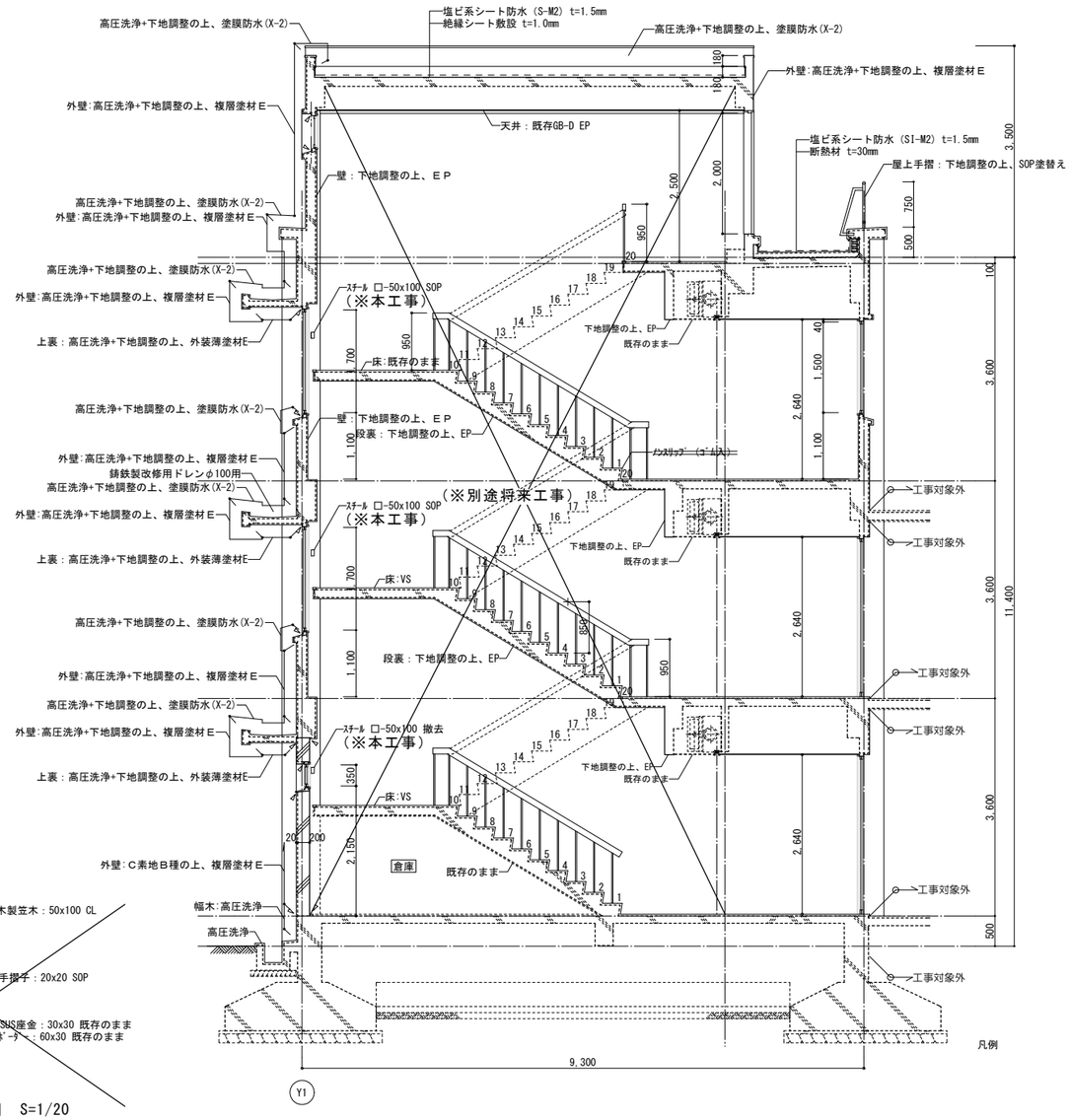
R階平面詳細図



1階平面詳細図

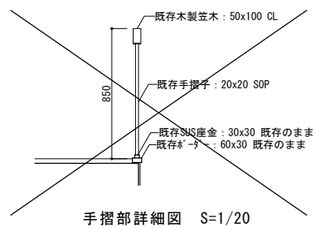


3階平面詳細図

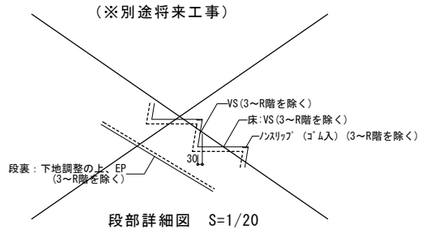


断面詳細図

(※屋内階段内部改修 : 別途将来工事)

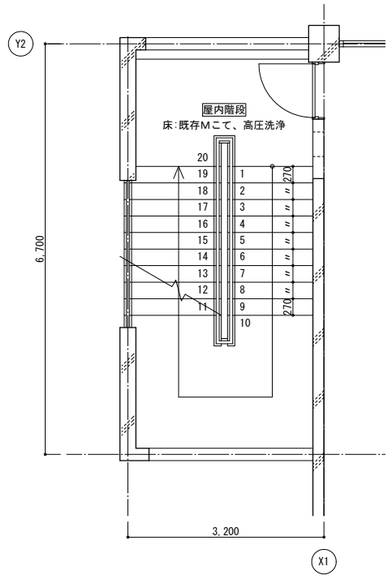


手摺部詳細図 S=1/20
(※別途将来工事)

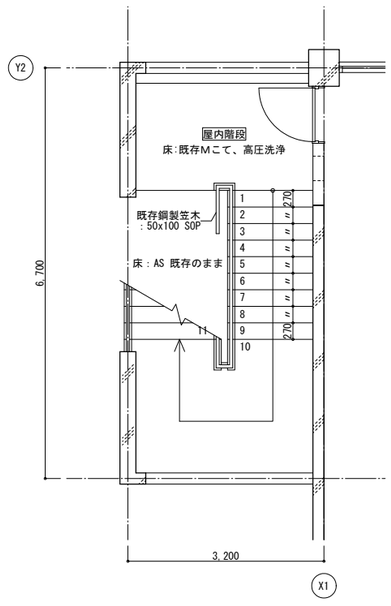


段部詳細図 S=1/20
(※別途将来工事)

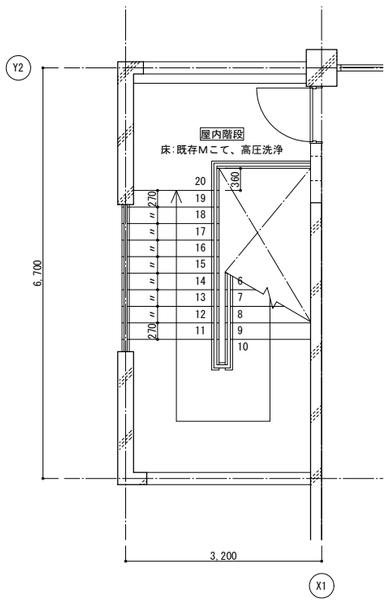
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年8月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後 階段詳細図 (1)	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士 (大臣) 第278279号 管理建築士 古元 俊治						A－24



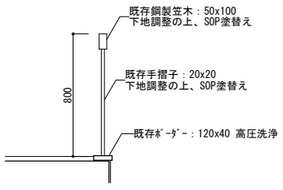
２階平面詳細図



１階平面詳細図

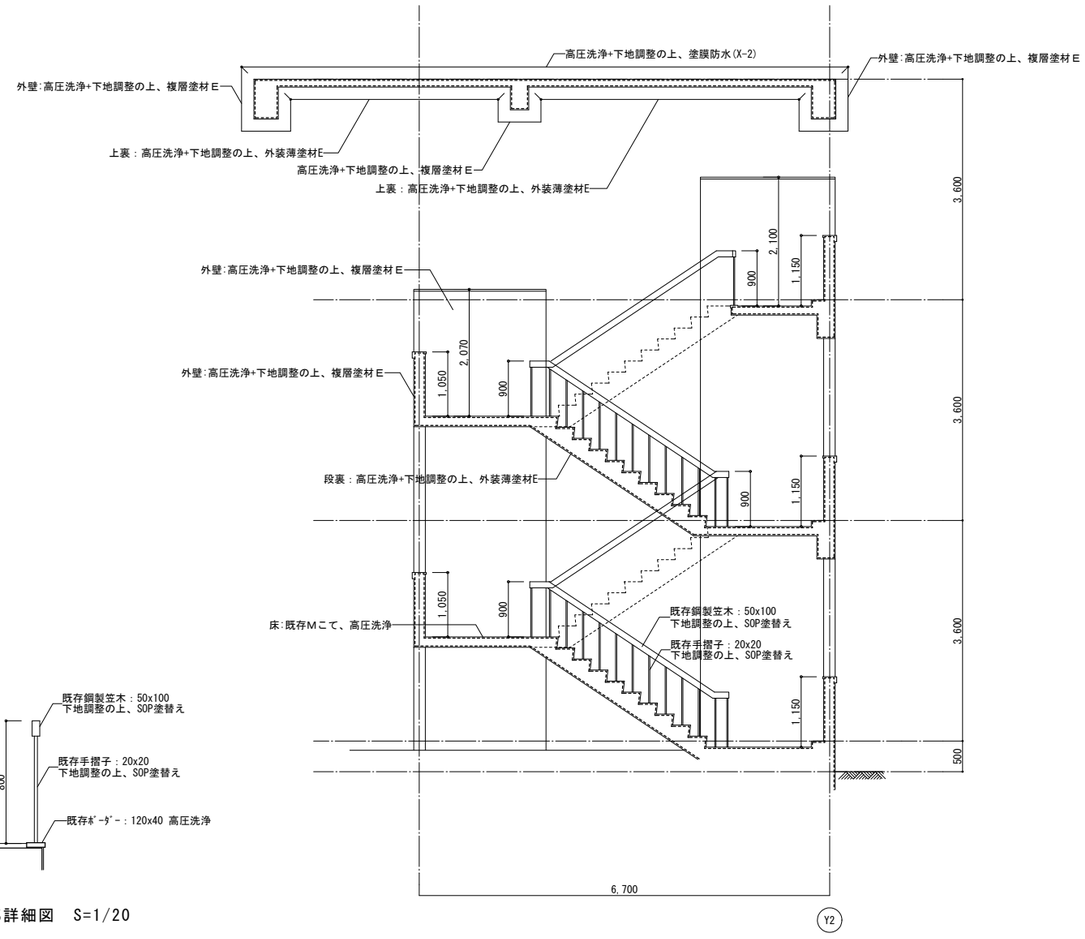


３階平面詳細図



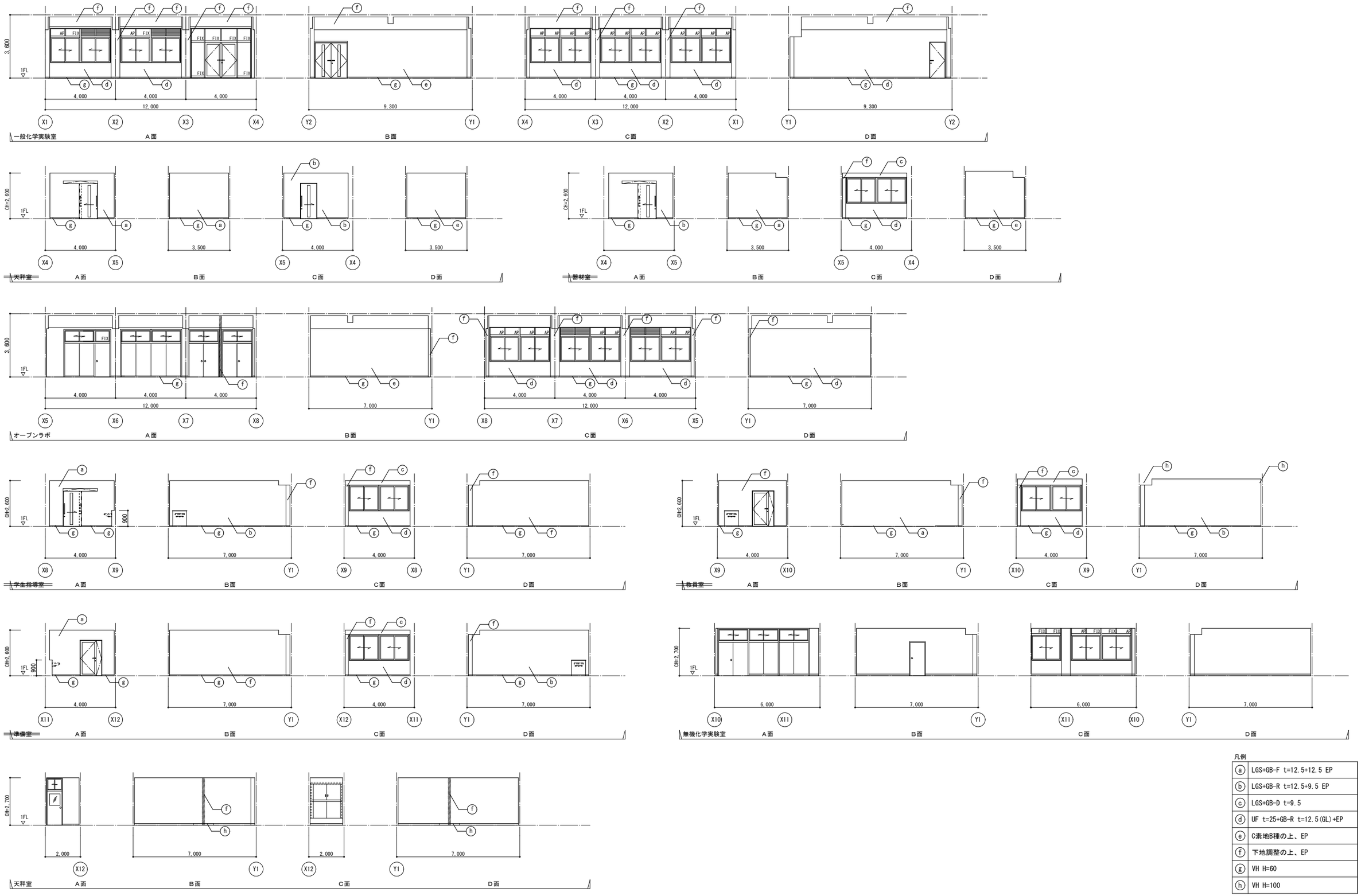
手摺部詳細図　S=1/20

段部詳細図　S=1/20



断面詳細図

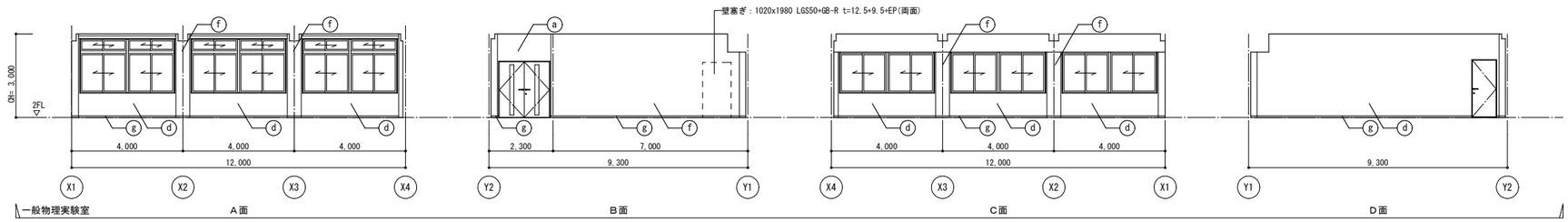
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　階段詳細図（２）	A１：S＝１／５０ A３：S＝１／１００							Ａ－２５

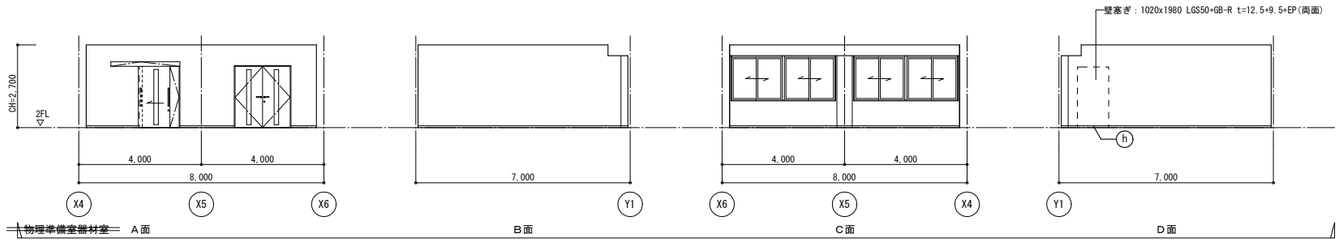


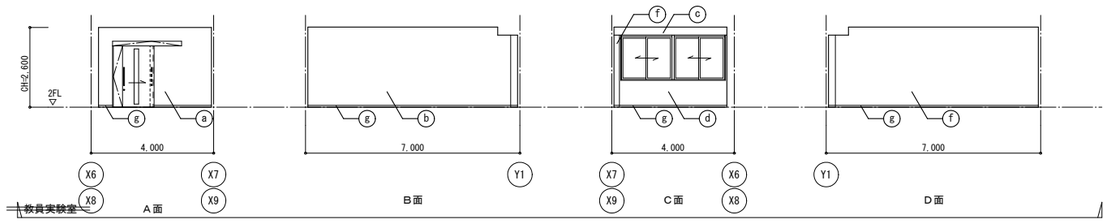
凡例

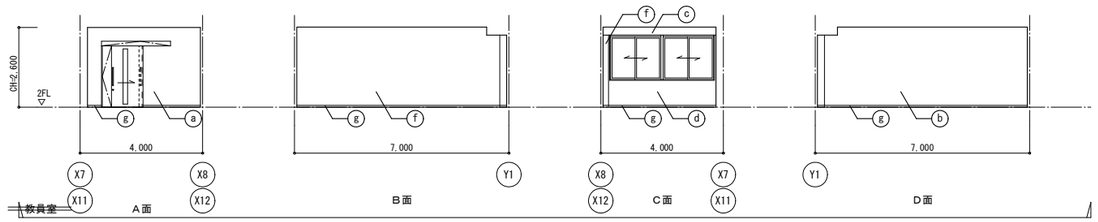
a	LGS+GB-F t=12.5+12.5 EP
b	LGS+GB-R t=12.5+9.5 EP
c	LGS+GB-D t=9.5
d	UF t=25+GB-R t=12.5(GL)+EP
e	C素地B種の上、EP
f	下地調整の上、EP
g	VH H=60
h	VH H=100

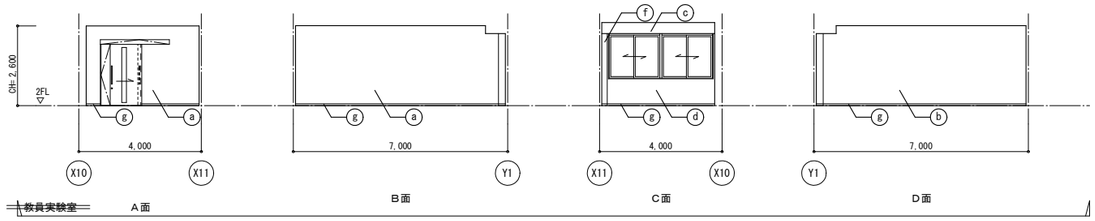
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　１階展開図	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－26

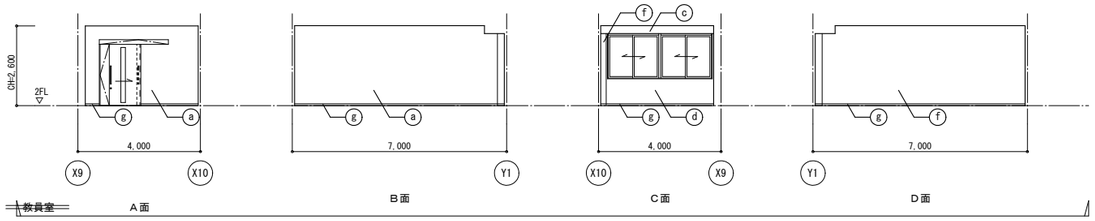


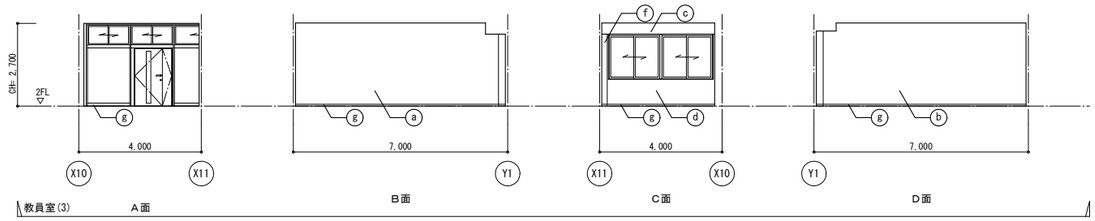


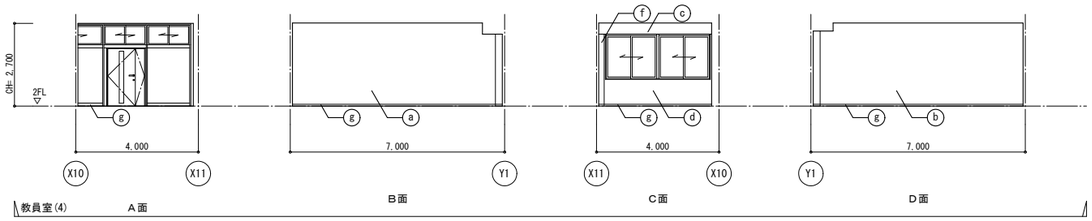








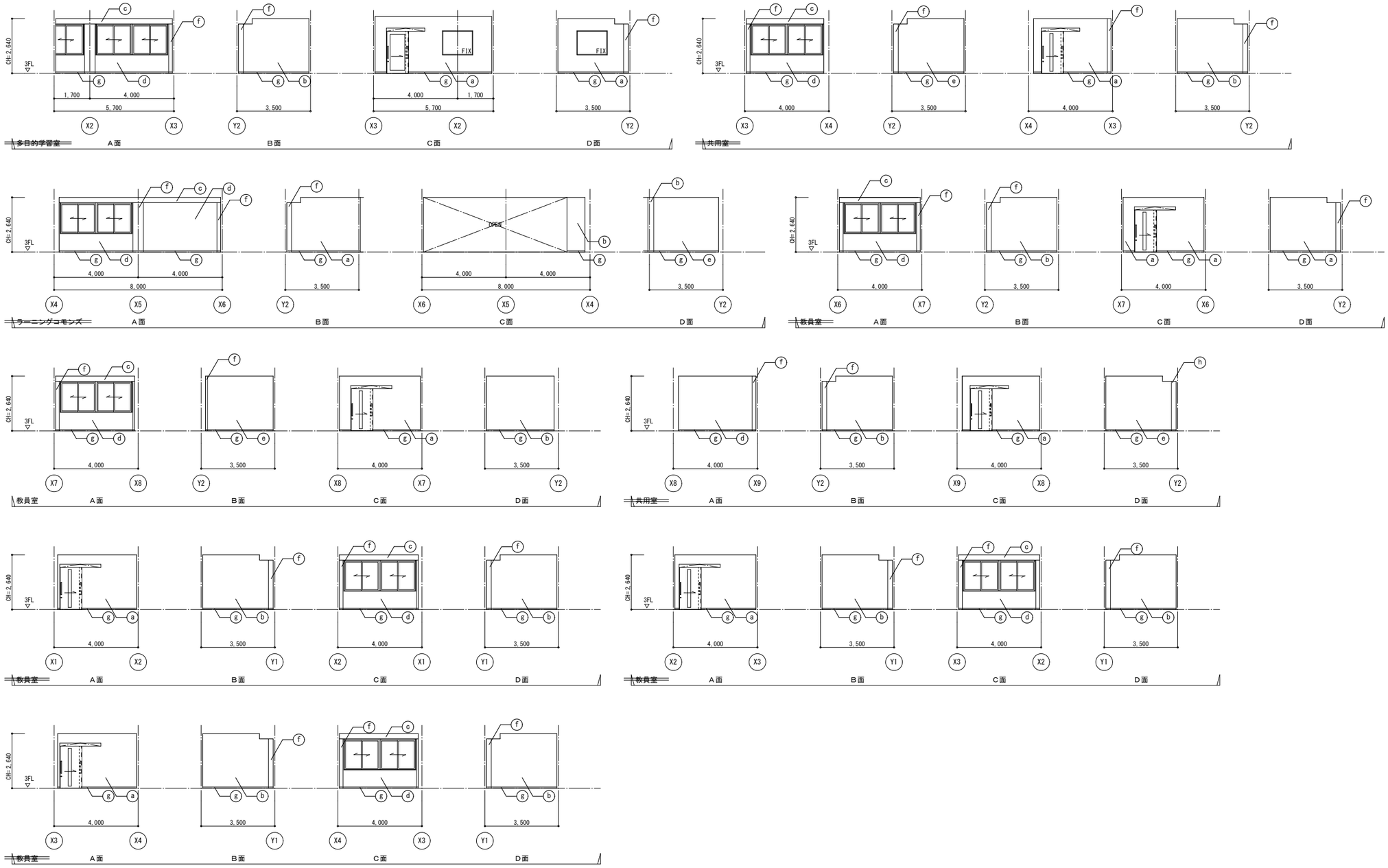




凡例

a	LGS+GB-F t=12.5+12.5 EP
b	LGS+GB-R t=12.5+9.5 EP
c	LGS+GB-D t=9.5
d	UF t=25+GB-R t=12.5(GL)+EP
e	C素地B種の上、EP
f	下地調整の上、EP
g	VH H=60
h	VH H=100

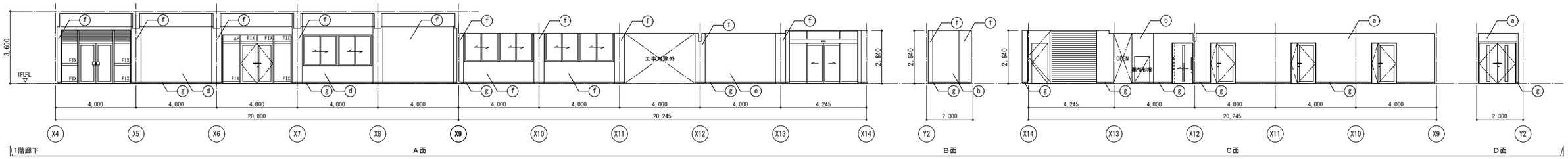
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　２階展開図	A1：S=1／100 A3：S=1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－27

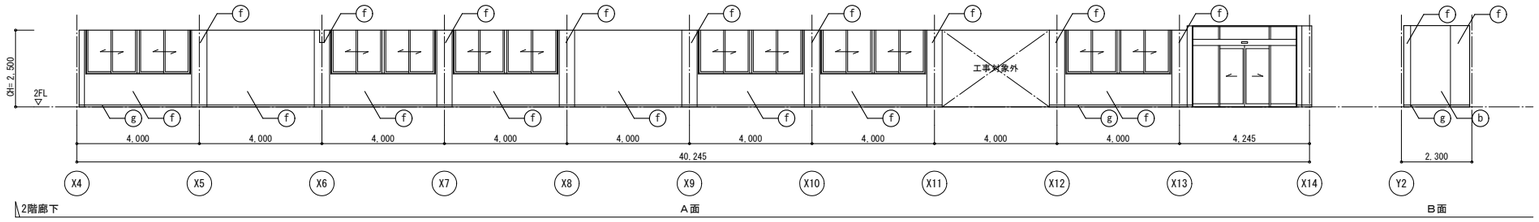


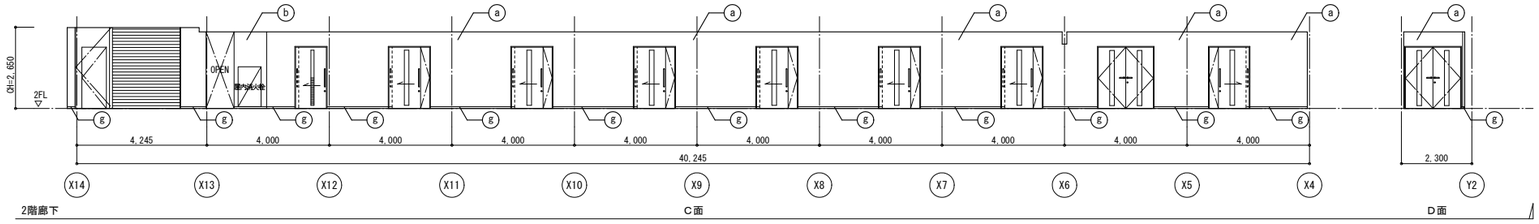
凡例

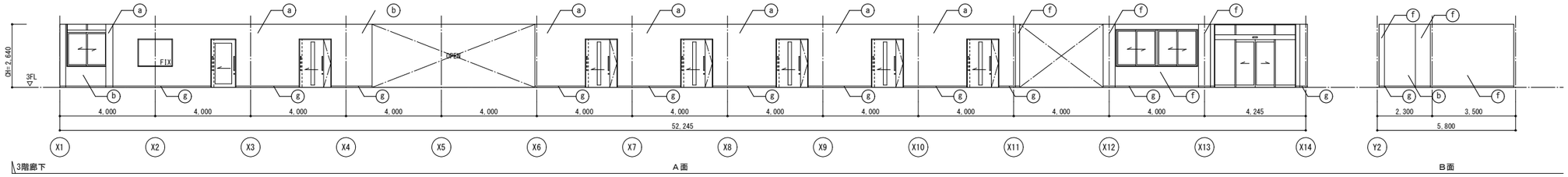
ⓐ	LGS+GB-F t=12.5+12.5 EP
ⓑ	LGS+GB-R t=12.5+9.5 EP
ⓒ	LGS+GB-D t=9.5
ⓓ	UF t=25+GB-R t=12.5(GL)+EP
ⓔ	C素地B種の上、EP
ⓕ	下地調整の上、EP
ⓖ	VH H=60
ⓗ	VH H=100

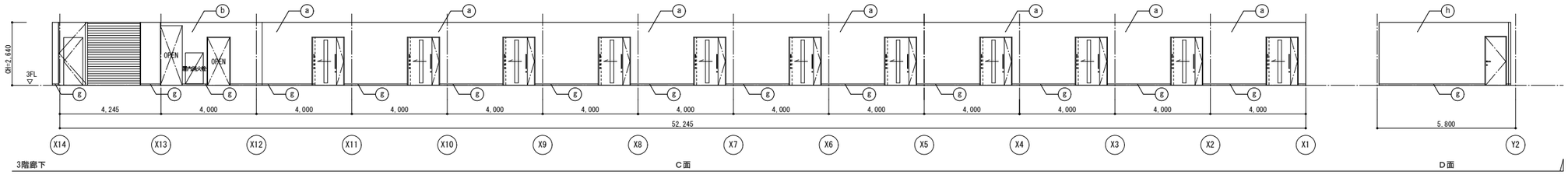
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　３階展開図	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－28









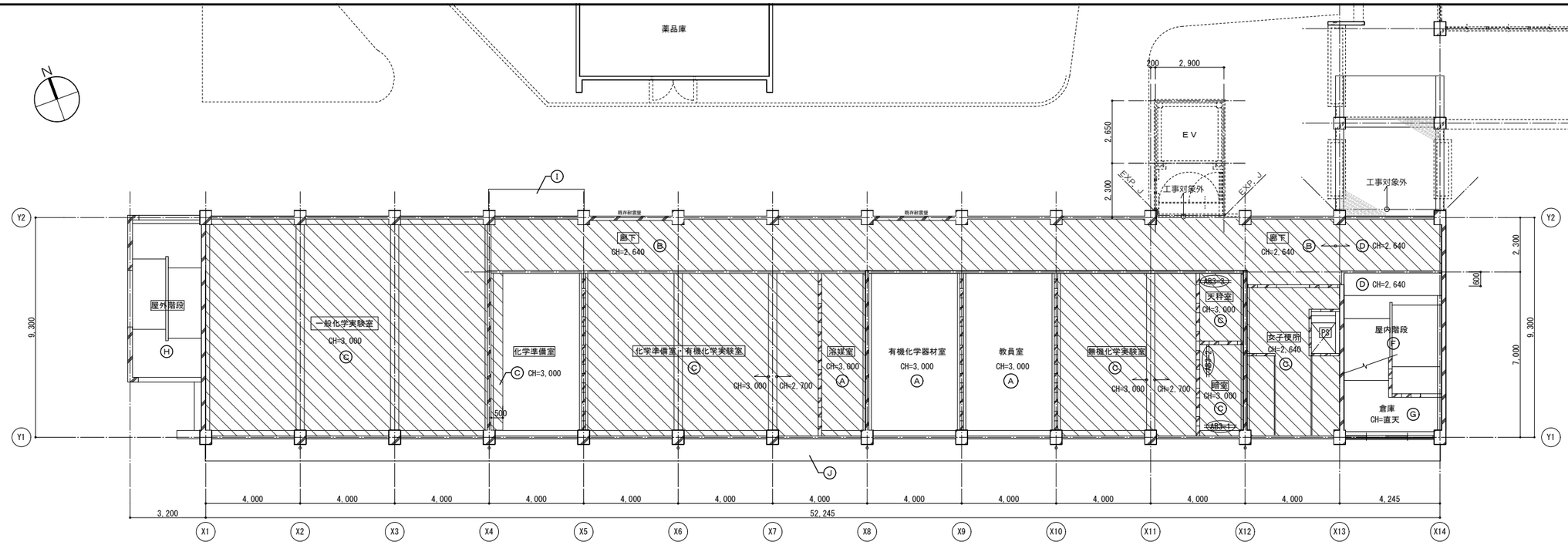


凡例

a	LGS+GB-F t=12.5+12.5 EP
b	LGS+GB-R t=12.5+9.5 EP
c	LGS+GB-D t=9.5
d	UF t=25+GB-R t=12.5(GL)+EP
e	C素地B種の上、EP
f	下地調整の上、EP
g	VH H=60
h	VH H=100

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　廊下展開図	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－29

改修前

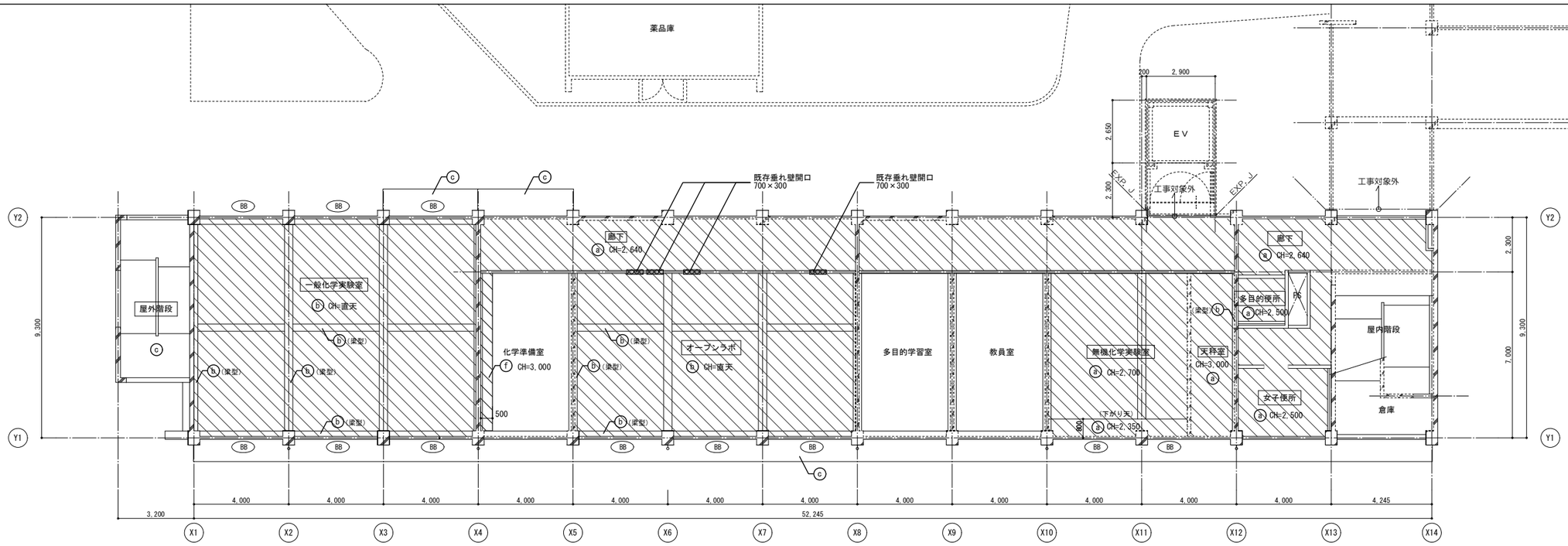


改修前　１階天井伏図

凡例

室名	本工事対象室
A	GB-D t=9
B	GB-P t=9.5
C	FK　目透かし貼
D	GB-R t=9 + DR t=9
E	ビニルクロス
F	Mこて
G	コンクリート打放し
H	外装薄塗材Ｅ
I	合成樹脂エマルション砂壁状吹付材外装用Ａ類
	天井仕上げ撤去範囲を示す
BB-*	ブラインドボックス　撤去
AB1-*	暗幕ボックス　撤去
AB3-*	暗幕ボックス（三方）　撤去

改修後



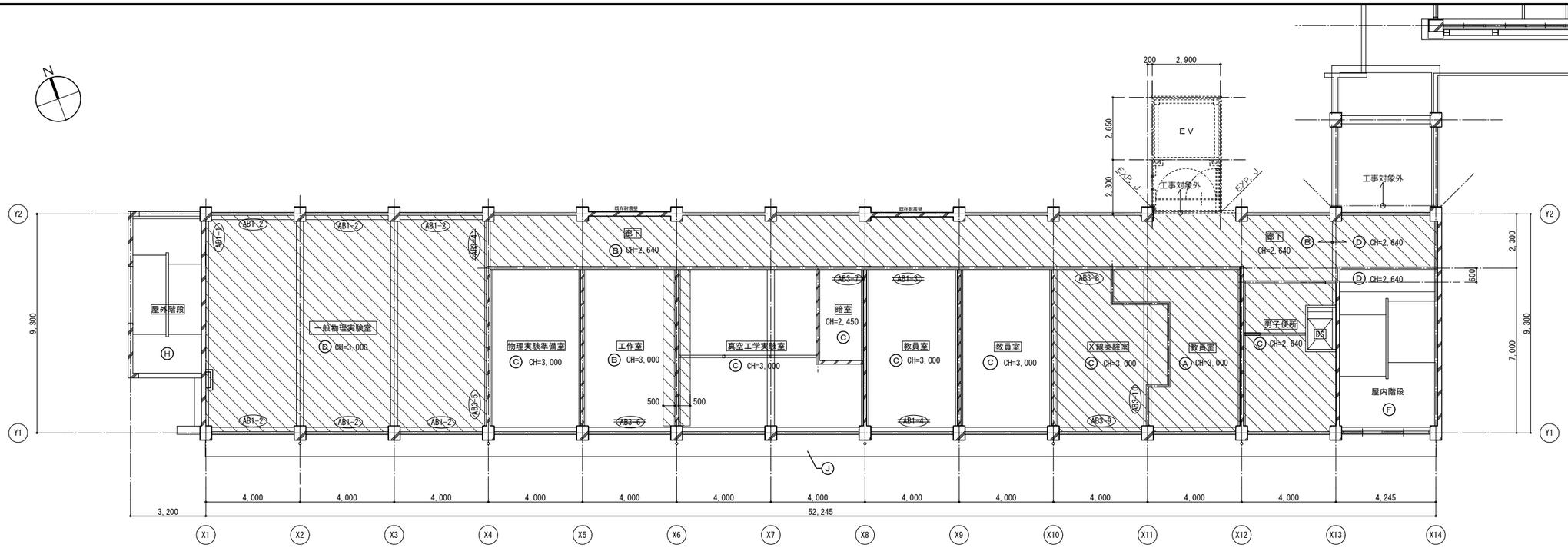
改修後　１階天井伏図

凡例

室名	本工事対象室
a	GB-D t=9.5　新設
b	EP　塗替え
c	外装薄塗材Ｅ
d	仕上無し
e	複層塗材Ｅ
f	FK
	既存垂れ壁開口
	天井仕上げ新設範囲を示す
BB	ブラインドボックス　新設
SB	スクリーンボックス　新設
AB1	暗幕ボックス　新設
AB3	暗幕ボックス（三方）　新設

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　１階天井伏図	A1：S=1／100 A3：S=1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						A－30

改修前

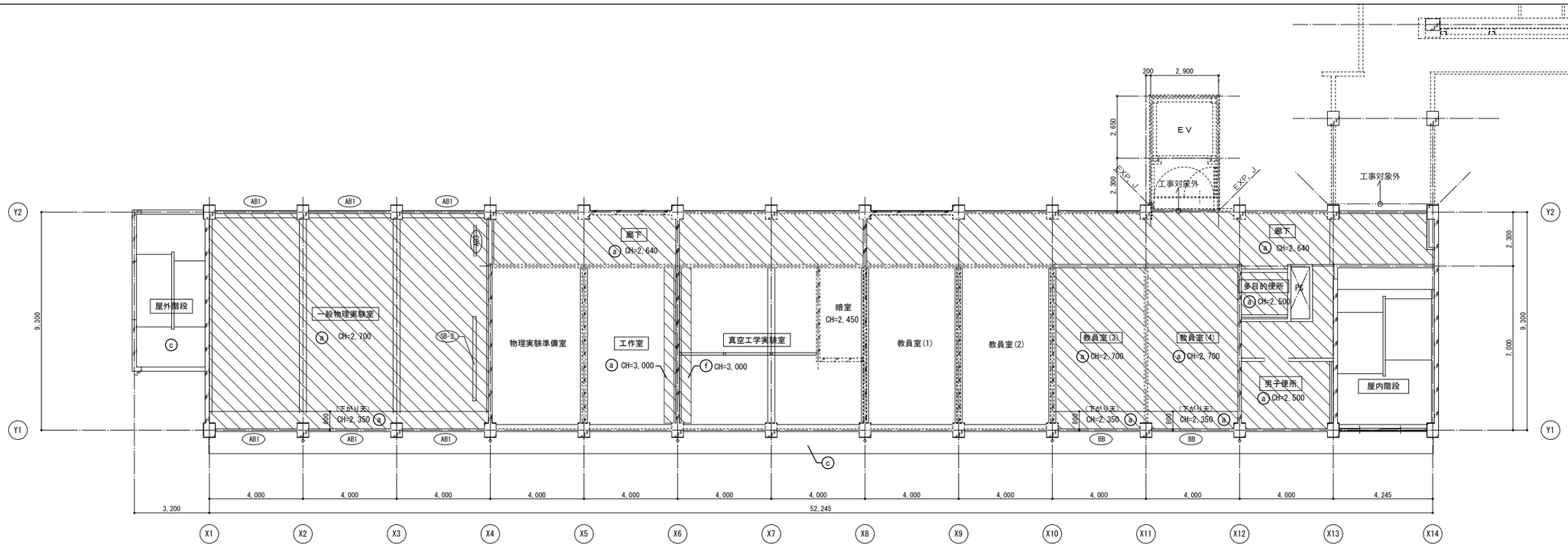


改修前　２階天井伏図

凡例

室名	本工事対象室
A	GB-D t=9
B	GB-P t=9.5
C	FK
D	GB-R t=9 + DR t=9
E	ビニルクロス
F	Mこて
G	コンクリート打放し
H	外装薄塗材Ｅ
I	合成樹脂エマルション砂壁状吹付材外装用Ａ類
	天井仕上げ撤去範囲を示す
BB-*	ブラインドボックス　撤去
AB1-*	暗幕ボックス　撤去
AB3-*	暗幕ボックス（三方）　撤去

改修後



改修後　２階天井伏図

凡例

室名	本工事対象室
a	GB-D t=9.5　新設
b	EP　塗替え
c	外装薄塗材Ｅ
d	仕上無し
e	複層塗材Ｅ
f	FK
	天井仕上げ新設範囲を示す
BB	ブラインドボックス　新設
SB	スクリーンボックス　新設
AB1	暗幕ボックス　新設
AB3	暗幕ボックス（三方）　新設

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　２階天井伏図	A1：S=1／100 A3：S=1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						Ａ－３１

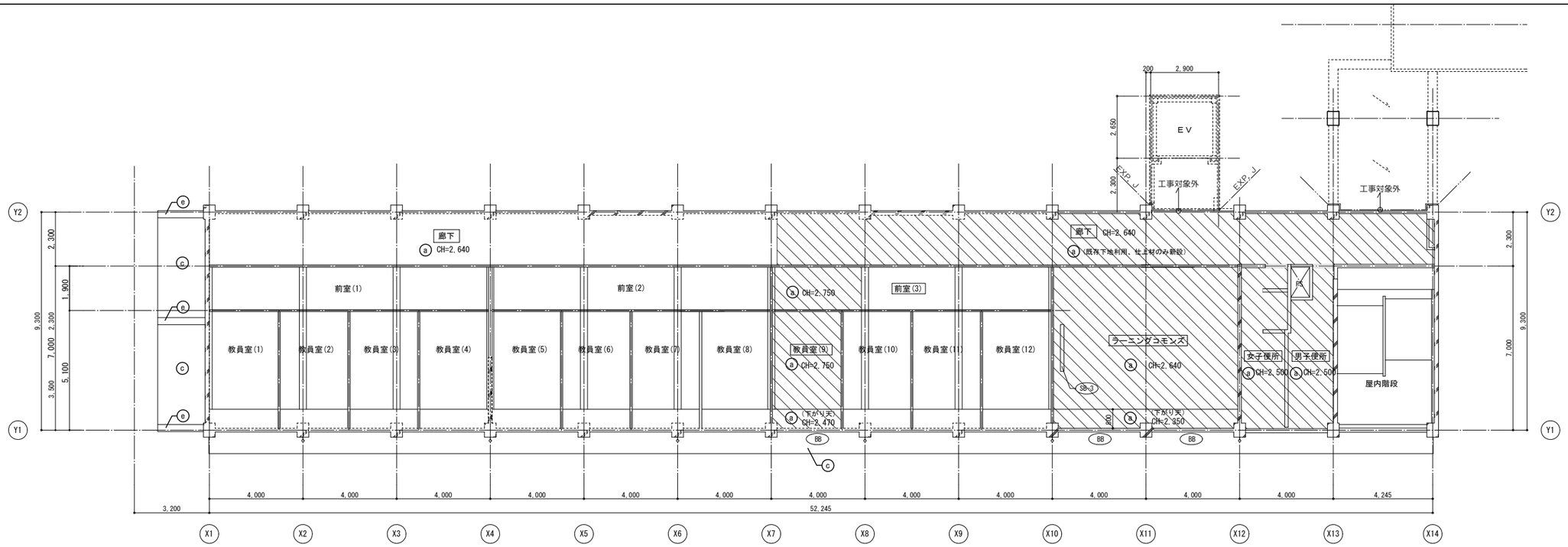
改修前

改修前　３階天井伏図

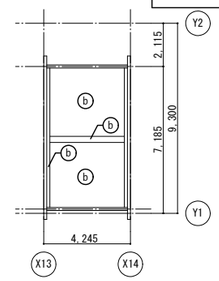
凡例

室名	本工事対象室
Ⓐ	GB-D t=9
Ⓑ	GB-P t=9.5
Ⓒ	FK
Ⓓ	GB-R t=9 + DR t=9
Ⓔ	ビニルクロス
Ⓕ	Mこて
Ⓖ	コンクリート打放し
Ⓗ	外装薄塗材Ｅ
Ⓘ	合成樹脂エマルション砂壁状吹付材外装用Ａ類
	天井仕上げ撤去範囲を示す
BB-*	ブラインドボックス　撤去
AB1-*	暗幕ボックス　撤去
AB3-*	暗幕ボックス（三方）　撤去

改修後



改修後　３階天井伏図

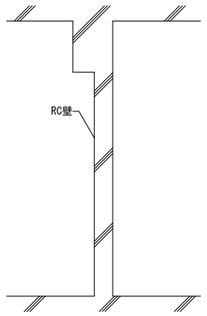
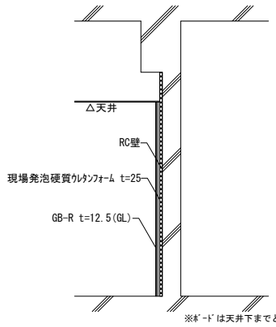
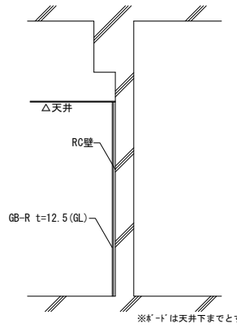
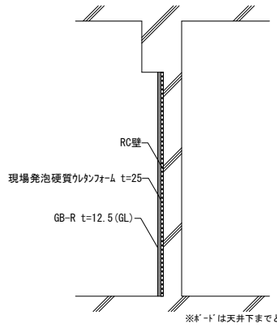
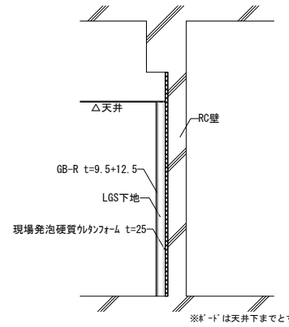


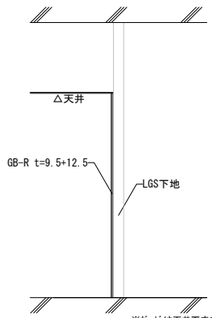
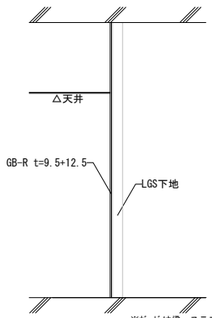
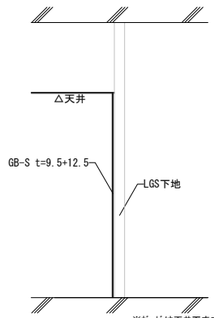
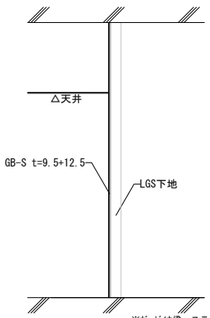
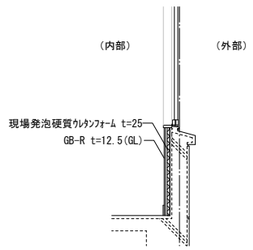
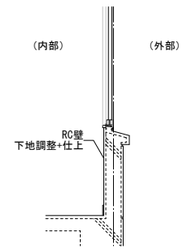
改修後　PHR階天井伏図　S=1/150

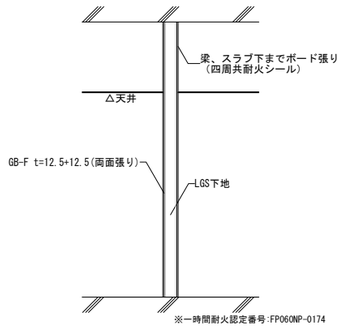
凡例

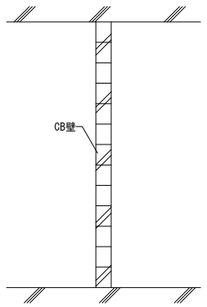
室名	本工事対象室
ⓐ	GB-Dt=9.5　新設
ⓑ	EP　塗替え
ⓒ	外装薄塗材Ｅ
ⓓ	仕上無し
ⓔ	複層塗材Ｅ
ⓕ	FK
	天井仕上げ新設範囲を示す
BB	ブラインドボックス　新設
SB	スクリーンボックス　新設
AB1	暗幕ボックス　新設
AB3	暗幕ボックス（三方）　新設

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前後　３階天井伏図	A1：S=1／100 A3：S=1／200	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						Ａ－３２

記号	ＲＣ－１	ＲＣ造壁仕様	ＲＣ－２	ＲＣ造壁仕様	ＲＣ－３	ＲＣ造壁仕様	ＲＣ－４	ＲＣ造壁仕様	ＲＣ－５	ＲＣ造壁仕様		
断面図			 ※ﾎﾞｰﾄﾞは天井下までとする。		 ※ﾎﾞｰﾄﾞは天井下までとする。		 ※ﾎﾞｰﾄﾞは天井下までとする。		 ※ﾎﾞｰﾄﾞは天井下までとする。		

記号	Ｗ－１	一般仕切り壁	Ｗ－２	一般仕切り壁	Ｗ－３	一般仕切り壁	Ｗ－４	一般仕切り壁	Ｗ－５	腰壁	Ｗ－６	腰壁
断面図	 ※ﾎﾞｰﾄﾞは天井下までとする。		 ※ﾎﾞｰﾄﾞは梁、スラブ下までとする。		 ※ﾎﾞｰﾄﾞは天井下までとする。		 ※ﾎﾞｰﾄﾞは梁、スラブ下までとする。				

記号	耐－１	ＬＧＳ壁仕様（耐火間仕切り壁）
断面図	 ※一時間耐火認定番号:FP060NP-0174	

記号	ＣＢ－１	ＣＢ造壁
断面図		

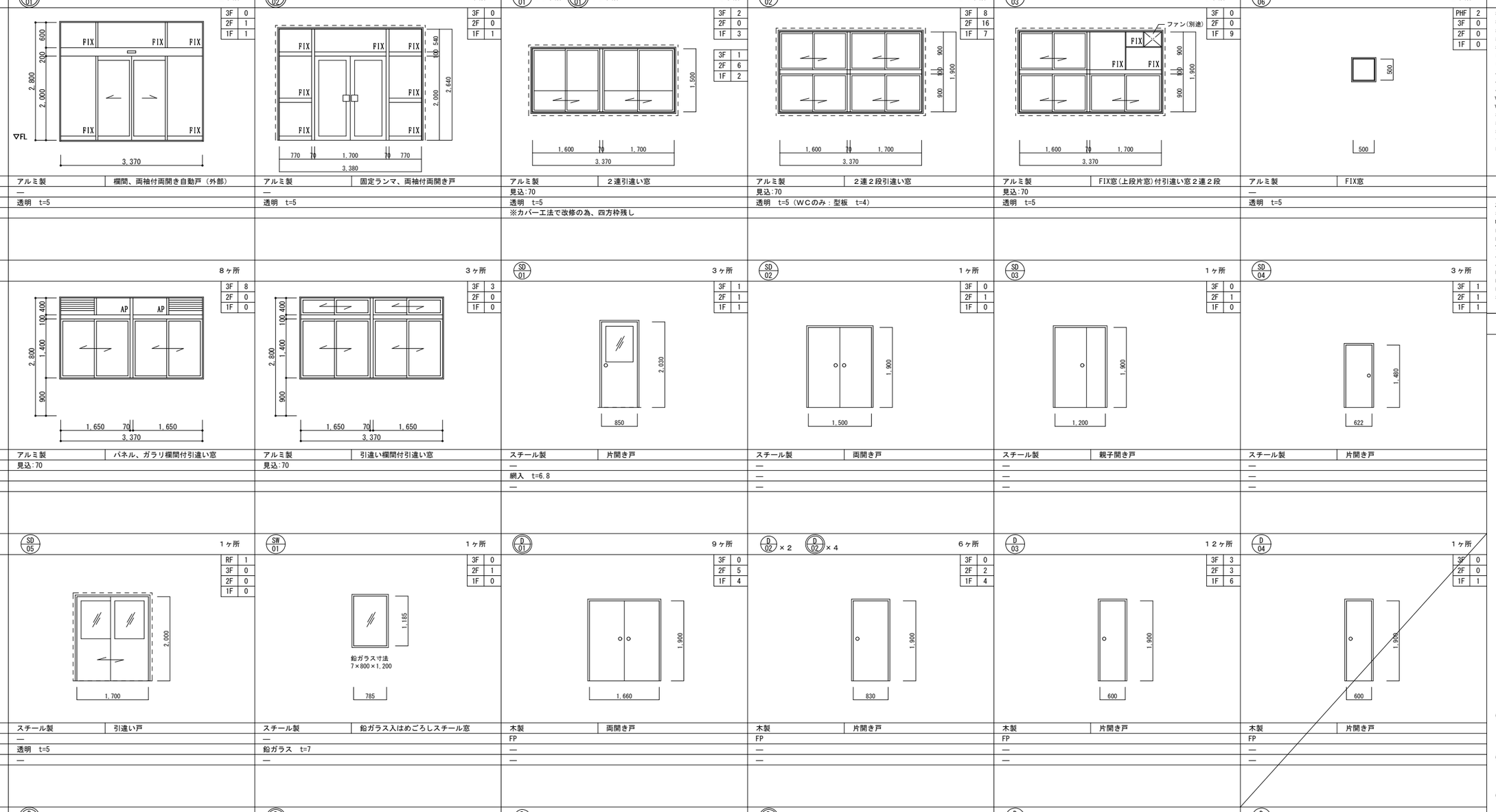
特記
1. 最終仕上げは仕上表による。
2. LGS壁内のGW範囲は平面詳細図による。
3. LGS壁のGW入りは梁・スラブ下までボード張りとする。
4. ３階梁熱橋部の断熱は折返し有りとする。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	壁仕様図	Ａ１：Ｓ＝１／３０ Ａ３：Ｓ＝１／６０

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	Ａ－３３

記号	数量	材質 型状	仕上 見込	ガラス	備考
AD 01	2ヶ所	アルミ製　欄間、両袖付両開き自動戸（外部）	—	透明 t=5	
AD 02	1ヶ所	アルミ製　固定ランマ、両袖付両開き戸	—	透明 t=5	
AW 01 / AW 01	15ヶ所 / 15ヶ所	アルミ製　2連引違い窓	見込:70	透明 t=5	※カバー工法で改修の為、四方枠残し
AW 02	31ヶ所	アルミ製　2連2段引違い窓	見込:70	透明 t=5（WCのみ：型板 t=4）	
AW 03	9ヶ所	アルミ製　FIX窓(上段片窓)付引違い窓2連2段	見込:70	透明 t=5	
AW 06	2ヶ所	アルミ製　FIX窓	—	透明 t=5	
AW 04	8ヶ所	アルミ製　パネル、ガラリ欄間付引違い窓	見込:70		
AW 05	3ヶ所	アルミ製　引違い欄間付引違い窓	見込:70		
SD 01	3ヶ所	スチール製　片開き戸	—	網入 t=6.8	—
SD 02	1ヶ所	スチール製　両開き戸	—	—	—
SD 03	1ヶ所	スチール製　親子開き戸	—	—	—
SD 04	3ヶ所	スチール製　片開き戸	—	—	—
SD 05	1ヶ所	スチール製　引違い戸	—	透明 t=5	—
SW 01	1ヶ所	スチール製　鉛ガラス入はめごろしスチール窓	—	鉛ガラス t=7	—
D 01	9ヶ所	木製　両開き戸	FP	—	—
D 02 ×2 / D 02 ×4	6ヶ所	木製　片開き戸	FP	—	—
D 03	12ヶ所	木製　片開き戸	FP	—	—
D 04	1ヶ所	木製　片開き戸	FP	—	—
D 05	1ヶ所	木製　片開き戸(ガラリ付)	FP	—	—
D 06	1ヶ所	木製　両開き戸2段	FP	—	—
D 07	1ヶ所	木製　両開き戸	FP	—	—
D 08	1ヶ所	木製　片開き戸	FP	—	—
D 09	3ヶ所	木製　片開き戸	FP	型板 t=4	—
D 010	1ヶ所	木製　煽り戸	FP	—	—



符号凡例

- SSD：ステンレス製扉
- SD ：鋼製扉
- SW ：鋼製窓
- SG ：鋼製ガラリ
- SS ：鋼製シャッター
- LSS：鋼製軽量シャッター
- LSD：軽量鋼製扉
- AD ：アルミ製扉
- AW ：アルミ製窓
- AG ：アルミ製ガラリ
- WD ：木製扉
- WW ：木製窓
- SP ：鋼製パーティション
- SPW：鋼製パーティション（窓）
- SPD：鋼製パーティション（扉）
- TB ：トイレブース
- P ：パーティション

仕上凡例

ステンレス
- SUS：ステンレス
- ML ：鏡面
- DR ：ダル
- HL ：ヘアーライン

アルミ（JIS Z 8002）
- A－1：無着色陽極酸化皮膜
- A－2：着色陽極酸化皮膜
- B－1：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
- B－2：着色陽極酸化塗装複合皮膜
- DP ：耐候性塗料
- SOP：合成樹脂調合ペイント

特記事項

- 建具の製作にあたっては、現場実測及び調査に基づき行うこと。
- 金物は全て監督職員の承認を得た物を使用すること。
- 建具金物は特記なき限りステンレスとする。
- クレセントの高さはＦＬ＋１，５００以下とする。
- （特防）：特定防火設備
- （ 防 ）：防火設備
- 外部に面するガラリ取付ヶ所にはステンレス防虫網取付けとする。
- 丁番はステンレス製とする。
- 建具撤去は、既存躯体（床）カッター切の上はつり取り。無収縮モルタルにて復旧。
- 建具廻りはシーリング（WS-2）打とする。
- アルミパネルは建具同様の仕上とする。
- FIX扉枠は、最小寸法とする。
- 両開き扉枠には、フランス落し設置のこと。
- スチール枠

- 屋外に面する建具　開口率３０％程度
  形状

- 室内の建具　開口率４０％程度
  形状

- 面取りの形状は次の通りとする。

Ⓐ ステンレス t=2.0 HL

Ⓑ ステンレス t=2.0 HL

Ⓒ ステンレス t=2.0 HL

Ⓓ 見切縁（ステンレス製 HL）
FB－38x3面取・ビス止め

Ⓔ ステンレス t=2.0 HL

Ⓢ シリンダー本締錠
Ⓗ ホテル錠
Ⓓ 電気錠

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前　建具表	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100

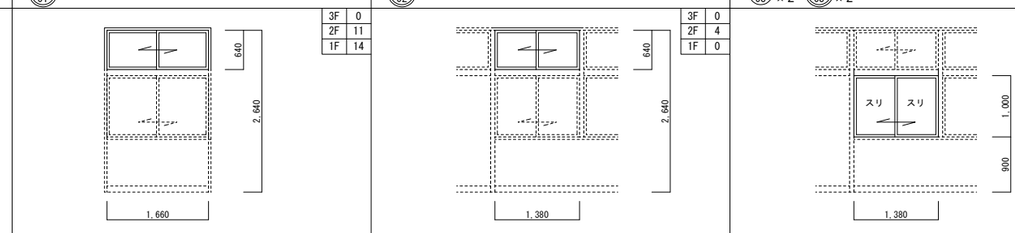
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　A－34

記号	数量	3F	2F	1F
W 01	25ヶ所	0	11	14
W 02	4ヶ所	0	4	0
W 03 ×2 / W 03 ×2	4ヶ所	0	4	0
W 04	2ヶ所	0	2	0
W 05	2ヶ所	0	1	1
W 06	1ヶ所	0	1	0

姿図 寸法



	W 01	W 02	W 03 / W 03	W 04	W 05	W 06
材質 型状	木製 / ランマ（引違い窓）	木製 / ランマ（引違い窓）付引違い窓	木製 / ランマ（引違い窓）付引違い窓	木製 / 引違い窓	木製 / ランマ(はめ殺し)	木製 / ランマ(はめ殺し)
仕上 見込	—	—	—	—	—	FP
ガラス	透明 t=5	透明 t=5	スリ t=3	スリ t=3	透明 t=5	—
備考						

符号凡例

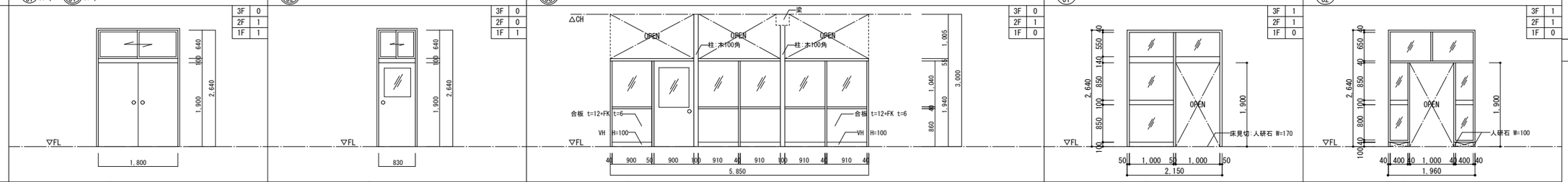
SSD：ステンレス製扉
SD ：鋼製窓
SW ：鋼製窓
SG ：鋼製ガラリ
SS ：鋼製シャッター
LSS：鋼製軽量シャッター
LSD：軽量鋼製扉
AD ：アルミ製扉
AW ：アルミ製窓
AG ：アルミ製ガラリ
SP ：鋼製パーティション
SPW：鋼製パーティション（窓）
SPD：鋼製パーティション（扉）
TB ：トイレブース
P ：パーティション

仕上凡例

ステンレス
SUS：ステンレス
ML ：鏡面
DR ：ダル
HL ：ヘアーライン
アルミ（JIS Z 8002）
A－1：無着色陽極酸化皮膜
A－2：着色陽極酸化皮膜
B－1：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
B－2：着色陽極酸化塗装複合皮膜
DP ：耐候性塗料
SOP：合成樹脂調合ペイント

記号	数量	3F	2F	1F
DW 01 ×1 / DW 01 ×1	2ヶ所	0	1	1
DW 02	1ヶ所	0	0	1
DW 03	1ヶ所	0	1	0
WF 01	2ヶ所	1	1	0
WF 02	2ヶ所	1	1	0

姿図 寸法



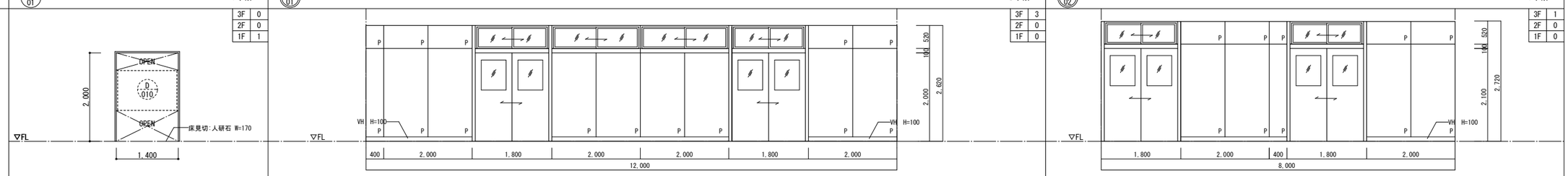
	DW 01	DW 02	DW 03	WF 01	WF 02
材質 型状	木製 / ランマ（引違い窓）付両開き戸	木製 / ランマ（引違い窓）付片開き戸	木製 / 片開き戸付間仕切	木製 / ガラス間仕切	木製 / ガラス間仕切
仕上 見込	FP	FP	FP	FP 見込:170	FP 見込:100
ガラス	透明 t=5	透明 t=5	型板 t=4	型板 t=4	型板 t=4
備考	2階：暗幕ボックス付			—	—

特記事項

・建具の製作にあたっては、現場実測及び調査に基づき行うこと。
・金物は全て監督職員の承認を得た物を使用すること。
・建具金物は特記なき限りステンレスとする。
・クレセントの高さは、FL+1,500以下とする。
・（特防）：特定防火設備
・（防 ）：防火設備
・外部に面するガラリ取付ヶ所にはステンレス防虫網取付けとする。
・丁番はステンレス製とする。
・建具撤去は、既存躯体（床）カッター切の上はつり取り。
無収縮モルタルにて復旧。
・建具廻りはシーリング（MS-2）打とする。
・アルミパネルは建具同様の仕上とする。
・FIX額枠は、最小寸法とする。
・両開き扉枠には、フランス落し設置のこと。
・建具撤去は、額縁共とする。

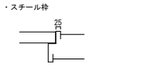
記号	数量	3F	2F	1F
SSF 01	1ヶ所	0	0	1
SPT 01	3ヶ所	3	0	0
SPT 02	1ヶ所	1	0	0

姿図 寸法



	SSF 01	SPT 01	SPT 02
材質 型状	ステンレス製 / 三方枠	スチール製 / 引違い戸およびランマ（引違い窓）付パーティション	スチール製 / 引違い戸およびランマ（引違い窓）付パーティション
仕上 見込	HL 見込:170	—	—
ガラス	—	透明 t=5	透明 t=5
備考		—	—

・スチール枠



・屋外に面する建具 開口率３０％程度形状

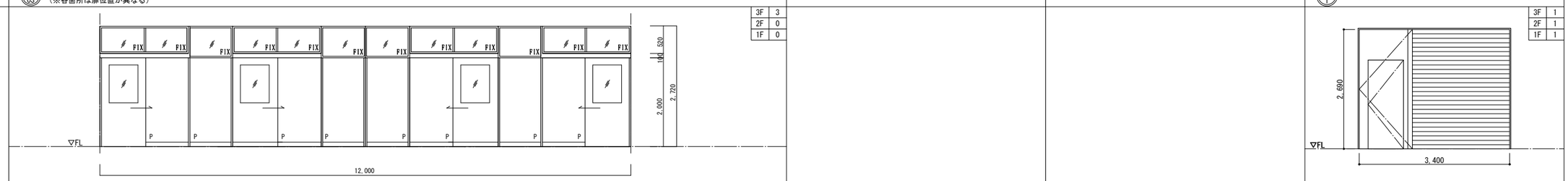
・室内の建具 開口率４０％程度形状

・容摺りの形状は次の通りとする。

Ⓐ ステンレス t=2.0 HL
Ⓑ ステンレス t=2.0 HL
Ⓒ ステンレス t=2.0 HL
Ⓓ 見切縁（ステンレス製 HL）FB－38x3面取・ビス止め
Ⓔ ステンレス t=2.0 HL
シ シリンダー本締錠
ホ ホテル錠
デ 電気錠

記号	数量	3F	2F	1F
SPT 03 （※各箇所は扉位置が異なる）	3ヶ所	3	0	0
SS 1 特定防火設備	3ヶ所	1	1	1

姿図 寸法



	SPT 03	SS 1
材質 型状	スチール製 / 片引き戸およびランマ（FIX窓）付パーティション	鋼製 / 電動重量防火防煙シャッター（内部）
仕上 見込	見込:80	溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP
ガラス	透明 t=5	—
備考	—	

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修前 建具表	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100

株式会社 綜企画設計 福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治

独立行政法人 国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

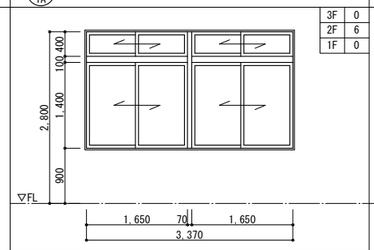
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号 A－35

AW 1A　6ヶ所

	3F	2F	1F
	0	6	0

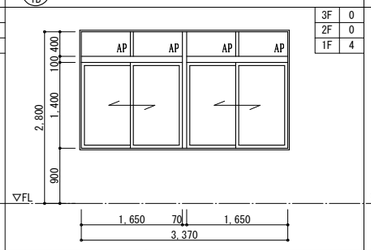
姿図 寸法



材質　型状	アルミ製　引違い欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事）

AW 1B　4ヶ所

	3F	2F	1F
	0	0	4

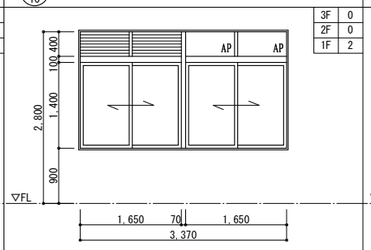


材質　型状	アルミ製　パネル欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

アルミパネル開口	φ100	φ150	φ270	φ320	□300
3F					
2F					
1F	2	0	2	1	3

AW 1C　2ヶ所

	3F	2F	1F
	0	0	2

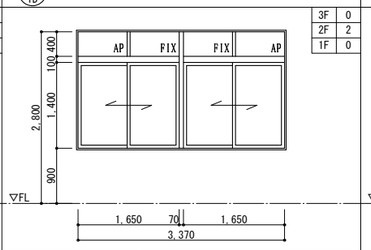


材質　型状	アルミ製　パネル、ガラリ欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

アルミパネル開口	φ100	φ150	φ270	φ320	□300
3F					
2F					
1F	3	0	1	1	1

AW 1D　2ヶ所

	3F	2F	1F
	0	2	0

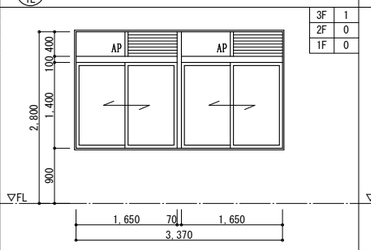


材質　型状	アルミ製　パネル欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

アルミパネル開口	φ100	φ150	φ200
3F			
2F	3	4	
1F			

AW 1E　1ヶ所

	3F	2F	1F
	1	0	0

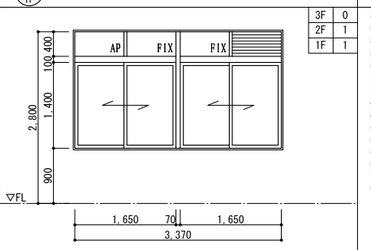


材質　型状	アルミ製　パネル、ガラリ欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	型板ｶﾞﾗｽ t=4
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

アルミパネル開口	φ100	φ150	φ200
3F		2	
2F			
1F			

AW 1F　2ヶ所

	3F	2F	1F
	0	1	1



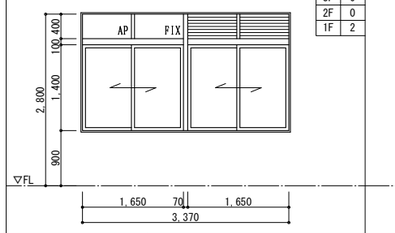
材質　型状	アルミ製　パネル、ガラリ欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	型板ｶﾞﾗｽ t=4
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

アルミパネル開口	φ100	φ150	φ200
3F			
2F	1		1
1F	1		1

AW 1G　2ヶ所

	3F	2F	1F
	0	0	2

姿図 寸法

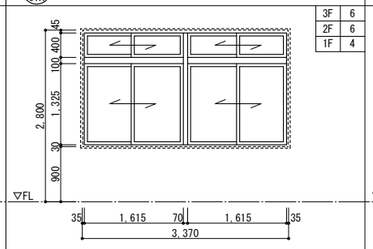


材質　型状	アルミ製　パネル、ガラリ欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

アルミパネル開口	φ100	φ150	□300
3F			
2F			
1F	0	1	1

AW C1A　カバー工法　16ヶ所

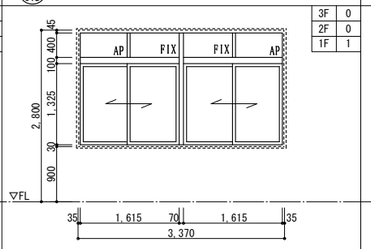
	3F	2F	1F
	6	6	4



材質　型状	アルミ製　引違い欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事）

AW C1D　カバー工法　1ヶ所

	3F	2F	1F
	0	0	1



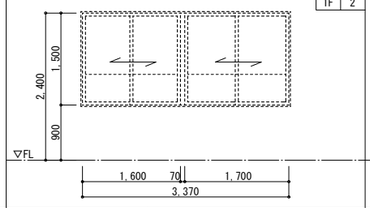
材質　型状	アルミ製　パネル欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

アルミパネル開口	φ100	φ150	φ200
3F			
2F			
1F	1	2	

AW 2A　建具清掃　10ヶ所

	3F	2F	1F
	2	6	2

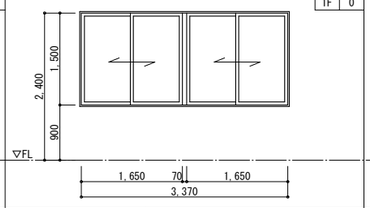
姿図 寸法



材質　型状	アルミ製　引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事）

AW 2B　2ヶ所

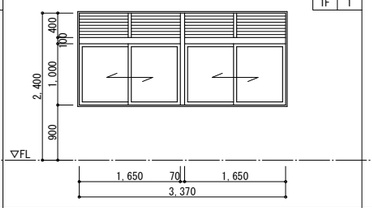
	3F	2F	1F
	0	2	0



材質　型状	アルミ製　引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	複層ガラス(ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事）

AW 2C　1ヶ所

	3F	2F	1F
	0	0	1

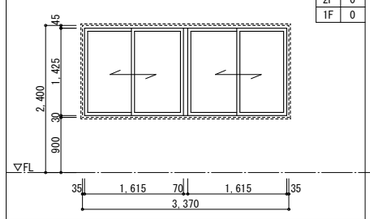


材質　型状	アルミ製　ガラリ欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種　枠見込み:70
ガラス	複層ガラス(ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事）

AW 02B　カバー工法　2ヶ所

	3F	2F	1F
	2	0	0

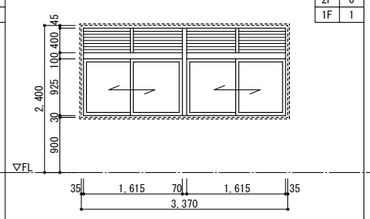
姿図 寸法



材質　型状	アルミ製　引違い窓
仕上　見込	B－２種
ガラス	複層ガラス(ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事）

AW 02C　カバー工法　1ヶ所

	3F	2F	1F
	0	0	1



材質　型状	アルミ製　ガラリ欄間付引違い窓
仕上　見込	B－２種
ガラス	複層ガラス(ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備　考	網戸（別途工事）

符号凡例

SSD：ステンレス製扉
SD　：鋼製扉
SW　：鋼製窓
SG　：鋼製ガラリ
SS　：鋼製シャッター
LSS：鋼製軽量シャッター
LSD：軽量鋼製扉
AD　：アルミ製扉
AW　：アルミ製窓
AG　：アルミ製ガラリ
SP　：鋼製パーティション
SPW：鋼製パーティション（窓）
SPD：鋼製パーティション（扉）
TB　：トイレブース
P　　：パーティション

仕上凡例

ステンレス
SUS：ステンレス
ML　：鏡面
DR　：ダル
HL　：ヘアーライン
アルミ（JIS Z 8002）
A－1：無着色陽極酸化皮膜
A－2：着色陽極酸化皮膜
B－1：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
B－2：着色陽極酸化塗装複合皮膜
DP　：耐候性塗料
SOP：合成樹脂調合ペイント

特記事項

・建具の製作にあたっては、現場実測及び調査に基づき行うこと。
・金物は全て監督職員の承認を得た物を使用すること。
・建具金物は特記なき限りステンレスとする。
・クレセントの高さはＦＬ＋１,５００以下とする。
・（特防）：特定防火設備
・（防）：防火設備
・外部に面するガラリ取付ヶ所にはステンレス防虫網取付けとする。
・丁番はステンレス製とする。
・建具撤去は、既存躯体カッター切の上はつり取り。無収縮モルタルにて復旧。
・建具廻りはシーリング（MS-2）打とする。
・アルミパネルは建具同様の仕上とする。
・FIX扉枠は、最小寸法とする。
・両開き扉枠には、フランス落し設置のこと。
・スチール枠

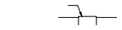
・屋外に面する建具　開口率３０％程度形状

・室内の建具　開口率４０％程度形状

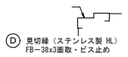
・面取りの形状は次の通りとする。

Ⓐ ステンレス t=2.0 HL

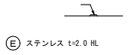
Ⓑ ステンレス t=2.0 HL



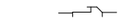
Ⓒ ステンレス t=2.0 HL



Ⓓ 見切縁（ステンレス製 HL）FB－38X3面取・ビス止め



Ⓔ ステンレス t=2.0 HL



Ⓢ シリンダー本締錠
Ⓗ ホテル錠
Ⓓ 電気錠

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　建具表（１）	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

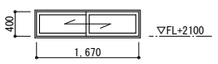
独立行政法人　国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　A－36

AW 3 — 1ヶ所

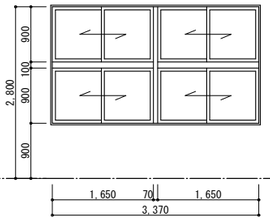
3F	0
2F	0
1F	1



材質 型状	アルミ製 / 引違い窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備 考	網戸（別途工事）

AW 4 — 2ヶ所

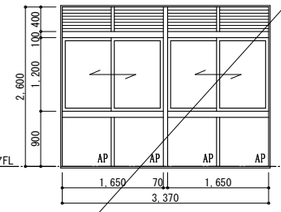
3F	1
2F	1
1F	0



材質 型状	アルミ製 / 欄間付引違い窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り
備 考	網戸（別途工事）

AW 5 — 1ヶ所

3F	0
2F	0
1F	1



材質 型状	アルミ製 / ガラリ欄間、下段パネル付引違い窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁、アルミ水切り ダクト接続用金物
備 考	網戸（別途工事） AP：ｱﾙﾐ製複合板(断熱)t=18（ｱﾙﾐ複合板t=3+発泡ｽﾁﾛｰﾙt=12+ｱﾙﾐ複合板t=3）

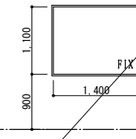
AW 6 — 2ヶ所

RF	2

材質 型状	アルミ製 / ＦＩＸ窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5
建具金物	付属金物一式、アルミ額縁、アルミ水切り
備 考	—

AW 7 — 2ヶ所

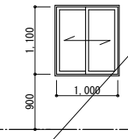
3F	2
2F	0
1F	0



材質 型状	アルミ製 / ＦＩＸ窓（内部）
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5
建具金物	付属金物一式、アルミ額縁
備 考	—

AW 8 — 2ヶ所

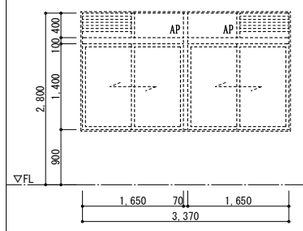
3F	2
2F	0
1F	0



材質 型状	アルミ製 / 引違い窓（内部）
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5
建具金物	付属金物一式、クレセント、アルミ額縁
備 考	—

AW 9A 建具清掃 — 6ヶ所

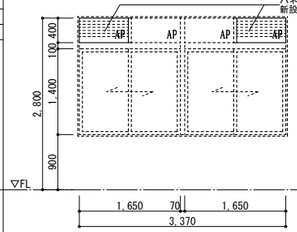
3F	6
2F	0
1F	0



材質 型状	アルミ製 / パネル、ガラリ欄間付引違い窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	—
建具金物	—
備 考	—

AW 9B — 2ヶ所

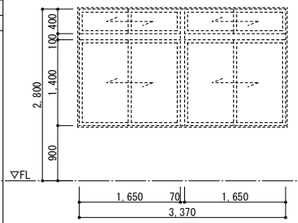
3F	2
2F	0
1F	0



材質 型状	アルミ製 / パネル、ガラリ欄間付引違い窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	
建具金物	アルミパネル開口 φ100 φ150 3F 2 4 2F 1F
備 考	AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ 設備開口が必要な部分の既存ガラリは撤去しアルミパネルで塞ぐ

AW 10 建具清掃 — 3ヶ所

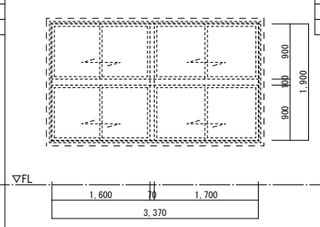
3F	3
2F	0
1F	0



材質 型状	アルミ製 / 引違い欄間付引違い窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	
建具金物	
備 考	AP：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ

AW 11 建具清掃 — 2ヶ所

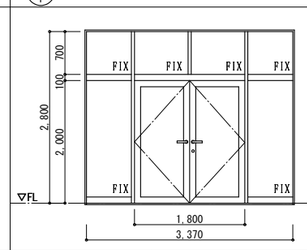
3F	1
2F	1
1F	0



材質 型状	アルミ製 / ２連２段引違い窓
仕上 見込	B－2種 枠見込み:70
ガラス	透明 t=5
建具金物	
備 考	

AD 1 — 1ヶ所

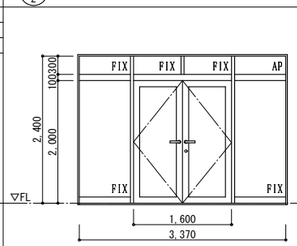
3F	0
2F	0
1F	1



材質 型状	アルミ製 / 欄間、両袖付両開き框戸（外部）
仕上 見込	B－2種
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り
備 考	飛散防止ﾌｨﾙﾑ（ﾗﾝﾏ以外） AP：ｱﾙﾐ製複合板(断熱)t=18（ｱﾙﾐ複合板t=3+発泡ｽﾁﾛｰﾙt=12+ｱﾙﾐ複合板t=3）

AD 2 — 1ヶ所

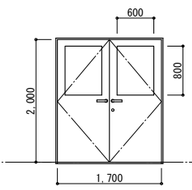
3F	0
2F	0
1F	1



材質 型状	アルミ製 / 欄間、両袖付両開き框戸（外部）
仕上 見込	B－2種
ガラス	複層ガラス(型板ｶﾞﾗｽ t=4+A6+ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=3)
建具金物	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り アルミパネル開口 φ150 3F 2F 1F 1
備 考	飛散防止ﾌｨﾙﾑ（ﾗﾝﾏ以外） AP：ｱﾙﾐ製複合板(断熱)t=18（ｱﾙﾐ複合板t=3+発泡ｽﾁﾛｰﾙt=12+ｱﾙﾐ複合板t=3）

AD 3 — 1ヶ所

RF	1



材質 型状	アルミ製 / 両開きフラッシュ戸（外部）
仕上 見込	B－2種
ガラス	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5
建具金物	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り、フランス落し、ステンレス沓摺
備 考	—

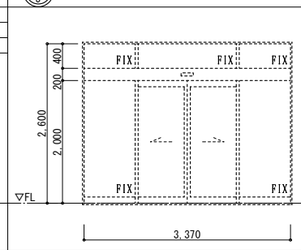
AD 4 — 1ヶ所

RF	1

材質 型状	アルミ製 / 片開きフラッシュ戸（外部）
仕上 見込	B－2種
ガラス	—
建具金物	付属金物一式、ステンレス丁番 ケースハンドル錠、ステンレス沓摺
備 考	—

AD 5 建具清掃 — 2ヶ所

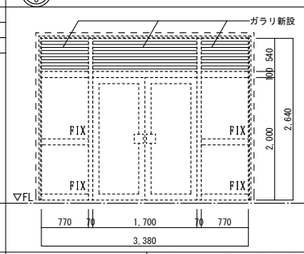
3F	0
2F	1
1F	1



材質 型状	アルミ製 / 欄間、両袖付両開き自動戸（外部）
仕上 見込	—
ガラス	透明 t=5
建具金物	—
備 考	~~2階のみ自動ドアエンジン取替え~~

AD 6 — 1ヶ所

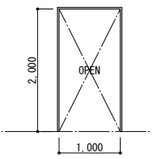
3F	0
2F	0
1F	1



材質 型状	アルミ製 / ガラリ欄間、両袖付両開き戸（外部）
仕上 見込	—
ガラス	透明 t=5
建具金物	
備 考	

SSF 1 — 3ヶ所

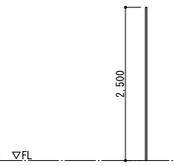
3F	1
2F	1
1F	1



材質 型状	ステンレス製 / 三方枠
仕上 見込	ＨＬ 130
ガラス	—
建具金物	—
備 考	—

SSF 2 — 2ヶ所

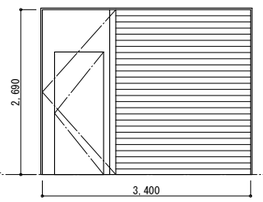
3F	2
2F	0
1F	0



材質 型状	ステンレス製 / 一方枠
仕上 見込	ＨＬ 130
ガラス	—
建具金物	—
備 考	—

SS 1 特定防火設備 ※塗替え — 3ヶ所

3F	1
2F	1
1F	1



材質 型状	鋼製 / 電動重量防火防煙シャッター（内部）
仕上 見込	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ＳＯＰ塗替え
ガラス	—
建具金物	—
備 考	—

符号凡例

- ＳＳＤ：ステンレス製扉
- ＳＤ ：鋼製扉
- ＳＷ ：鋼製窓
- ＳＧ ：鋼製ガラリ
- ＳＳ ：鋼製シャッター
- ＬＳＳ：鋼製軽量シャッター
- ＬＳＤ：軽量鋼製扉
- ＡＤ ：アルミ製扉
- ＡＷ ：アルミ製窓
- ＡＧ ：アルミ製ガラリ
- ＳＰ ：鋼製パーティション
- ＳＰＷ：鋼製パーティション（窓）
- ＳＰＤ：鋼製パーティション（扉）
- ＴＢ ：トイレブース
- Ｐ ：パーティション

仕上凡例

ステンレス
- ＳＵＳ：ステンレス
- ＭＬ ：鏡面
- ＤＲ ：ダル
- ＨＬ ：ヘアーライン

アルミ（JIS Z 8002）
- Ａ－１：無着色陽極酸化皮膜
- Ａ－２：着色陽極酸化皮膜
- Ｂ－１：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
- Ｂ－２：着色陽極酸化塗装複合皮膜
- ＤＰ ：耐候性塗料
- ＳＯＰ：合成樹脂調合ペイント

特記事項

- 建具の製作にあたっては、現場実測及び調査に基づき行うこと。
- 金物は全て監督職員の承認を得た物を使用すること。
- 建具金物は特記なき限りステンレスとする。
- クレセントの高さはＦＬ＋１,５００以下とする。
- （特防）：特定防火設備
- （ 防 ）：防火設備
- 外部に面するガラリ取付ヶ所にはステンレス防虫網取付けとする。
- 丁番はステンレス製とする。
- 建具撤去は、既存躯体カッター切の上はつり取り。無収縮モルタルにて復旧。
- 建具廻りはシーリング（MS-2）打とする。
- アルミパネルは建具同様の仕上とする。
- FIX扉枠は、最小寸法とする。
- 両開き扉枠には、フランス落し設置のこと。
- スチール枠

- 屋外に面する建具 開口率３０％程度 形状

- 室内の建具 開口率４０％程度 形状

- 召摺りの形状は次の通りとする。

Ⓐ ステンレス t=2.0 HL

Ⓑ ステンレス t=2.0 HL

Ⓒ ステンレス t=2.0 HL

Ⓓ 見切縁（ステンレス製 HL）FB－38x3面取・ビス止め

Ⓔ ステンレス t=2.0 HL

Ⓢ シリンダー本締錠
Ⓗ ホテル錠
Ⓔ 電気錠

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後 建具表（２）	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100

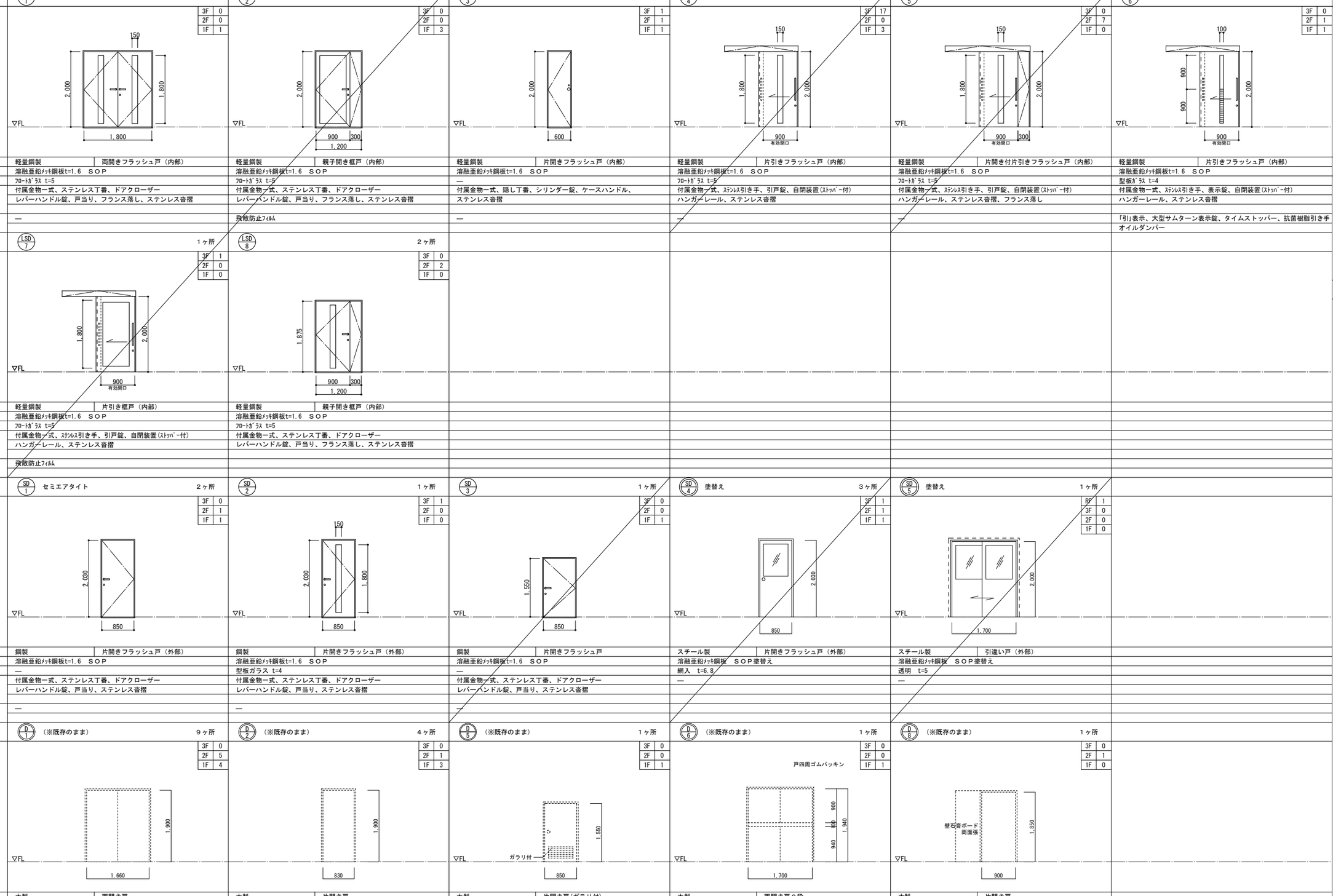
株式会社 綜企画設計 福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治

独立行政法人 国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号 A－37

記号	数量	材質 型状	仕上 見込	ガラス	建具金物	備考
LSD 1	1ヶ所 (3F 0, 2F 0, 1F 1)	軽量鋼製 / 両開きフラッシュ戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り、フランス落し、ステンレス沓摺	—
LSD 2	3ヶ所 (3F 0, 2F 0, 1F 3)	軽量鋼製 / 親子開き框戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り、フランス落し、ステンレス沓摺	飛散防止ﾌｨﾙﾑ
LSD 3	3ヶ所 (3F 1, 2F 1, 1F 1)	軽量鋼製 / 片開きフラッシュ戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	—	付属金物一式、隠し丁番、シリンダー錠、ケースハンドル、 ステンレス沓摺	—
LSD 4	20ヶ所 (3F 17, 2F 0, 1F 3)	軽量鋼製 / 片引きフラッシュ戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5	付属金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引き手、引戸錠、自閉装置(ｽﾄｯﾊﾟｰ付) ハンガーレール、ステンレス沓摺	—
LSD 5	7ヶ所 (3F 0, 2F 7, 1F 0)	軽量鋼製 / 片開き付片引きフラッシュ戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5	付属金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引き手、引戸錠、自閉装置(ｽﾄｯﾊﾟｰ付) ハンガーレール、ステンレス沓摺、フランス落し	—
LSD 6	2ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 1)	軽量鋼製 / 片引きフラッシュ戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	型板ｶﾞﾗｽ t=4	付属金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引き手、表示錠、自閉装置(ｽﾄｯﾊﾟｰ付) ハンガーレール、ステンレス沓摺	「引」表示、大型サムターン表示錠、タイムストッパー、抗菌樹脂引き手 オイルダンパー
LSD 7	1ヶ所 (3F 1, 2F 0, 1F 0)	軽量鋼製 / 片引き框戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5	付属金物一式、ｽﾃﾝﾚｽ引き手、引戸錠、自閉装置(ｽﾄｯﾊﾟｰ付) ハンガーレール、ステンレス沓摺	飛散防止ﾌｨﾙﾑ
LSD 8	2ヶ所 (3F 0, 2F 2, 1F 0)	軽量鋼製 / 親子開き框戸（内部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	ﾌﾛｰﾄｶﾞﾗｽ t=5	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り、フランス落し、ステンレス沓摺	飛散防止ﾌｨﾙﾑ
SD 1 セミエアタイト	2ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 1)	鋼製 / 片開きフラッシュ戸（外部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	—	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り、ステンレス沓摺	—
SD 2	1ヶ所 (3F 1, 2F 0, 1F 0)	鋼製 / 片開きフラッシュ戸（外部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	型板ガラス t=4	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り、ステンレス沓摺	—
SD 3	1ヶ所 (3F 0, 2F 0, 1F 1)	鋼製 / 片開きフラッシュ戸	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板t=1.6 ＳＯＰ	—	付属金物一式、ステンレス丁番、ドアクローザー レバーハンドル錠、戸当り、ステンレス沓摺	—
SD 4 塗替え	3ヶ所 (3F 1, 2F 1, 1F 1)	スチール製 / 片開きフラッシュ戸（外部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ＳＯＰ塗替え	網入 t=6.8	—	
SD 5 塗替え	1ヶ所 (RF 1, 3F 0, 2F 0, 1F 0)	スチール製 / 引違い戸（外部）	溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ＳＯＰ塗替え	透明 t=5	—	
D 1 （※既存のまま）	9ヶ所 (3F 0, 2F 5, 1F 4)	木製 / 両開き戸	FP	—	—	
D 2 （※既存のまま）	4ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 3)	木製 / 片開き戸	FP	—	—	
D 5 （※既存のまま）	1ヶ所 (3F 0, 2F 0, 1F 1)	木製 / 片開き戸(ガラリ付)	FP	—	—	
D 6 （※既存のまま）	1ヶ所 (3F 0, 2F 0, 1F 1)	木製 / 両開き戸２段	FP	—	—	
D 8 （※既存のまま）	1ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 0)	木製 / 片開き戸	FP	—	—	



符号凡例

- ＳＳＤ：ステンレス製扉
- ＳＤ　：鋼製扉
- ＳＷ　：鋼製窓
- ＳＧ　：鋼製ガラリ
- ＳＳ　：鋼製シャッター
- ＬＳＳ：鋼製軽量シャッター
- ＬＳＤ：軽量鋼製扉
- ＡＤ　：アルミ製扉
- ＡＷ　：アルミ製窓
- ＡＧ　：アルミ製ガラリ
- ＳＰ　：鋼製パーティション
- ＳＰＷ：鋼製パーティション（窓）
- ＳＰＤ：鋼製パーティション（扉）
- ＴＢ　：トイレブース
- Ｐ　　：パーティション

仕上凡例

ステンレス
- ＳＵＳ：ステンレス
- ＭＬ　：鏡面
- ＤＲ　：ダル
- ＨＬ　：ヘアーライン

アルミ（JIS Z 8002）
- Ａ－１：無着色陽極酸化皮膜
- Ａ－２：着色陽極酸化皮膜
- Ｂ－１：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
- Ｂ－２：着色陽極酸化塗装複合皮膜
- ＤＰ　：耐候性塗料
- ＳＯＰ：合成樹脂調合ペイント

特記事項

- 建具の製作にあたっては、現場実測及び調査に基づき行うこと。
- 金物は全て監督職員の承認を得た物を使用すること。
- 建具金物は特記なき限りステンレスとする。
- クレセントの高さはＦＬ＋１,５００以下とする。
- （特防）：特定防火設備
- （ 防 ）：防火設備
- 外部に面するガラリ取付ヶ所にはステンレス防虫網取付けとする。
- 丁番はステンレス製とする。
- 建具撤去は、既存躯体（床）カッター切の上はつり取り。無収縮モルタルにて復旧。
- 建具廻りはシーリング（MS-2）打とする。
- アルミパネルは建具同様の仕上とする。
- FIX廻枠は、最小寸法とする。
- 両開き扉枠には、フランス落し設置のこと。
- スチール枠

- 屋外に面する建具　開口率３０％程度
  形状

- 室内の建具　開口率４０％程度
  形状

- 沓摺りの形状は次の通りとする。

Ⓐ ステンレス t=2.0 HL

Ⓑ ステンレス t=2.0 HL

Ⓒ ステンレス t=2.0 HL

Ⓓ 見切縁（ステンレス製 HL）
FB－38x3面取・ビス止め

Ⓔ ステンレス t=2.0 HL

Ⓢ シリンダー本締錠
Ⓗ ホテル錠
Ⓔ 電気錠

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　建具表（３）	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100

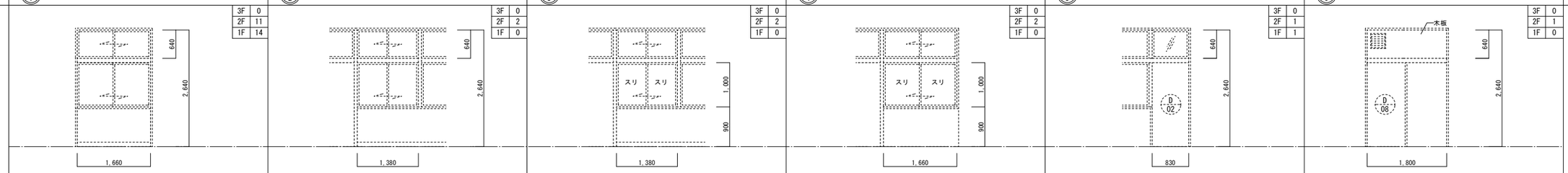
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

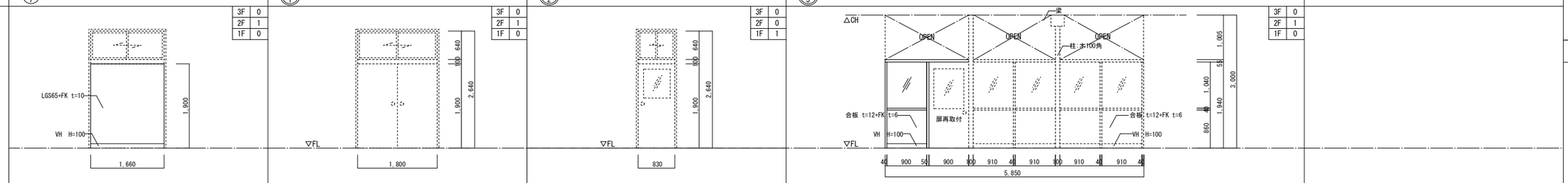
独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

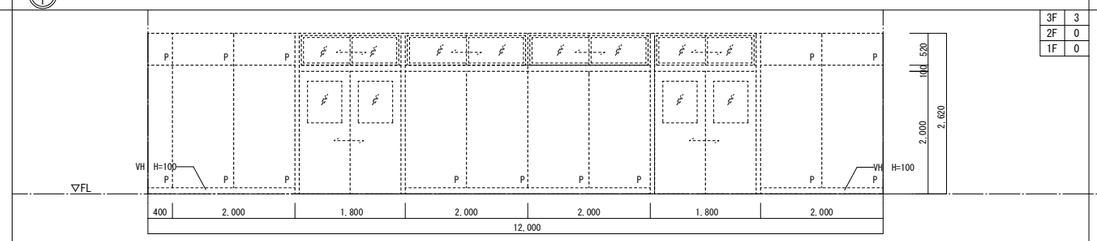
図面番号：Ａ－３８

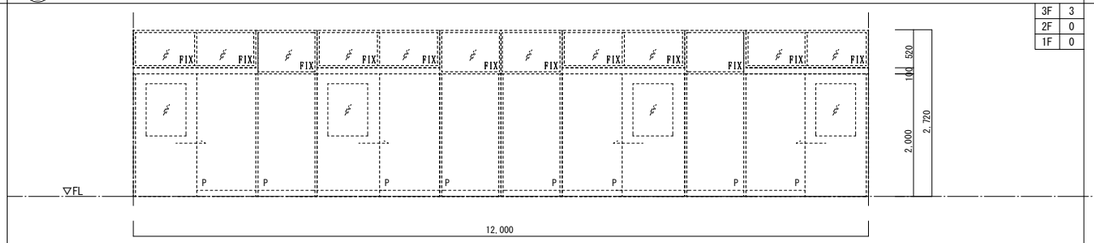
記号	数量	材質	型状	仕上	見込	ガラス	建具金物	備考
W1	（※既存のまま） 25ヶ所 (3F 0, 2F 11, 1F 14)	木製	ランマ（引違い窓）	—		透明 t=5		
W2	（※既存のまま） 2ヶ所 (3F 0, 2F 2, 1F 0)	木製	ランマ（引違い窓）付引違い窓	—		透明 t=5		
W3	（※既存のまま） 2ヶ所 (3F 0, 2F 2, 1F 0)	木製	ランマ（引違い窓）付引違い窓	—		スリ t=3		
W4	（※既存のまま） 2ヶ所 (3F 0, 2F 2, 1F 0)	木製	引違い窓	—		スリ t=3		
W5	（※既存のまま） 2ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 1)	木製	ランマ(はめ殺し)	—		透明 t=5		
W6	（※既存のまま） 1ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 0)	木製	ランマ(はめ殺し)	FP		—		
W7	1ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 0)	木製	腰壁	—		—		
DW1	（※既存のまま） 1ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 0)	木製	ランマ（引違い窓）付両開き戸	FP		透明 t=5		暗幕ボックス付
DW2	（※既存のまま） 1ヶ所 (3F 0, 2F 0, 1F 1)	木製	ランマ（引違い窓）付片開き戸	FP		透明 t=5		
DW3	※一部改修、扉再取付 1ヶ所 (3F 0, 2F 1, 1F 0)	木製	片開き戸付間仕切	SOP		型板 t=4		
SPT1	（※既存のまま） 3ヶ所 (3F 3, 2F 0, 1F 0)	スチール製	引違い戸およびランマ（引違い窓）付パーティション	—		透明 t=5	—	
SPT2	（※既存のまま） 1ヶ所 (3F 1, 2F 0, 1F 0)	スチール製	引違い戸およびランマ（引違い窓）付パーティション	—		透明 t=5	—	
SPT3	（※既存のまま） 3ヶ所 (3F 3, 2F 0, 1F 0)	スチール製	片引き戸およびランマ（FIX窓）付パーティション	見込:80		透明 t=5	—	※各箇所は扉位置が異なる

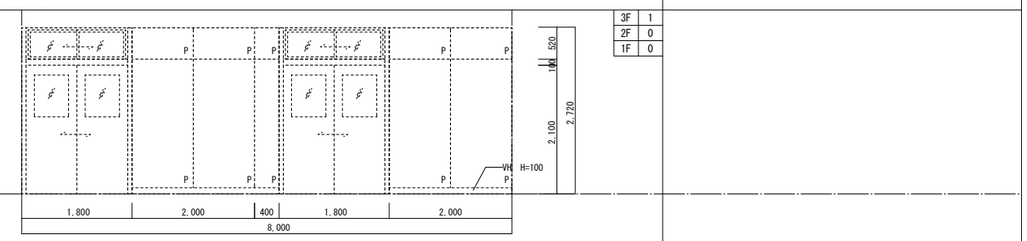
姿図 寸法











符号凡例

SSD：ステンレス製扉
SD ：鋼製扉
SW ：鋼製窓
SG ：鋼製ガラリ
SS ：鋼製シャッター
LSS：鋼製軽量シャッター
LSD：軽量鋼製扉
AD ：アルミ製扉
AW ：アルミ製窓
AG ：アルミ製ガラリ
SP ：鋼製パーティション
SPW：鋼製パーティション（窓）
SPD：鋼製パーティション（扉）
TB ：トイレブース
P ：パーティション

仕上凡例

ステンレス
SUS：ステンレス
ML ：鏡面
DR ：ダル
HL ：ヘアーライン
アルミ（JIS Z 8002）
A－1：無着色陽極酸化皮膜
A－2：着色陽極酸化皮膜
B－1：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
B－2：着色陽極酸化塗装複合皮膜
DP ：耐候性塗料
SOP：合成樹脂調合ペイント

特記事項

・建具の製作にあたっては、現場実測及び調査に基づき行うこと。
・金物は全て監督職員の承認を得た物を使用すること。
・建具金物は特記なき限りステンレスとする。
・クレセントの高さはＦＬ＋１,５００以下とする。
・（特防）：特定防火設備
・（ 防 ）：防火設備
・外部に面するガラリ取付ヶ所にはステンレス防虫網取付けとする。
・丁番はステンレス製とする。
・建具撤去は、既存躯体（床）カッター切の上はつり取り。無収縮モルタルにて復旧。
・建具廻りはシーリング（MS-2）打とする。
・アルミパネルは建具同様の仕上とする。
・FIX扉枠は、最小寸法とする。
・両開き扉枠には、フランス落し設置のこと。
・スチール枠

・屋外に面する建具　開口率３０％程度
形状

・室内の建具　開口率４０％程度
形状

・容摺りの形状は次の通りとする。

Ⓐ ステンレス t=2.0 HL

Ⓑ ステンレス t=2.0 HL

Ⓒ ステンレス t=2.0 HL

Ⓓ 見切縁（ステンレス製 HL）
FB－38x3面取・ビス止め

Ⓔ ステンレス t=2.0 HL

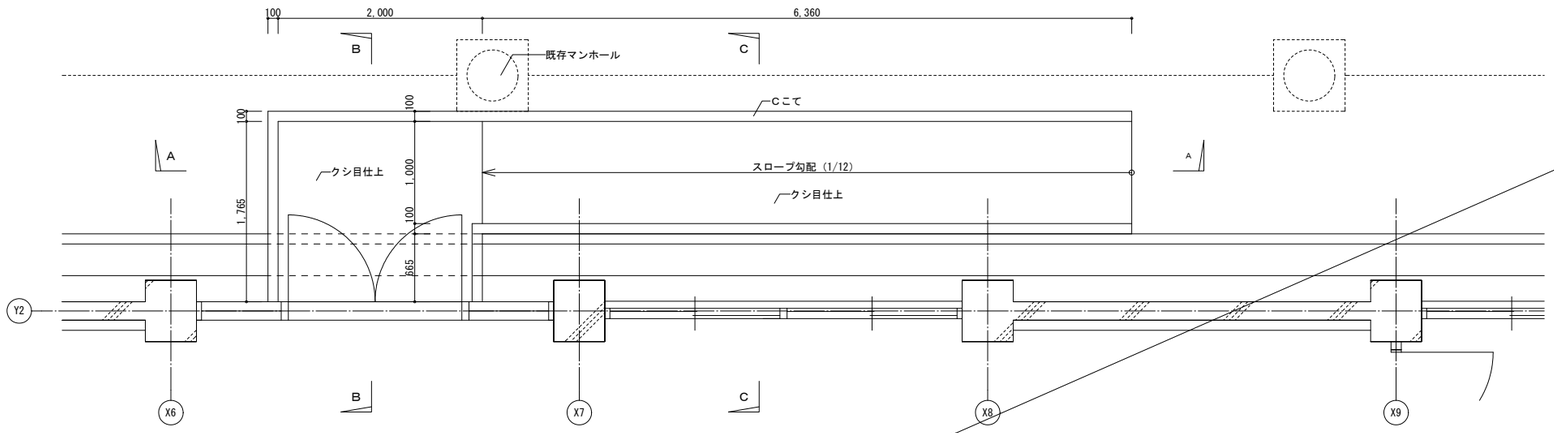
Ⓢ シリンダー本締錠
Ⓗ ホテル錠
Ⓓ 電気錠

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	改修後　建具表（４）	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100

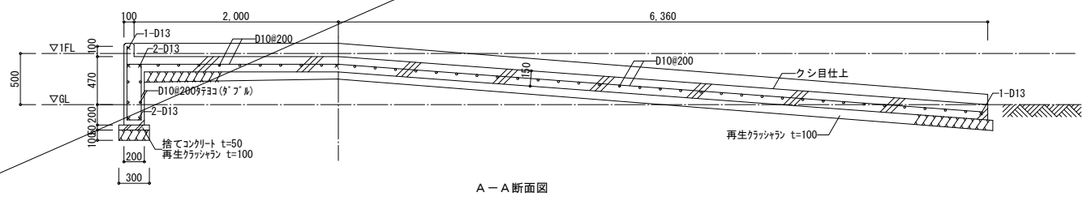
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	A－39

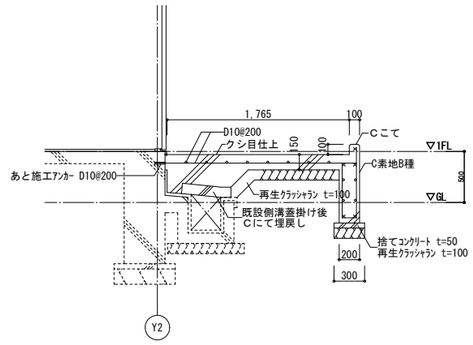
D－1	スロープ　（別途将来工事）	1/30



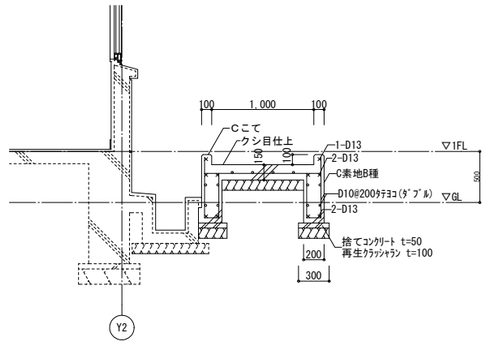
平面図



Ａ－Ａ断面図

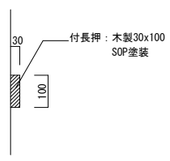


Ｂ－Ｂ断面図



Ｃ－Ｃ断面図

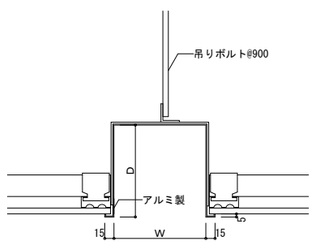
Ｄ－２　付長押　1/10



断面図

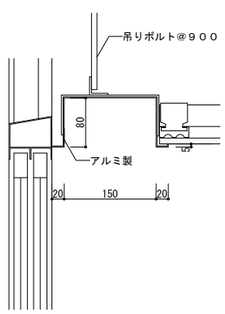
階	部屋名	L	箇所
2	~~教員室(1)~~	~~6,650~~	~~6~~
	~~教員室(2)~~	~~6,650~~	~~6~~
	教員室(3)	6,650	6
	教員室(4)	6,650	6
計		79.8m	

Ｄ－３　スクリーンＢＯＸ　1/5

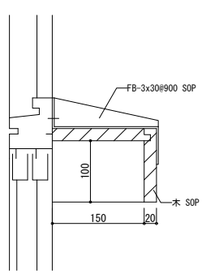


符号	階	W	D	L	箇所
SB-1	1	150	150	2,000	1
SB-2	2	200	200	3,600	1
SB-3	3	150	150	2,000	1

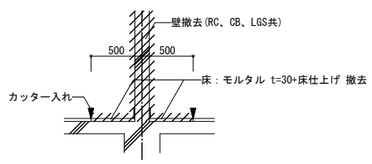
Ｄ－４　ブラインドＢＯＸ　1/10



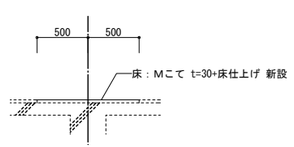
Ｄ－５　暗幕ＢＯＸ　1/10



Ｄ－６　壁撤去・床復旧詳細図　1/30

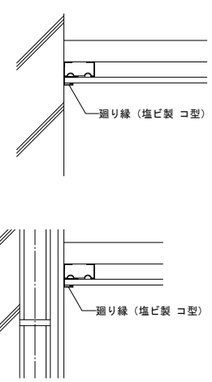


改修前　断面図



改修後　断面図

Ｄ－７　廻り縁　1/5

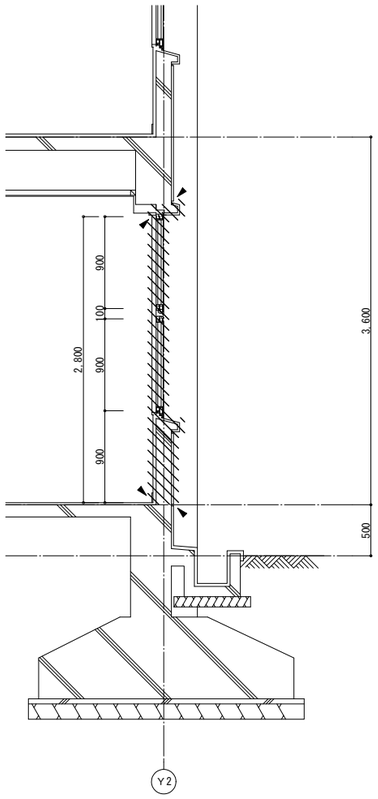


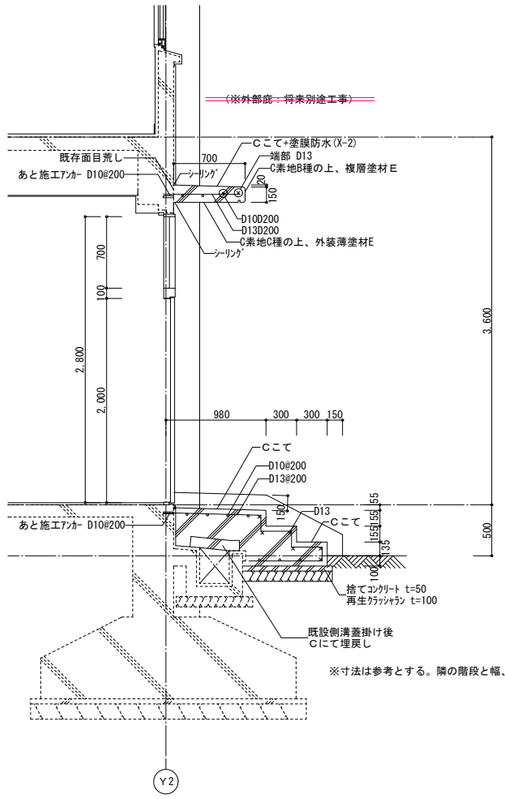
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	部分詳細図（１）	図示

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	Ａ－４０

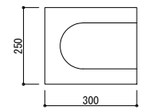
Ｄ－８　庇、階段　1/30



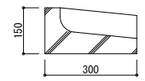


Ｄ－９　樋受石　1/10

※コンクリート製既製品とする。



平面図

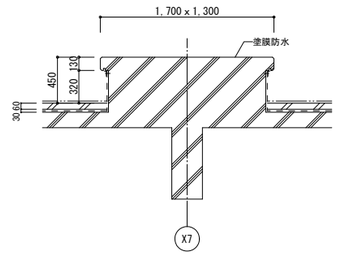


断面図

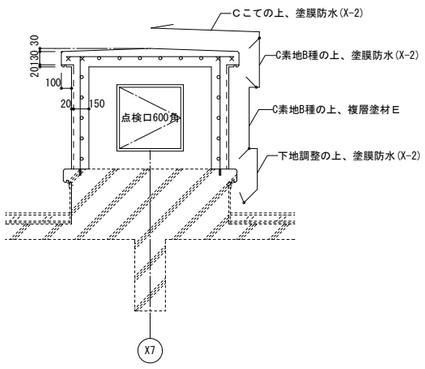
階	箇所
R	1

Ｄ－＊＊　＊＊＊　1/10

Ｄ－１１　ハト小屋　1/３０



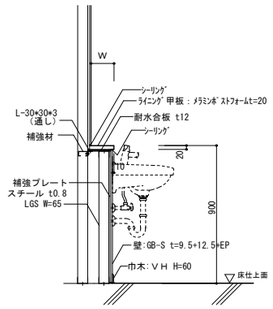
既存ハト小屋詳細図　S=1/30



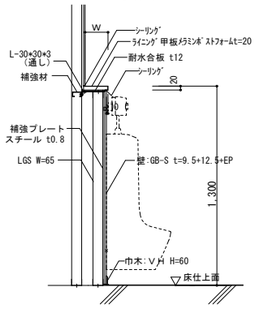
ハト小屋詳細図　S=1/30

Ｄ－１０　ライニング　1/20

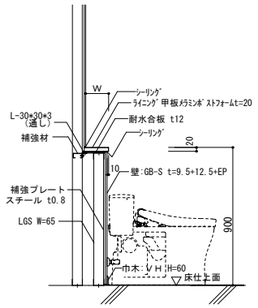
手洗い部



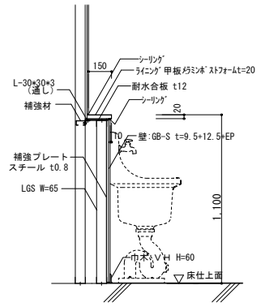
小便器部



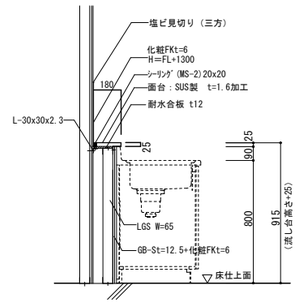
大便器部



ＳＫ部



流し台部



年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	部分詳細図（２）	図示

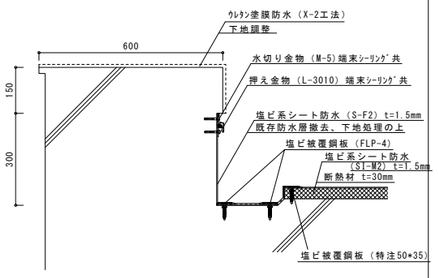
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

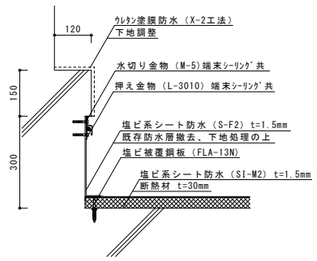
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　Ａ－４１

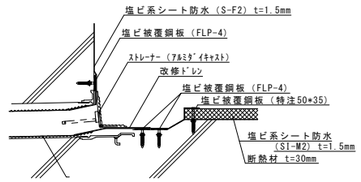
D－１２　屋上　一般部　1/10



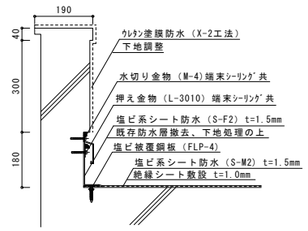
D－１３　屋上　塔屋廻り　1/10



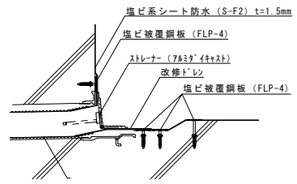
D－１４　屋上　ドレン部　1/10



D－１５　塔屋　一般部　1/10

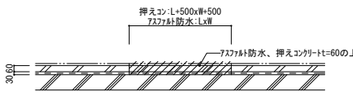


D－１６　塔屋　ドレン部　1/10

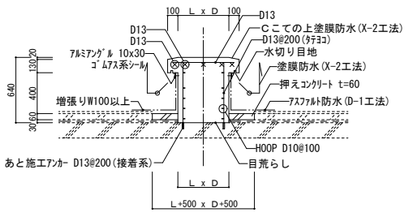


D－１７　屋上設備基礎　1/30

	サイズ（Ｌ×Ｗ×Ｈ）	箇所
基礎Ⓐ	200×600×400	2
基礎Ⓑ	200×800×400	6

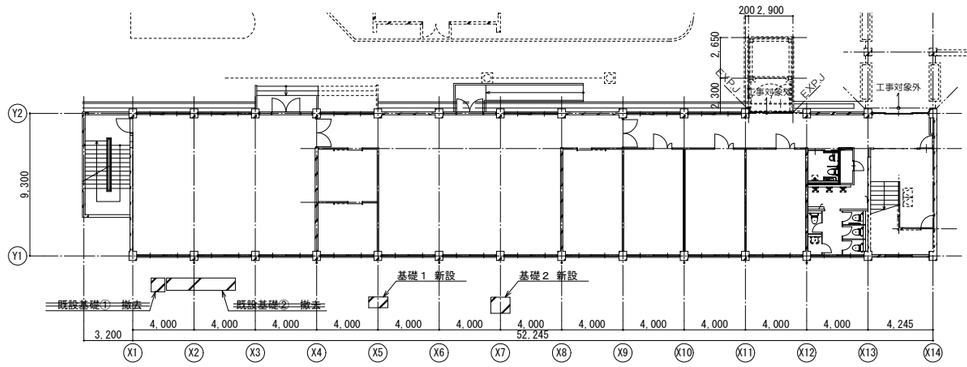


屋根防水撤去詳細図　S=1/30

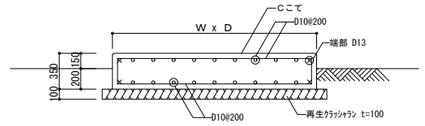


基礎詳細図　S=1/30

D－１８　屋外設備基礎　1/30

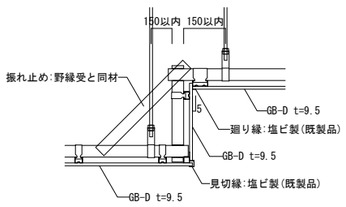


	サイズ（Ｌ×Ｗ×Ｈ）	箇所	備考
~~既設基礎①~~	~~900×　900×150~~	~~1~~	~~撤去~~
~~既設基礎②~~	~~4,500×　800×150~~	~~1~~	~~撤去~~
基礎１	1,250×　750×150	1	新設
基礎２	1,250×1,050×150	1	新設

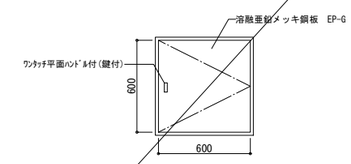


新設コンクリート基礎詳細図　S=1/30

D－１９　下り天井　1/5

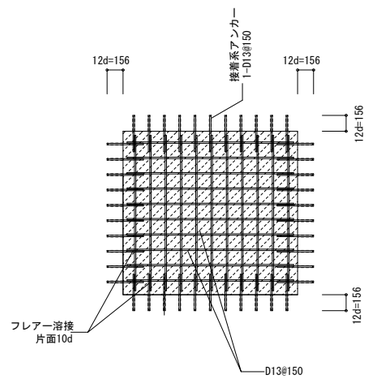


D－＊＊　点検口　1/20

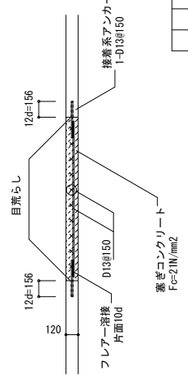


※　既製品タイプとし、指定製作所仕様による。
　　仕様、寸法は参考とする。

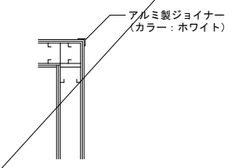
D－２０　スラブ開口補強要領　1/30



既存床開口寸法（Ｘ×Ｙ）	個数			
	１階	２階	３階	合計
2000×2000	1	1	1	3



D－＊＊　壁コーナー見切り詳細図　1/5



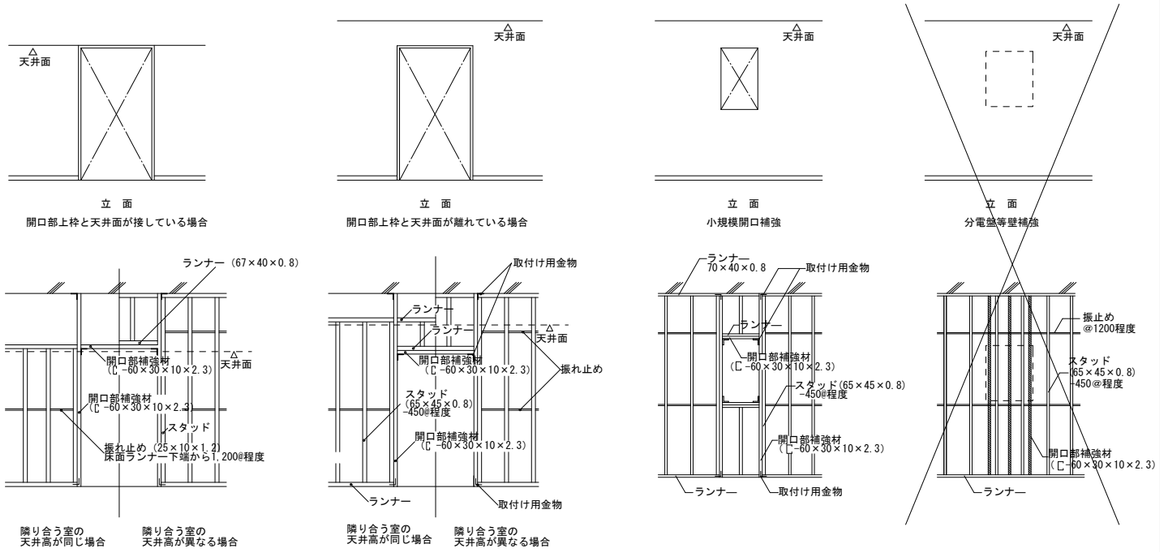
・壁石膏ボードの出隅はアルミジョイナーとする。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	部分詳細図（３）	図示

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
					Ａ－４２

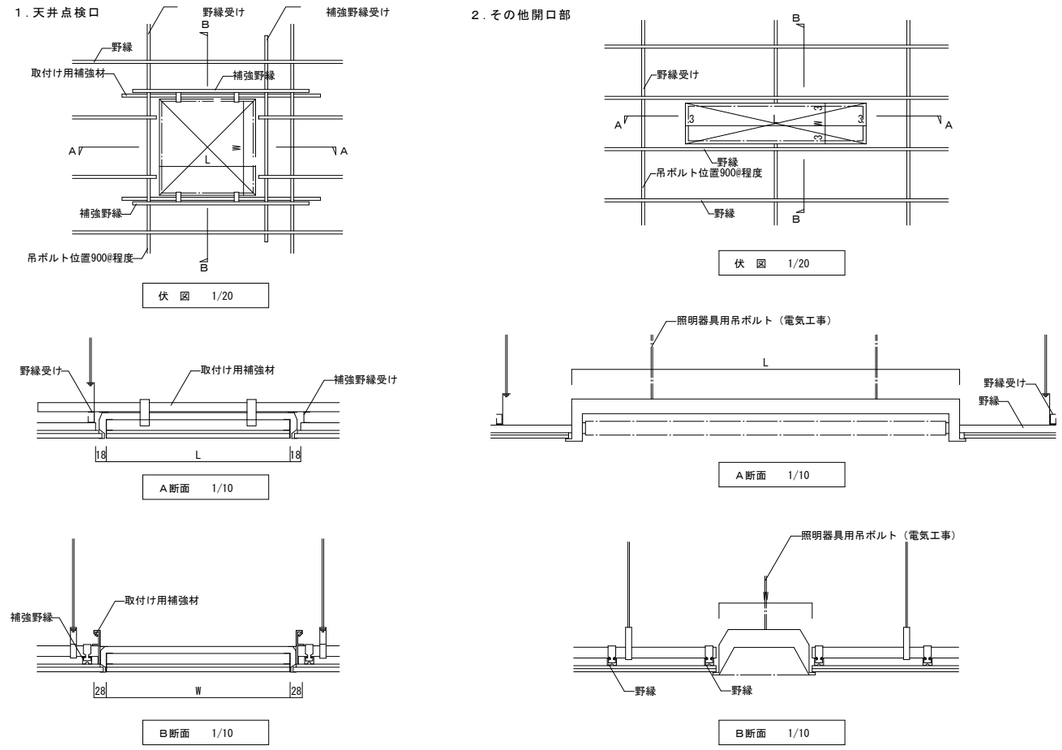
D－２１　軽量鉄骨壁下地開口部補強　1/50



	軽鉄壁開口寸法（LGS65型）	設備開口（箇所）			合計
		１階	２階	３階	
軽鉄壁開口補強リスト	450×400				
	450×450				
	500×450				
	500×500				
	500×1,400	0	0	1	1
	500×1,600	1	1	0	2
	600×1,800	0	1	1	2
	600×2,100	1	0	0	1
	600×2,000				
	1,000×2,000				
	1,200×1,875				
	2,550×1,300				

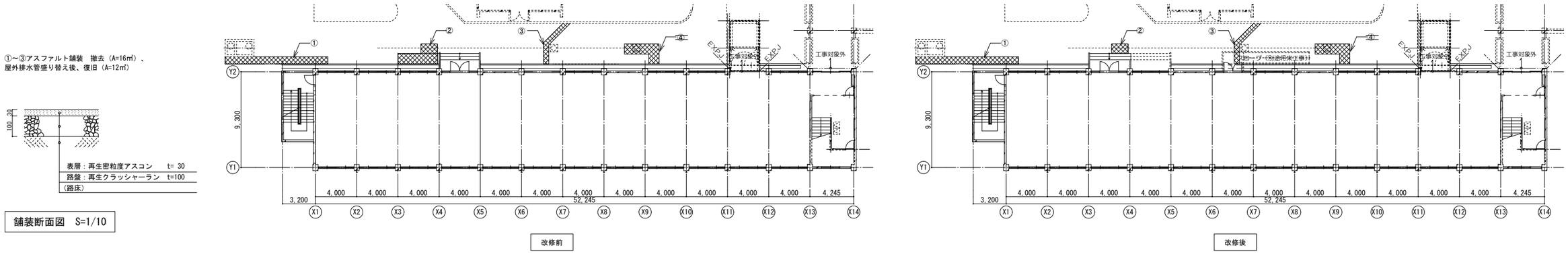
		盤寸法（W×H）	箇所	備考
盤補強リスト				
	１階	1,000×2,150	1	床置型（ボルト固定）
		700×1,950	1	露出壁掛型
	２階	1,000×1,950	1	床置型（ボルト固定）
		1,000× 800	1	露出壁掛型
		1,000× 700	3	露出壁掛型
	３階	1,000×1,950	1	床置型（ボルト固定）

D－２２　天井開口部下地補強　1/20



	名　　称	天井開口寸法	個数			
			１階	２階	３階	合計
天井開口補強リスト	エアコン室内機(天井カセット形２方向)	1,050×510	1	2	2	5
	全熱交換器(天井カセット形)	610×560	0	0	2	2
	全熱交換器(天井カセット形)	400×400	1	2	0	3
	天井扇	300×300	1	2	0	3
	制気口類	300×300	1	1	0	2
	制気口類	200×200	0	0	2	2
	制気口類	150×150	4	3	4	11
	点検口	450×450	2	3	4	9
		600×600	0	0	0	0

D－２３　屋外舗装撤去・復旧　1/200

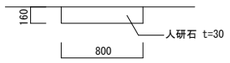


年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	部分詳細図（４）	図示

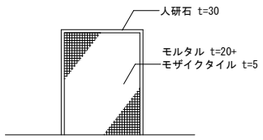
株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	A－４３

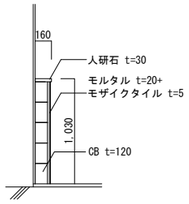
Ｄ－３１　既存ライニング撤去　1/30



平面図



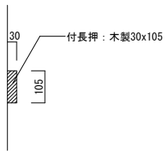
姿図



断面図

符号	階	箇所
L	3	0
	2	3
	1	1

Ｄ－３２　既存付長押撤去　1/10



断面図

符号	階	長さ寸法	備考
W-1	1	5,400	
W-2	1	6,600 + 2,200	
W-3	1	1,400	
W-4	1	4,100	
W-5	1	6,600	
W-6	1	6,600	
W-7	1	3,000	
W-8	1	1,800	
W-9	2	6,600	
W-10	2	4,000	
W-11	2	3,500	
W-12	2	2,850	※梁側面
W-13	2	1,900	
W-14	2	6,600	
W-15	2	6,600	

Ｄ－３３　1/**

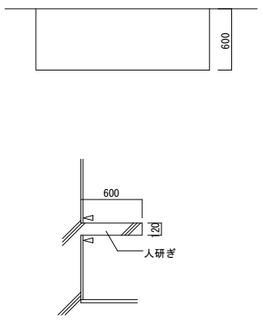
Ｄ－３４　1/**

Ｄ－３５　既存人研台・人研流し等撤去

◁ ：カッター入れを示す（以下共通）　1/30、50、100

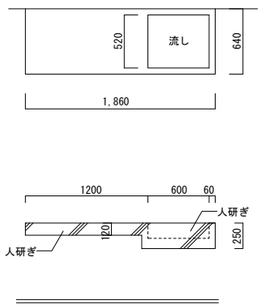
Ａ詳細

T-1 T-2 T-11 T-12 T-13 T-17



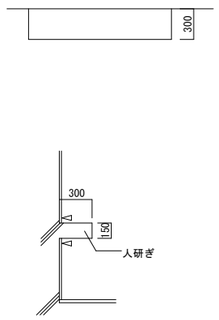
Ｂ詳細

T-3



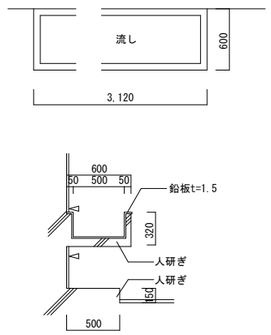
Ｃ詳細

T-4 T-9 T-10



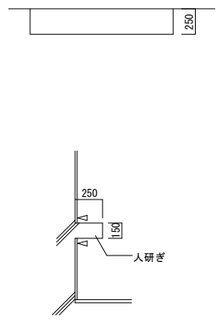
Ｄ詳細

T-5



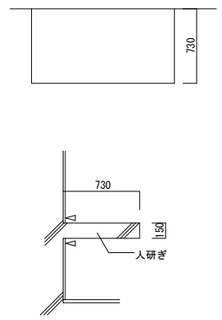
Ｅ詳細

T-6



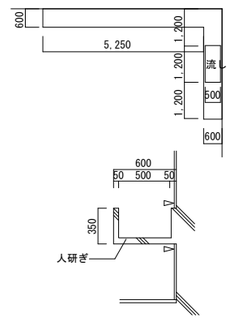
Ｆ詳細

T-7 T-8



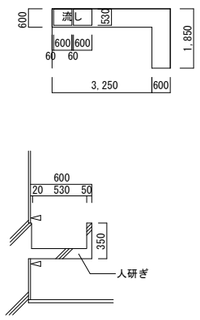
Ｇ詳細

T-11



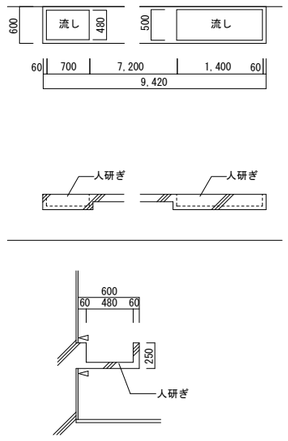
Ｈ詳細

T-13



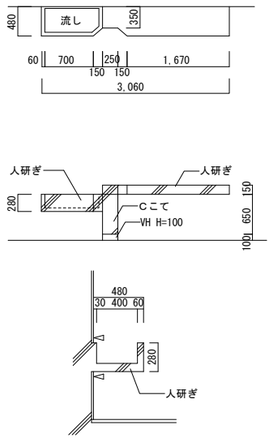
Ｉ詳細

T-14



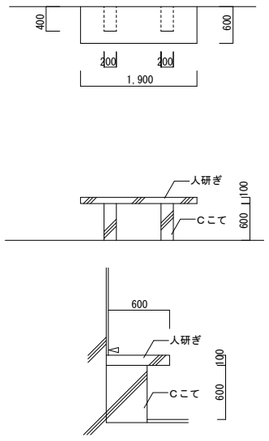
Ｊ詳細

T-15



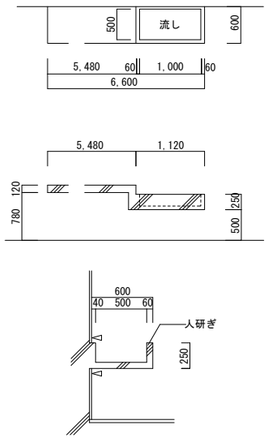
Ｋ詳細

T-16



Ｌ詳細

T-18 T-19 T-20



符号	階	長さ寸法（mm）											
		Ａ詳細	Ｂ詳細	Ｃ詳細	Ｄ詳細	Ｅ詳細	Ｆ詳細	Ｇ詳細	Ｈ詳細	Ｉ詳細	Ｊ詳細	Ｋ詳細	Ｌ詳細
T-1	1	2,400											
T-2	1	7,500											
T-3	1		1,860										
T-4	1			3,500									
T-5	1				3,120								
T-6	1					1,900							
T-7	1						1,900						
T-8	1						3,000						
T-9	1			1,920									
T-10	1			3,800									
T-11	1	5,250						3,600					
T-12	1	3,540											
T-13	1	1,850							3,250				
T-14	2									9,240			
T-15	2										3,060		
T-16	2											1,900	
T-17	2	6,800											
T-18	2												6,600
T-19	2												6,600
T-20	2												6,600

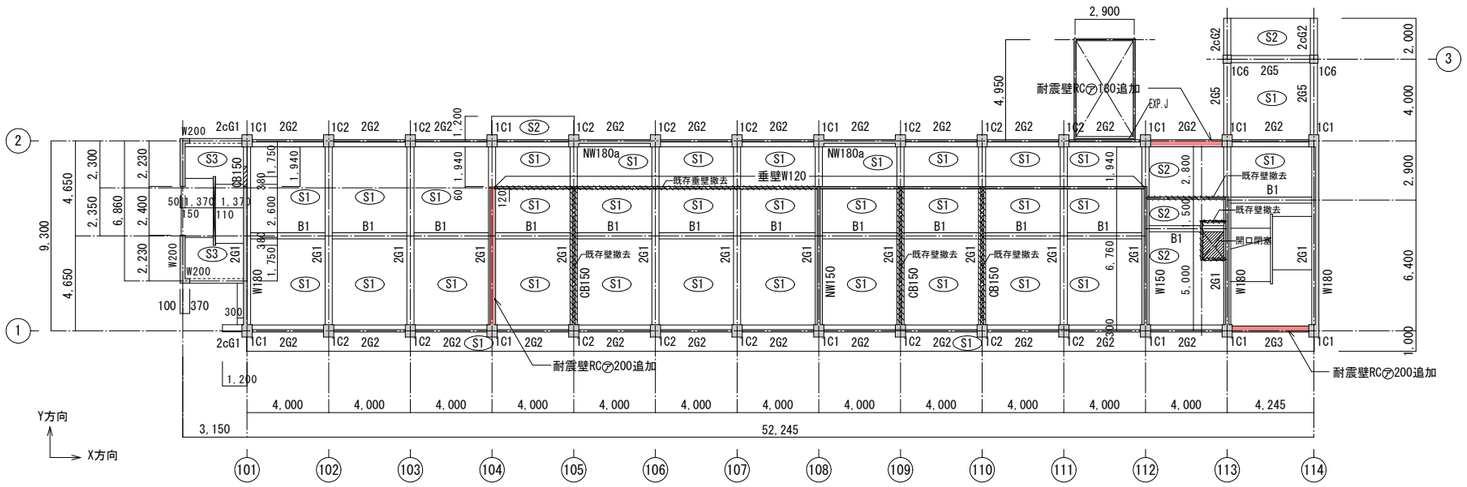
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	部分詳細図（５）	図示

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

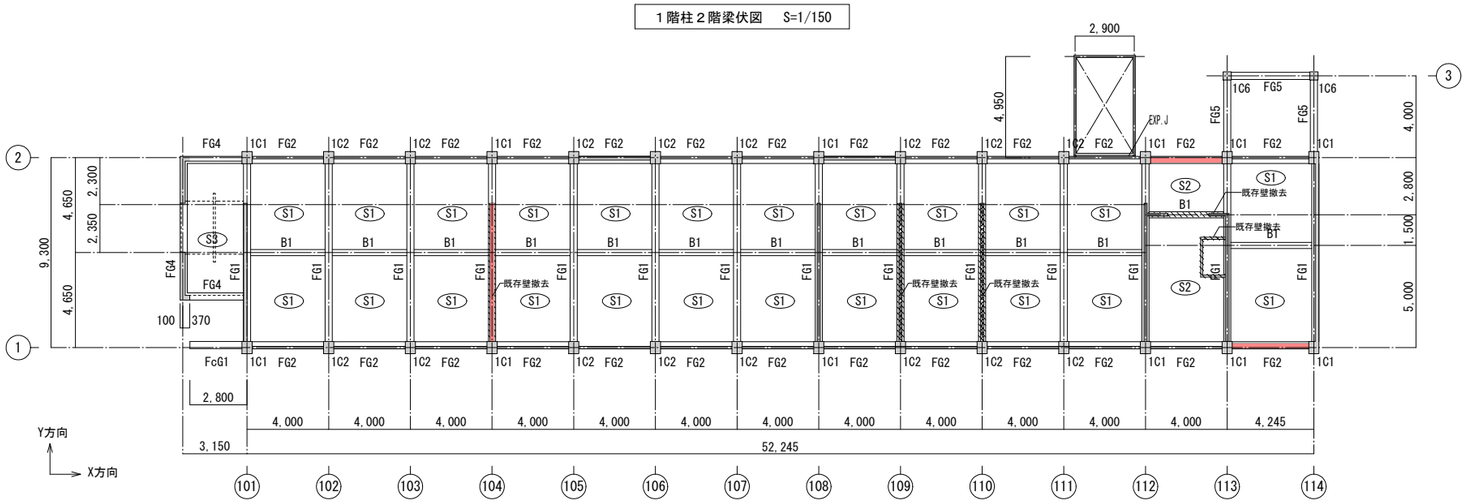
独立行政法人　国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　Ａ－４４



1階柱2階梁伏図　S=1/150



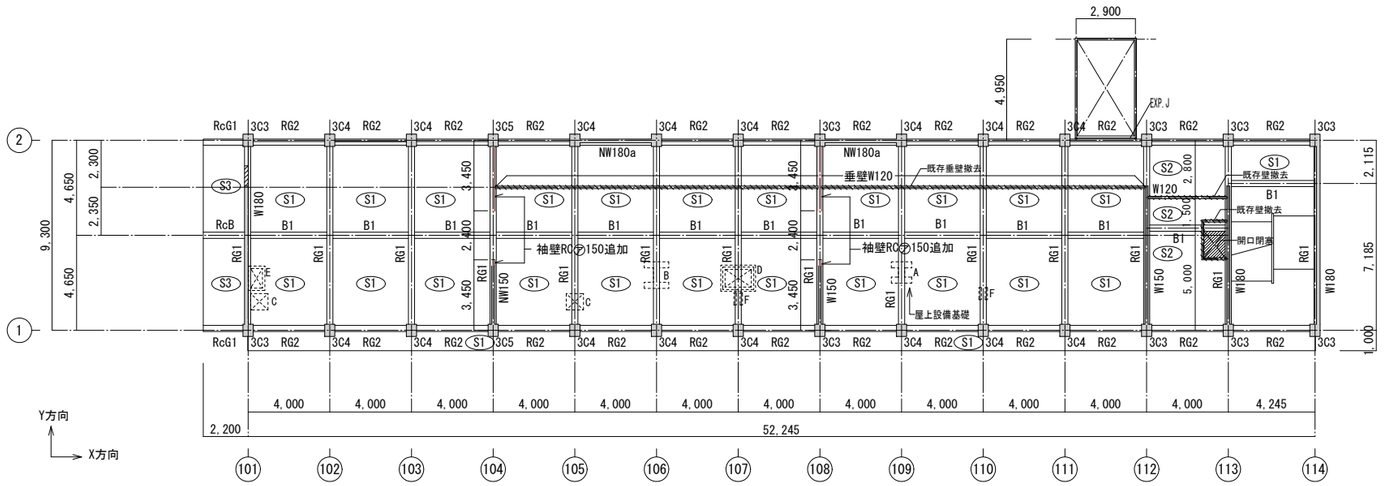
基礎伏図　S=1/150

【 通り符号の読替え 】

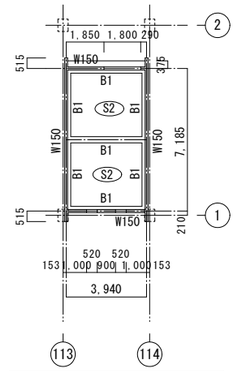
X1、X2、・・・　意匠図
X1、X2、・・・　意匠図

101、102、・・・　構造図・耐震補強計画報告書
1、　2、・・・　構造図・耐震補強計画報告書

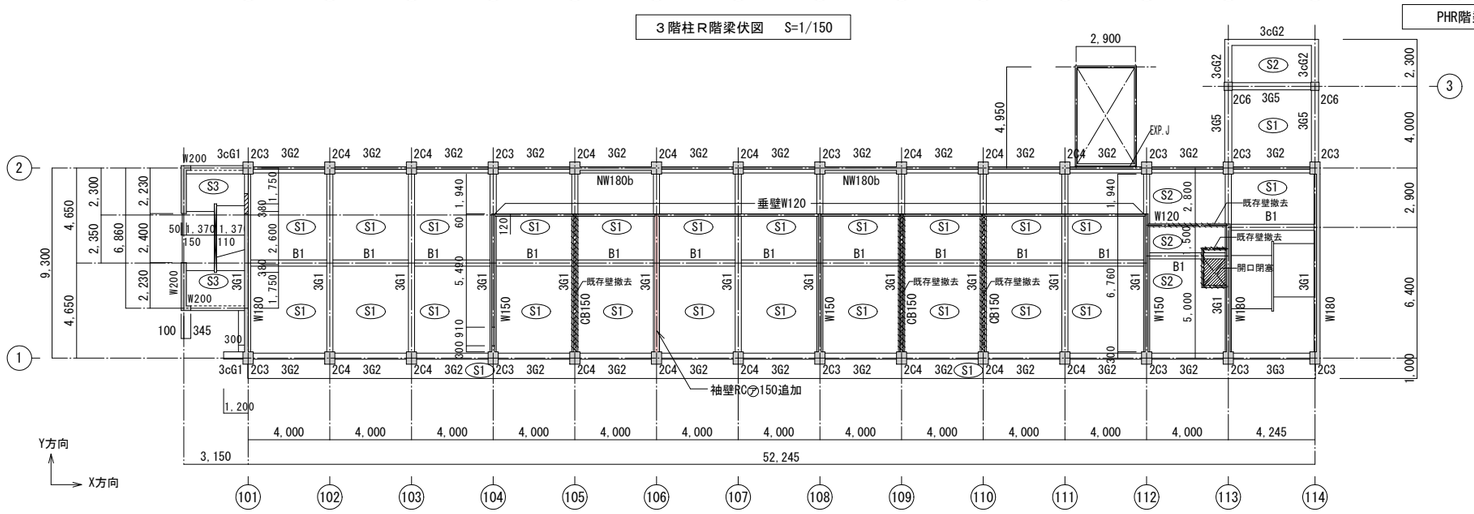
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	梁伏図（１）	A1：S＝1／150 A3：S＝1／300	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						S－01



３階柱Ｒ階梁伏図　S=1/150



PHR階梁伏図　S=1/150



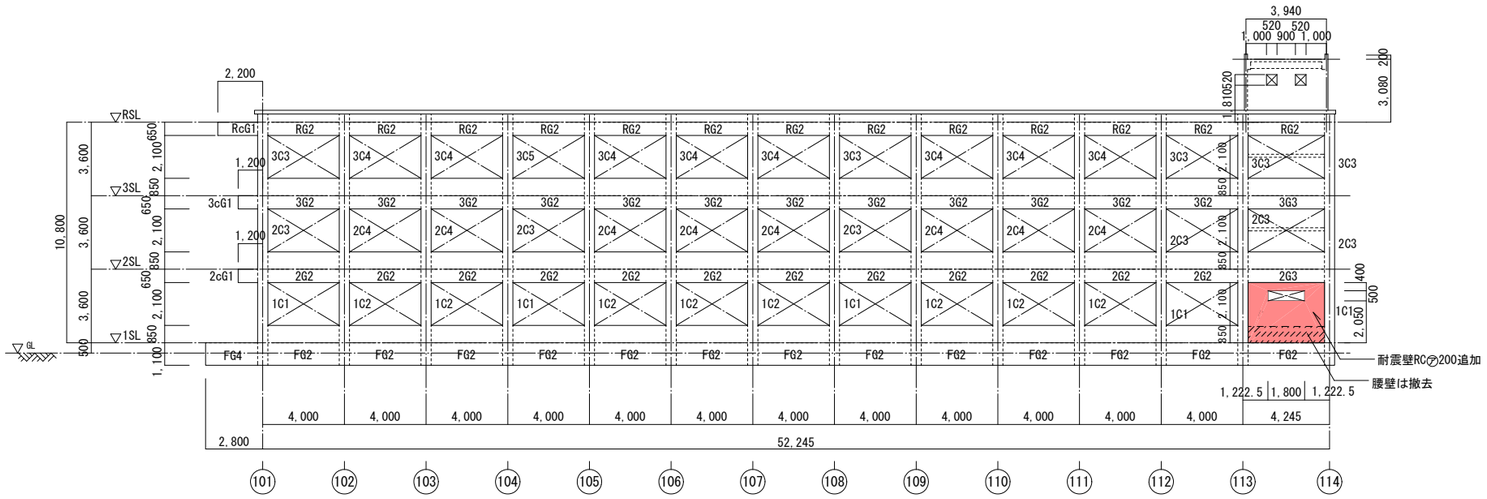
２階柱３階梁伏図　S=1/150

【 通り符号の読替え 】

X1、X2、・・・　意匠図
X1、X2、・・・　意匠図

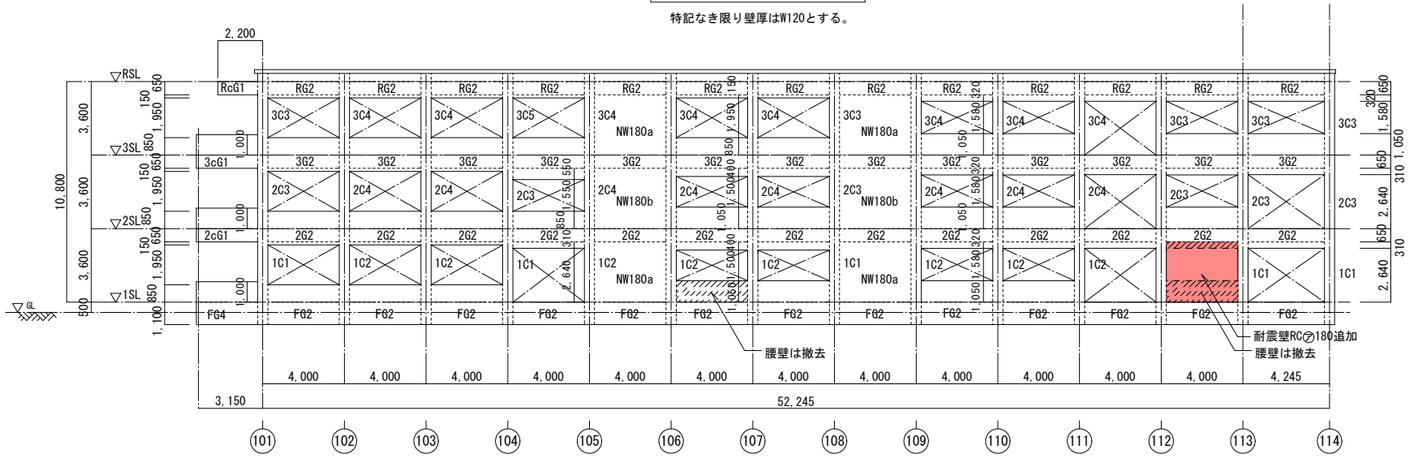
101、102、・・・　構造図・耐震補強計画報告書
1、　2、・・・　構造図・耐震補強計画報告書

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	梁伏図（２）	A１：S＝1／150 A３：S＝1／300	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					S－02
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	



1通り軸組図　S=1/150　室内側

特記なき限り壁厚はW120とする。



2通り軸組図　S=1/150　廊下側

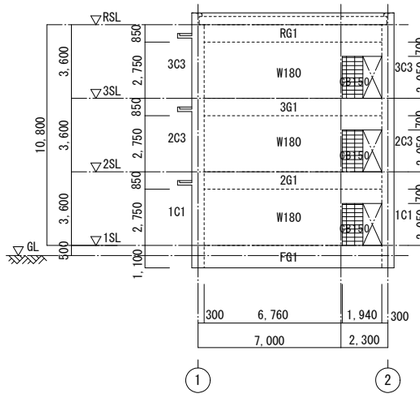
特記なき限り壁厚はW120とする。

【 通り符号の読替え 】

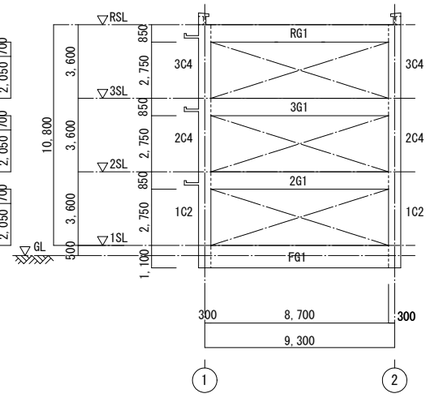
X1、X2、・・・　意匠図
X1、X2、・・・　意匠図

101、102、・・・　構造図・耐震補強計画報告書
1、　2、・・・　構造図・耐震補強計画報告書

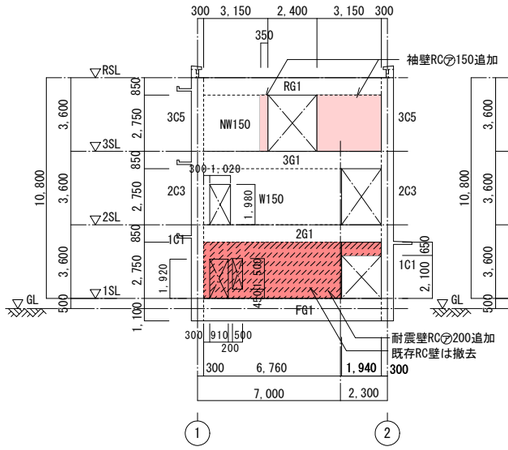
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	軸組図（１）	A１：S＝１／１５０ A３：S＝１／３００	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						S－０３



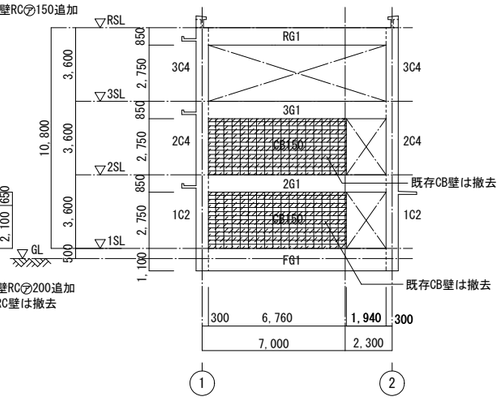
101通り軸組図　S=1/150



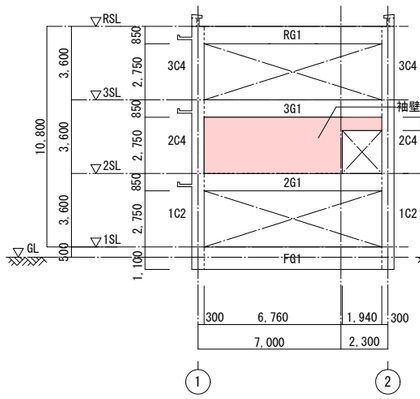
102・103通り軸組図　S=1/150



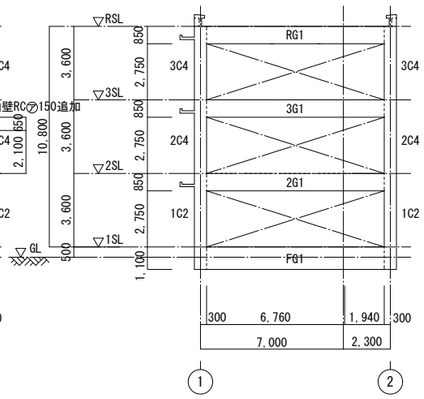
104通り軸組図　S=1/150



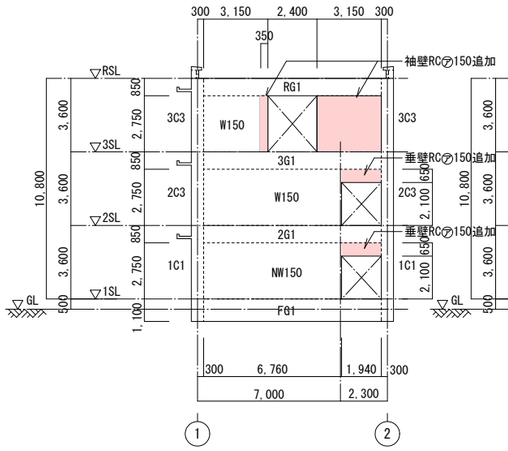
105通り軸組図　S=1/150



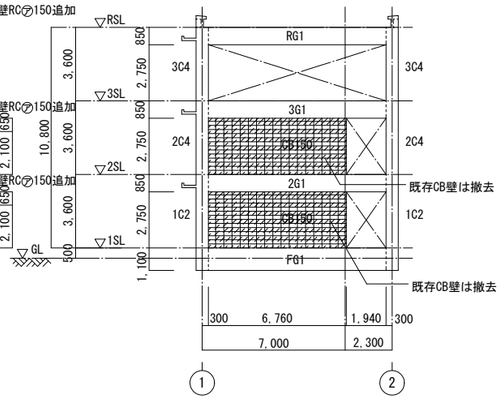
106通り軸組図　S=1/150



107通り軸組図　S=1/150



108通り軸組図　S=1/150



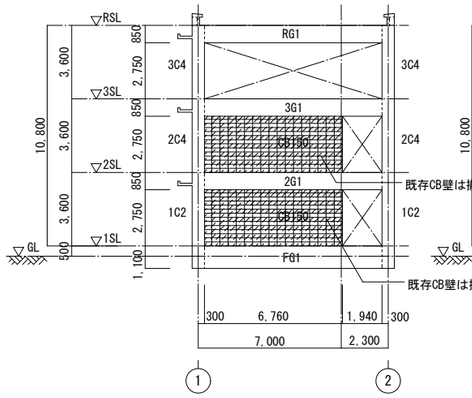
109通り軸組図　S=1/150

【 通り符号の読替え 】

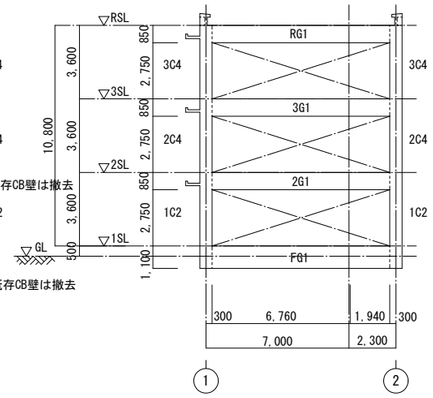
X1、X2、・・・　意匠図
X1、X2、・・・　意匠図

101、102、・・・　構造図・耐震補強計画報告書
1、　2、・・・　構造図・耐震補強計画報告書

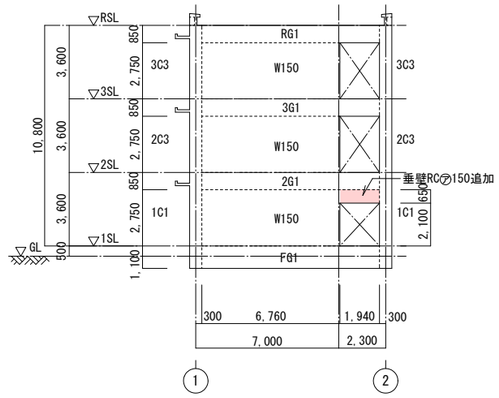
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	軸組図（２）	A１：S＝１／１５０ A３：S＝１／３００	一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						S－０４



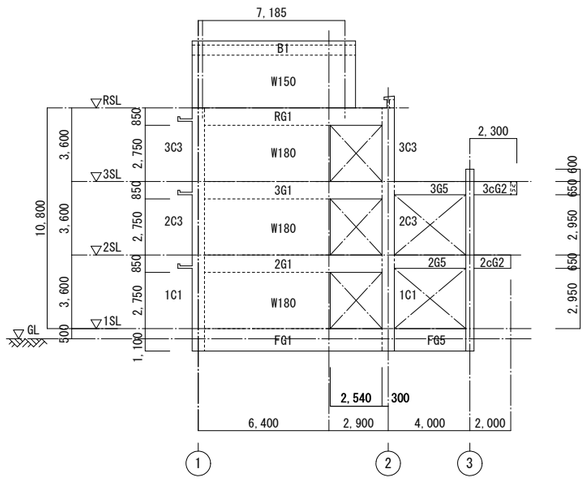
110通り軸組図　S=1/150



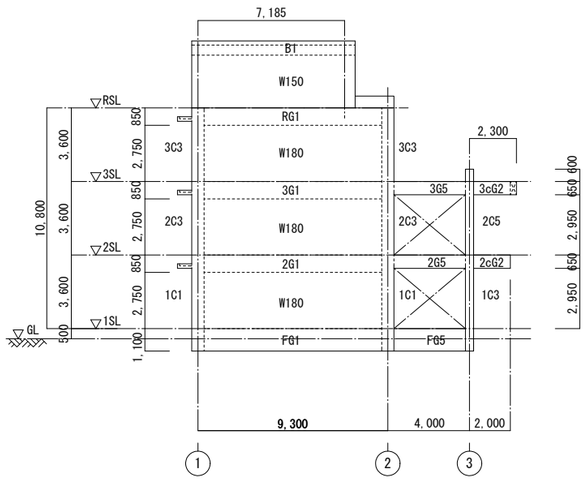
111通り軸組図　S=1/150



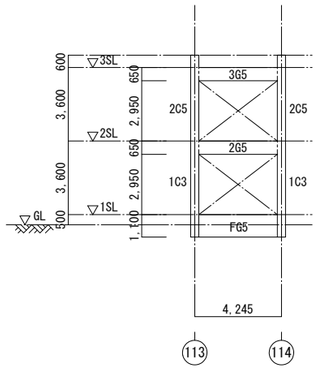
112通り軸組図　S=1/150



113通り軸組図　S=1/150



114通り軸組図　S=1/150



３通り軸組図　S=1/150

【 通り符号の読替え 】

X1、X2、・・・　意匠図
X1、X2、・・・　意匠図

101、102、・・・　構造図・耐震補強計画報告書
1、　2、・・・　構造図・耐震補強計画報告書

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	軸組図（３）	A１：S＝１／１５０ A３：S＝１／３００	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						S－０５

柱リスト

階	符　号	C1	C2	C3	C4	C5	C6
3階	Y↑ X→			1800 / 1500	1800 / 1500	1800 / 1500	
				10-D19	10-D19	4-D22 4-D19	
	HOOP			2-Φ9@250	2-Φ9@250	2-Φ9@250	
2階	Y↑ X→			1800 / 1500	1800 / 1500		400 / 400
	主　筋			10-D19	10-D19		8-D16
	HOOP			2-Φ9@250	2-Φ9@250		—
1階	Y↑ X→	1800 / 1500	• D19 ◦ D22 1800 / 1500				400 / 400
	主　筋	6-D22 6-D19	4-D22 10-D19				8-D16
	HOOP	2-Φ9@250	2-Φ9@250				—

大梁リスト

符号		G1	G2	G3	G4	G5	cG1	cG2
B x D	PHR階							
	R階	300 x 850	300 x 650	—	300 x 650	—	300 x 650	—
	3階	300 x 850	300 x 650	300 x 1600	350 x 650	300 x 650	350 x 650	300 x 650
	2階	350 x 850	350 x 650	300 x 1600	350 x 650	350 x 650	350 x 650	350 x 650
	地中梁	350 x 1100	350 x 1100	—	350 x 1100	350 x 1100	350 x 1100	

小梁リスト

符号	B1	cB1
B x D	300 x 500	300 x 500

スラブリスト

符号	S1	S2	S3
厚み	120	150	180

壁リスト

符　号	W120	NW150	W150	NW180a	NW180b	W180	W200	CB150
断　面	360	450	450	540	540	540	600	150
縦筋	Φ9-@200ｼﾝｸﾞﾙ	D10-@125ｼﾝｸﾞﾙ	Φ9-@150ｼﾝｸﾞﾙ	D13-@200ﾀﾞﾌﾞﾙ	D13-@175ﾀﾞﾌﾞﾙ	Φ9-@250ﾀﾞﾌﾞﾙ	Φ9-@250ﾀﾞﾌﾞﾙ	D10-@400
横筋	Φ9-@200ｼﾝｸﾞﾙ	D10-@125ｼﾝｸﾞﾙ	Φ9-@150ｼﾝｸﾞﾙ	D13-@200ﾀﾞﾌﾞﾙ	D13-@175ﾀﾞﾌﾞﾙ	Φ9-@250ﾀﾞﾌﾞﾙ	Φ9-@250ﾀﾞﾌﾞﾙ	D10-@400
開口補強筋（縦・横・斜筋）	1-Φ13	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16	—

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	部材リスト	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100

株式会社 綜企画設計　福岡支店
一級建築士事務所 福岡県知事登録　第1-11755号
一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
					S－06

増設壁の特記事項

1.補 強 位 置 ： 補強平面図・軸組図による。
補強平面図・軸組図による。

2.使 用 鉄 筋 ： JIS G3112 SD295A（D10,D13,D16）
JIS G3112 SD345 （D19,D22,D25）

3.使用コンクリート ： 設計基準強度
Fc=27N/mm²以上（普通コンクリート）スランプ18cm　　高性能AE減水剤

4.使用モルタル ： 設計基準強度
Fm=30N/mm²以上
又は高流動系コンクリートとする。（フロー値 60 ）

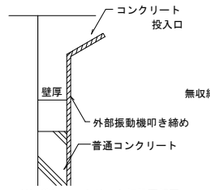
5.あと施工アンカー ： 接着系アンカー＜カプセル型樹脂アンカー＞
本体：メーカーにより素材強度が保障されたもの（基本付着強度 10N/mm² ）

6.注 意 事 項 ： a) スパイラル筋や壁配筋等の材料加工に先立ち躯体寸法を実測し、
これらの部材を実状に合った寸法とする。
b) 補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については既存仕上げ
（モルタル、塗膜）の撤去、清掃、目荒らしを行い、コンクリート
又はモルタル打設前に充分水湿しを行う。
c) コンクリートの強度発現期間内は充分な湿潤状態で養生する。
また、養生期間中は振動等を与えないように注意する。
d) あと施工アンカーは、既存鉄筋に当らない位置とする。
e) コンクリートの打設には密実なコンクリートとなるように十分な施
工計画を立てる。

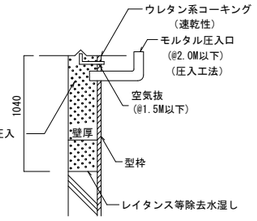
7.無収縮モルタル圧入 ： 後打ちコンクリートは梁下20cmまで打設し、レイタンス除去後壁頂部は
無収縮モルタルを圧入する。

増設壁コンクリート及びモルタル圧入要領図

（1）による普通コンクリート施工後
（2）により無収縮モルタルを圧入する。



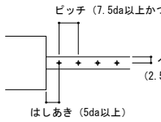
（1）普通コンクリート打設要領図



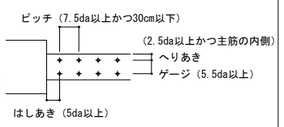
（2）無収縮モルタル圧入要領図

あと施工アンカー要領図

（1）シングル配筋

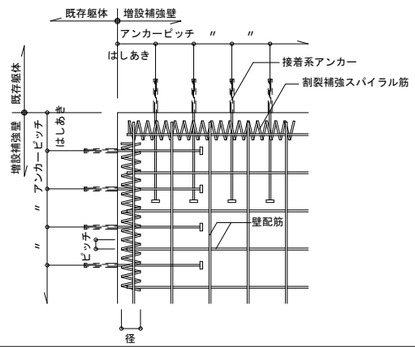


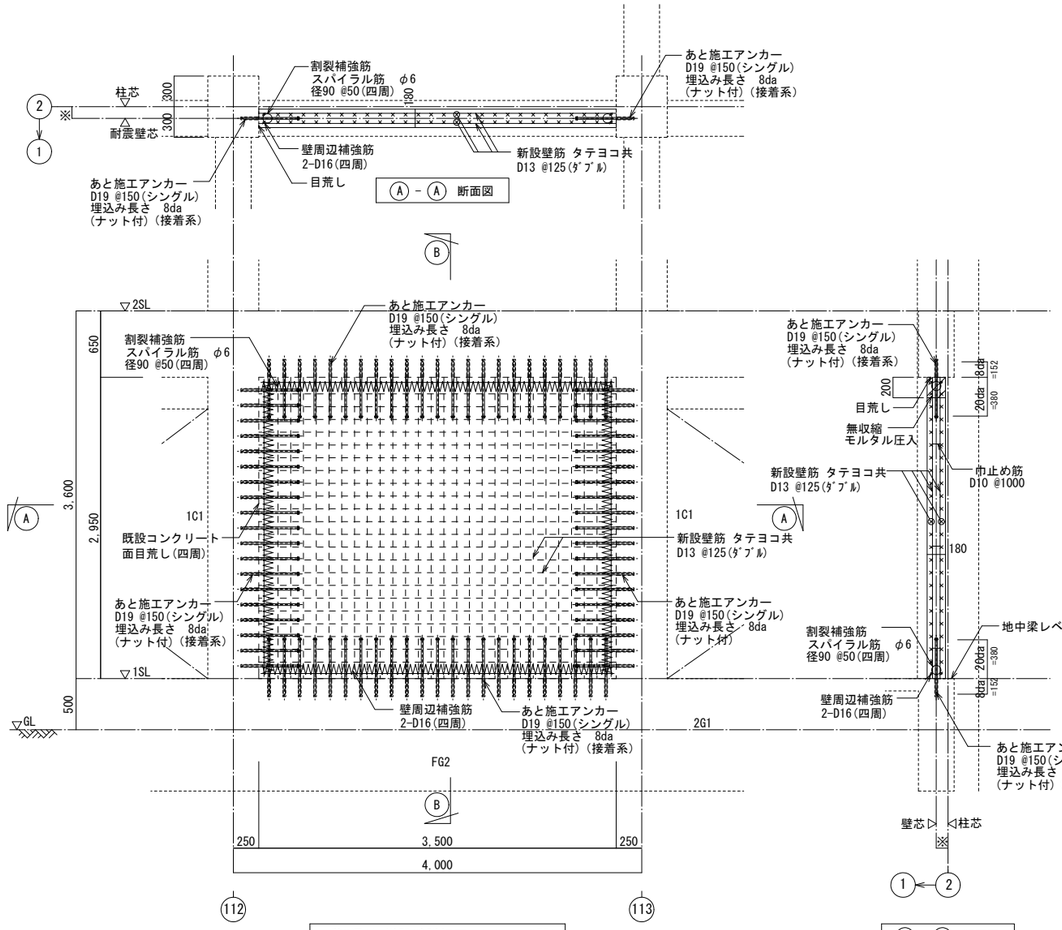
（2）ダブル配筋



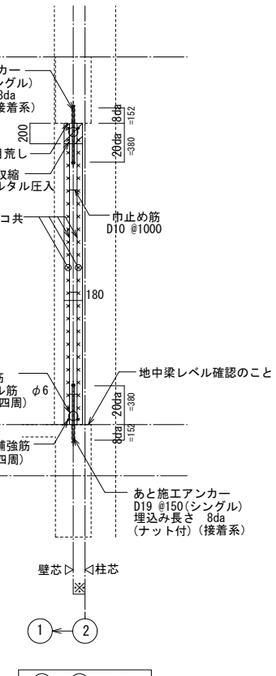
（3）定着長さ及び埋め込み長さ
定着長さ　　20da以上ナット付き（40da）
30da以上ナットなし（40da）
有効埋め込み長さ　　8da（13da）
（　）内の数値は開口補強筋用あと施工アンカーを示す。

（4）管理及び検査
安全かつ円滑にアンカー工事を施工するために、工事箇所とその周辺の状況について事前調査を行う。
設計強度を確保するために、既存コンクリートの圧縮強度およびアンカー素材の強度を試験成績書等により確認する。
ブレース１構面を１ロットとし、１ロットあたり３本の確認試験を行う。
鋼材・コンクリートの破壊及び付着破壊のうち小さい方の2/3を確認荷重とする。
コンクリートの診断強度はσ=22.0N/mm²とする。





1階2通り 増設壁詳細図（112～113間）



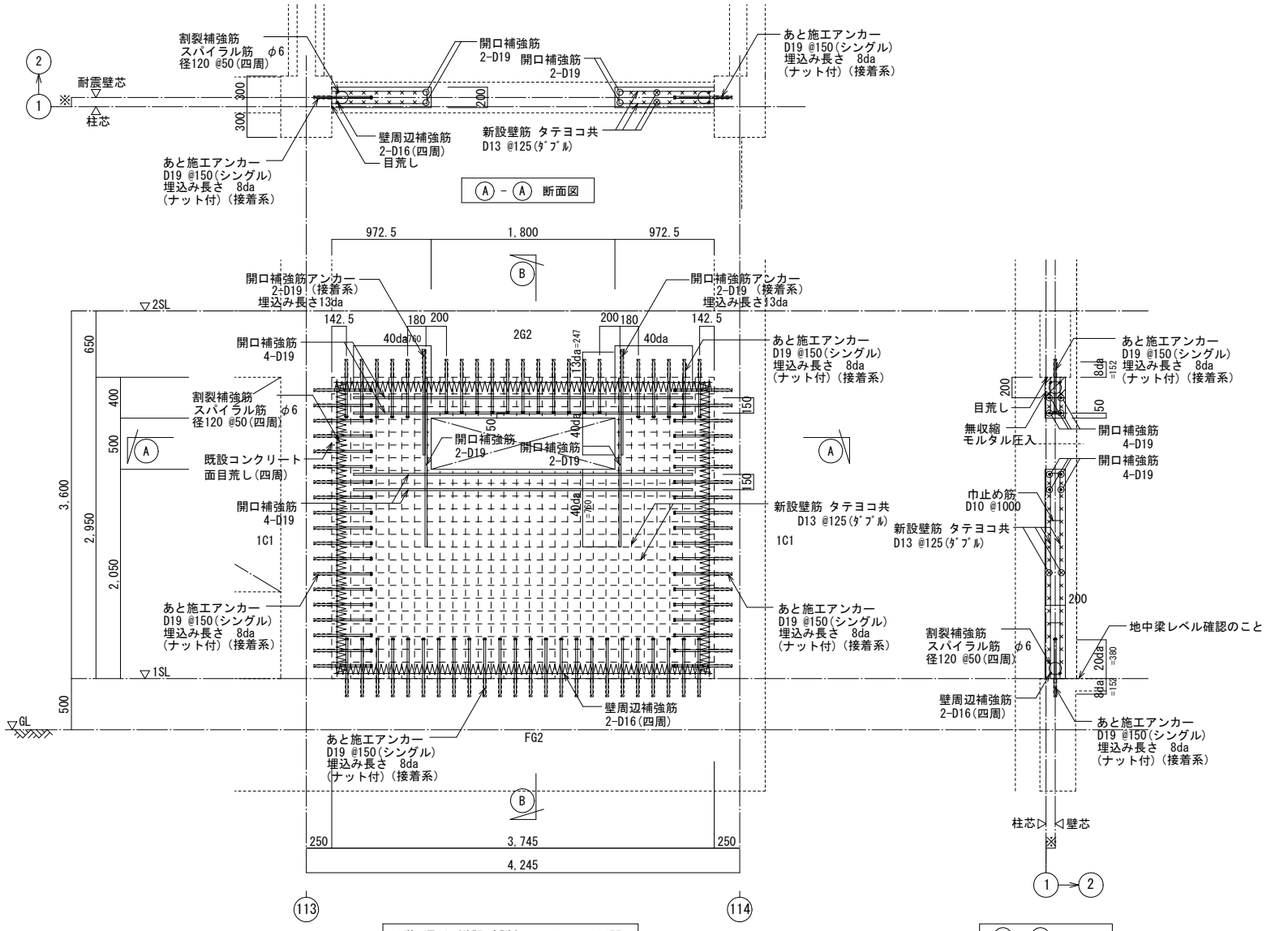
※寸法は既存確認の上,現地で監督員の
指示を受ける事とする。

【 通り符号の読替え 】

（ X1、X2、・・・　意匠図
　 X1、X2、・・・　意匠図

（ 101、102、・・・　構造図・耐震補強計画報告書
　 1、　2、・・・　構造図・耐震補強計画報告書

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	増設壁詳細図（１）（１階２通り）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号　管理建築士　古元 俊治						S－07



1階1通り 増設壁詳細図 (113～114間)

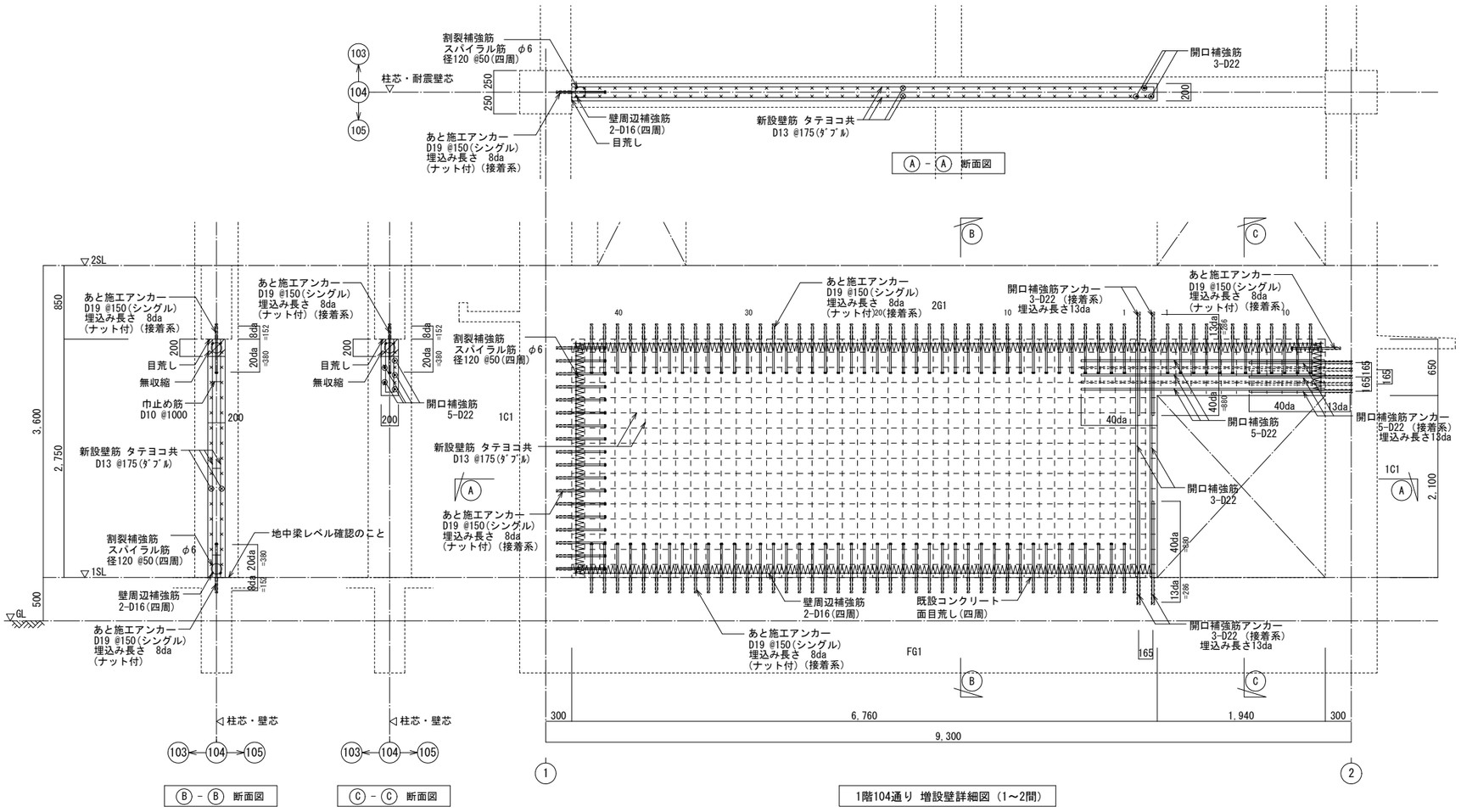
※寸法は既存確認の上,現地で監督員の
指示を受ける事とする。

【 通り符号の読替え 】

X1、X2、・・・ 意匠図
X1、X2、・・・ 意匠図

101、102、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書
1、 2、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	増設壁詳細図（２）（１階１通り）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治						S－08



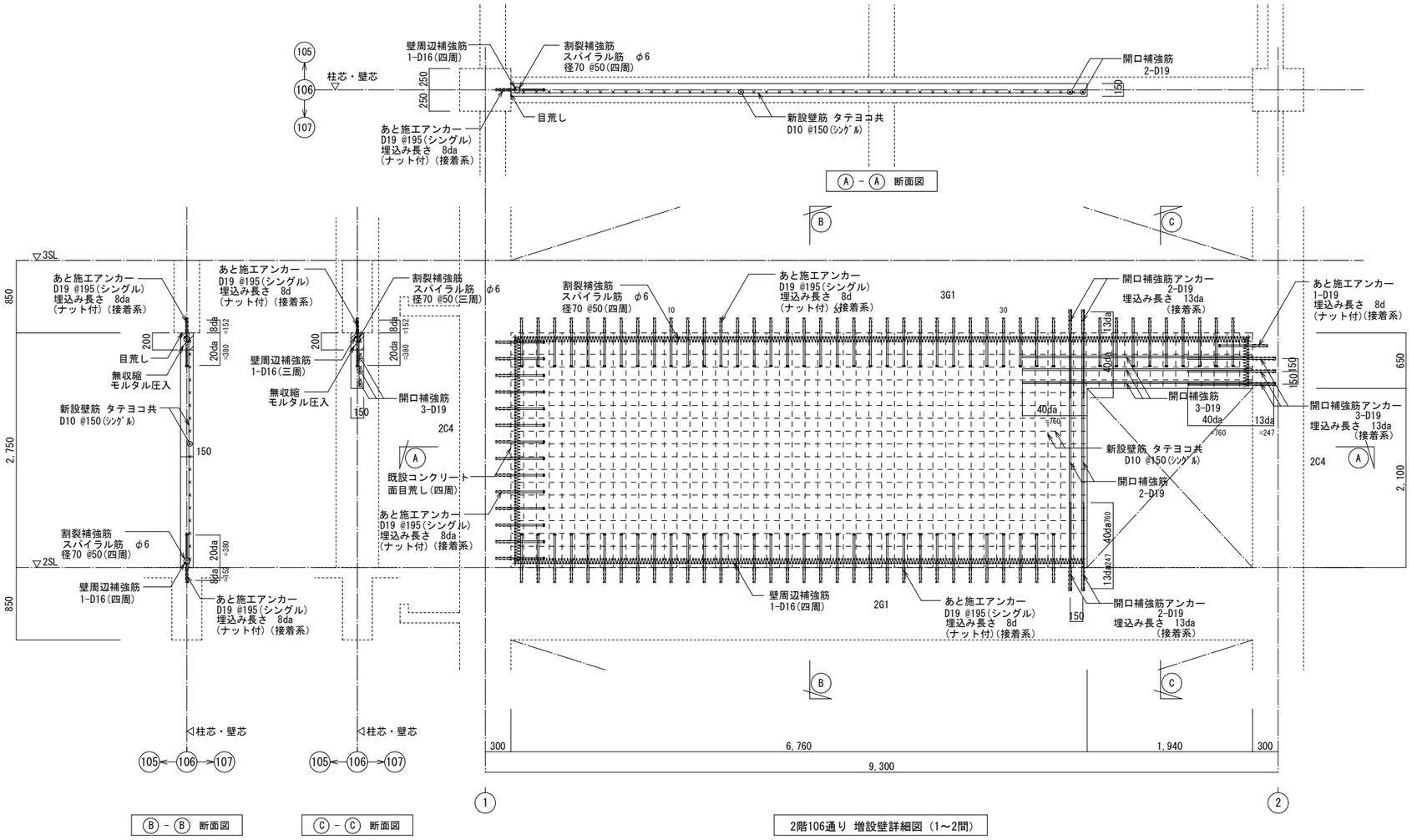
1階104通り 増設壁詳細図 (1～2間)

【 通り符号の読替え 】

X1、X2、・・・ 意匠図
X1、X2、・・・ 意匠図

101、102、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書
1、 2、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	増設壁詳細図（３）（１階104通り）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					S－09
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	

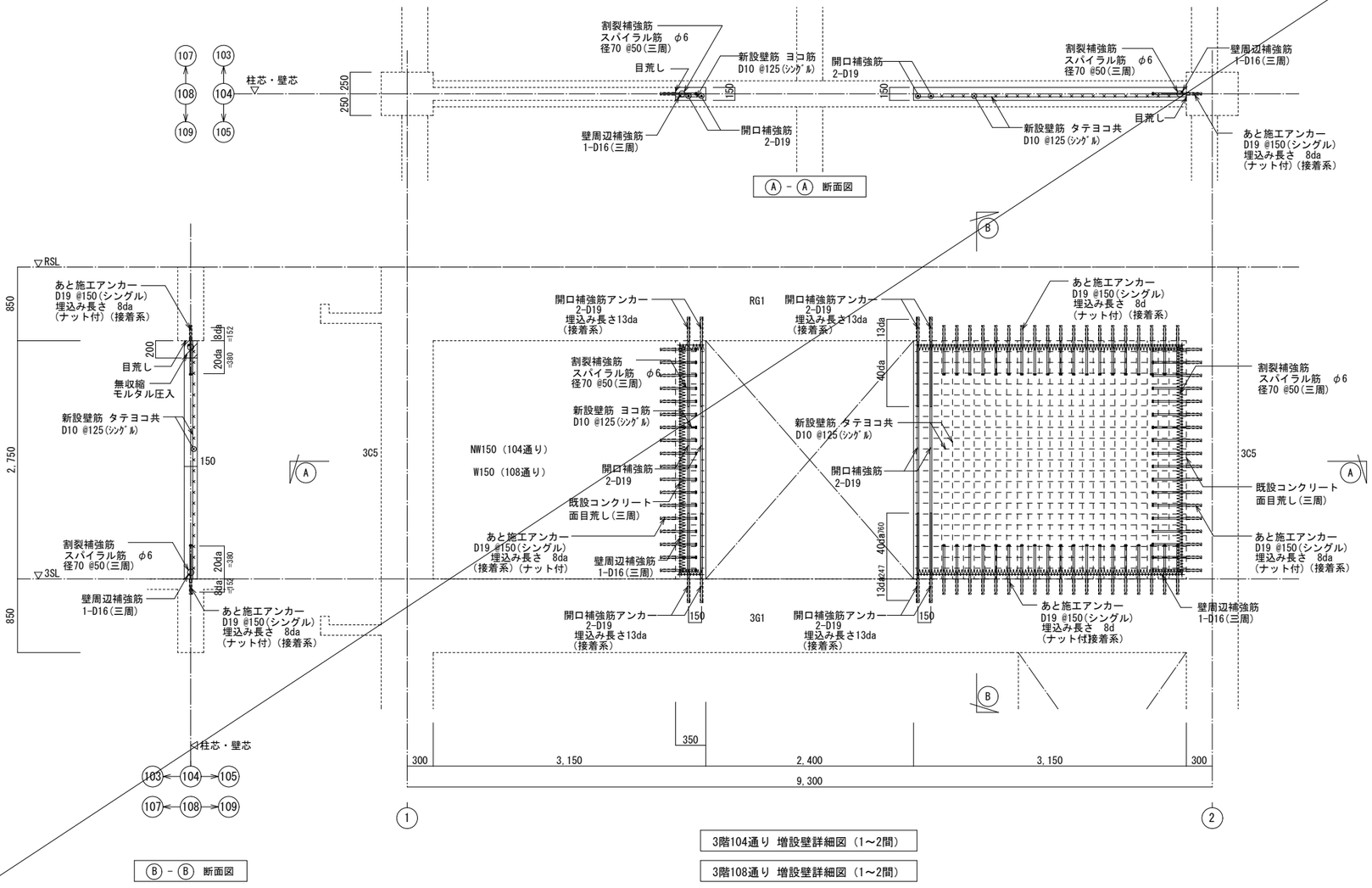


【 通り符号の読替え 】

X1、X2、・・・ 意匠図
X1、X2、・・・ 意匠図

101、102、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書
1、 2、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
						一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治	事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	袖壁詳細図２（2階106通り垂れ壁ありの場合）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60							S－10



3階104通り 増設壁詳細図（1～2間）

3階108通り 増設壁詳細図（1～2間）

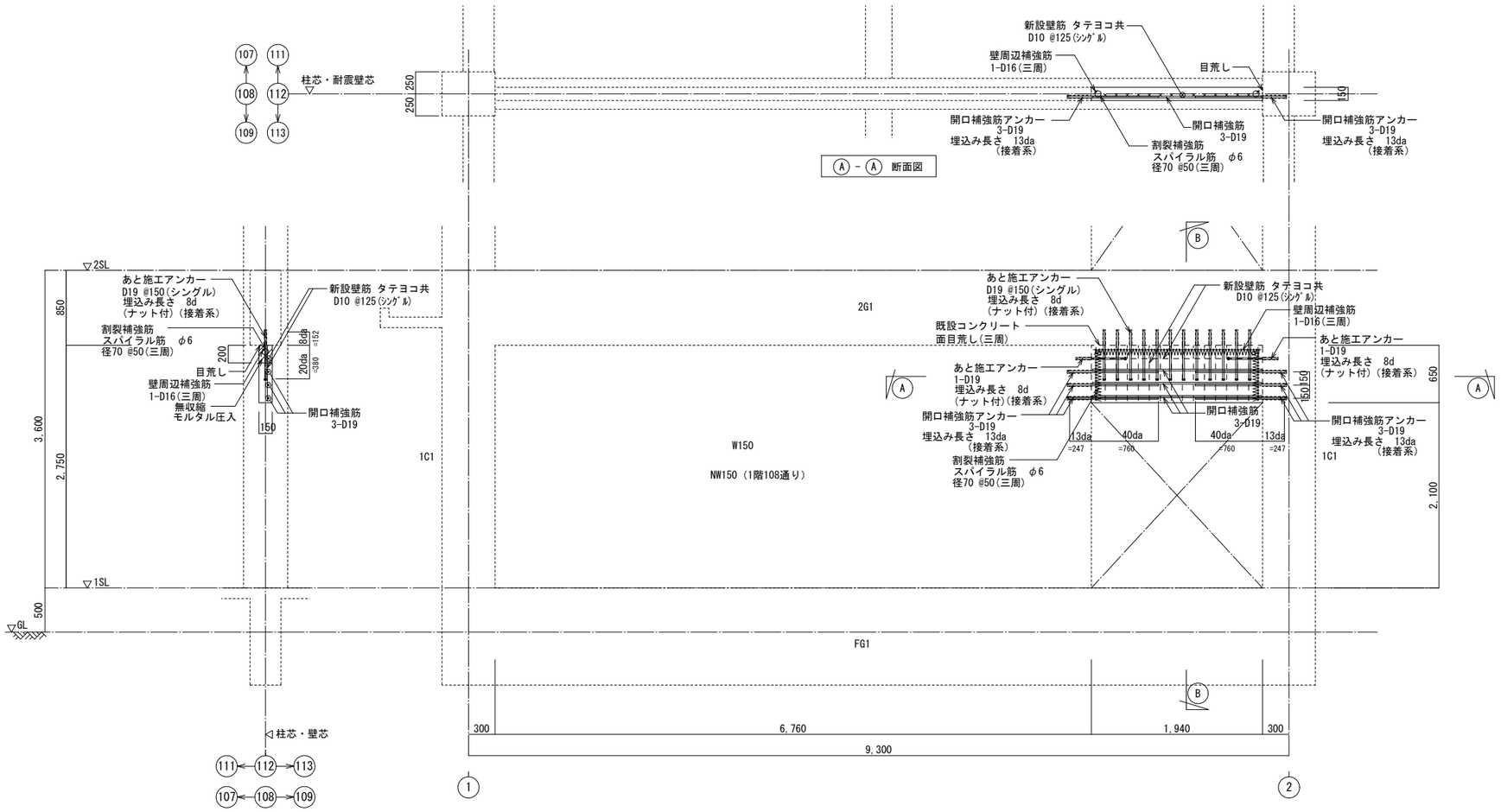
（※別途将来工事）

【 通り符号の読替え 】

X1、X2、・・・ 意匠図
X1、X2、・・・ 意匠図

101、102、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書
1、 2、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	株式会社 綜企画設計 福岡支店	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	袖壁詳細図（２）（3階104通り）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治						S－11



1階112通り 増設壁詳細図 (1～2間)

1階108通り 増設壁詳細図 (1～2間)

2階108通り 増設壁詳細図 (1～2間)

Ⓑ - Ⓑ 断面図

【 通り符号の読替え 】

X1、X2、・・・ 意匠図
X1、X2、・・・ 意匠図

101、102、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書
1、 2、・・・ 構造図・耐震補強計画報告書

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
令和元年度	令和元年８月	久留米工業高専文科・理科棟改修設計業務	久留米工業高専文科・理科棟改修その他工事	既設耐力壁垂れ壁補強要領図	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	株式会社 綜企画設計 福岡支店 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11755号 一級建築士（大臣）第278279号 管理建築士 古元 俊治	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校	事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	S－12